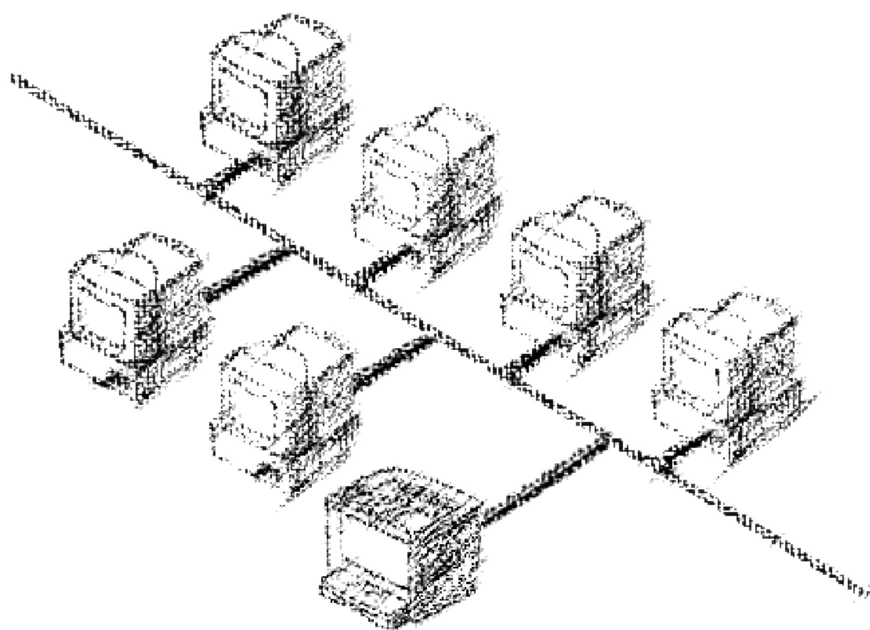
LP-8500C

ネットワーク設定ガイド



EPSON

4012486 -00

本書の使い方

本書は、プリンタに標準装備のネットワーク I/F の取扱説明書です。

ネットワーク設定ガイド

本機をネットワーク上に接続してご使用していただくための方法につい説明しています。
システム管理者の方が、ご利用の環境に応じて必要な章をご覧になりセットアップしてください。
プリンタのセットアップ方法については、同梱のセットアップガイドを、その他のプリンタの詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。

ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
ノベル、Novell、NetWare、NDS は、米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社の登録商標です。
NDS は、Novell Directory Services の略称です。
Novell Directory Services、Client 32、IPX、IntranetWare、IntranetWare Client、IPX/SPX、NetWare3、NetWare4、NetWare5、NLSP、NLM、SPX、Novell Distributed Print Services および NDPS は、米国 Novell, Inc. の商標です。
Apple の名称、Macintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字 Talk、MacOS は AppleComputer、Inc. の登録商標または商標です。
MS-DOS、Microsoft、Windows および Windows NT は米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
OS/2 は IBM の商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。
This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

もくじ

9　OS/2 印刷

10　設定ユーティリティの各機能

11　EpsonNet Direct Print

12　EpsonNet Internet Print

13　Printer Status Page

14　EpsonNet WebManager

15　付録

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は必ずお読みください。

それぞれのマークには、次のような意味があります。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷する可能性が想定される内容、およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたいことを示しています。



補足説明や、知っておいていただきたいことを記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

表記について

Microsoft® Windows®95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows®98 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version 3.51 日本語版

本文中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、Windows2000、WindowsNT4.0、WindowsNT3.51 と表記しています。また、Windows95、Windows98、Windows2000、WindowsNT4.0、WindowsNT3.51 を総称する場合は、「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows95/98/NT/2000」のように、Windows の表記を省略することがあります。

第 1 章

ご使用の前に

ここでは、ネットワーク I/F の概要や、ネットワーク I/F を使用するための設定の概要を説明します。
ネットワークの設定を行う前に、本章をよくお読みください。

機能の概要

- ネットワーク I/F は、10BASE-T/100BASE-TX 用 RJ-45 コネクタを装備しています。ネットワークへの接続は自動選択されます。（手動での選択はできません。）
- 各種ネットワーク OS・プロトコルに対応しています。
- 本機は IPP(Internet Printing Protocol) に対応しています。
- 本機は SNMP、プリンタ MIB に対応しています。

ソフトウェアについて

本製品に同梱されている CD-ROM からは、次のソフトウェアがインストールできます。各ソフトウェアの機能は次の通りです。ソフトウェアの機能をご覧になり、用途にあったソフトウェアをお使いください。

EpsonNet WinAssist

Windows からネットワーク I/F を設定するときに使います。

ネットワーク I/F の TCP/IP 、NetWare 、NetBEUI 、AppleTalk 情報を設定できます。

EpsonNet MacAssist

Macintosh からネットワーク I/F を設定するときに使います。

ネットワーク I/F の TCP/IP 、AppleTalk 情報を設定できます。

EpsonNet WebAssist

Web ブラウザからネットワーク I/F を設定するときに使います。EpsonNet WinAssist や EpsonNet MacAssist などで、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定してから使います。
ネットワーク I/F の NetWare 、TCP/IP 、AppleTalk 、NetBEUI 、IPP 、SNMP のコミュニティとトラップを設定できます。また、プリンタの現在の状態を表示し、プリンタパネルからと同様の設定が行えます。

EpsonNet Direct Print

Windows からネットワークに接続したプリンタに、TCP/IP 直接印刷をするときに使います。

EpsonNet Internet Print

Windows （Windows2000 を除く）から、IPP を使って、インターネットに接続されているプリンタに直接印刷をするときに使います。

EpsonNet WebManager

Web ブラウザから、ネットワーク上のデバイスを管理するときに使います。


ポイント

本書では、このほかに Printer Status Page というソフトウェアについて説明しています。
Printer Status Page は、Windows2000 のネットワークに接続された EPSON 製プリンタの状態を Web ブラウザから確認するソフトウェアで、EPSON 製プリンタの Windows2000 対応プリンタドライバに含まれるソフトウェアです。
Printer Status Page の使い方については、本書を参照してください。

「第 13 章　Printer Status Page」183 ページ

動作環境

本ネットワーク I/F の動作環境は次の通りです。

OS	バージョン	対応プロトコル
Windows95/98	--	・TCP/IP（ユーティリティソフト EpsonNet Direct Print 使用） ・NetBEUI ・IPP
WindowsNT	・4.0	・TCP/IP（LPR）（ユーティリティソフト EpsonNet Direct Print 使用） ・NetBEUI ・IPP
Windows2000	--	
Macintosh	・漢字 Talk7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x/9.x	・AppleTalk
NetWare	・3.xJ	・バインダリモード
	・4.1xJ ・IntranetWare-J	・NDS モード ・バインダリエミュレーションモード
	・5J	・NDS モード ・キューベースプリントシステム ・NDPS
OS/2 Warp（OS/2 WarpConnect, OS/2 Warp Server）	・V3 ・V4	・TCP/IP（Warp 付属の lprportd） ・NetBEUI



- **NetWare5J の NDPS にある [自動ドライバインストール] には対応していません。**
- **WindowsNT は、WindowsNT（Intel 版）にのみ対応しています。**
- **IPP での印刷については、下記のページを参照してください。**

「第 12 章　EpsonNet Internet Print」172 ページ
「第 13 章　Printer Status Page」183 ページ

- **MacOS9 のマルチユーザ環境には対応していません。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist についての詳細は、下記のページをご覧ください。**

「第 3 章　設定ユーティリティのインストール」20 ページ
「第 6 章　IPP 印刷（Windows2000 のみ）」65 ページ

作業の進め方

次の手順で、ネットワークへの接続からプリンタ設定までを行います。詳しくは参照ページをご覧ください。

1　ネットワークへの接続をする
第 2 章　ネットワークへの接続 .... 12 ページ

2　設定ユーティリティをインストールする
第 3 章　設定ユーティリティのインストール .... 20 ページ

TCP/IP を使って印刷する場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合

3　ネットワーク I/F の設定に使う OS へ TCP/IP を組み込んで、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する
第 4 章　TCP/IP の設定 .... 26 ページ

4　次の中から印刷に使用する OS を選び、ネットワーク I/F を設定する

Windows95/98		**EPSON TCP/IP 印刷** **NetBEUI 印刷**
	第 5 章	Windows95/98 印刷 .... 44 ページ
		IPP 印刷
	第 12 章	EpsonNet Internet Print .... 172 ページ
WindowsNT/2000		**TCP/IP 印刷** **NetBEUI 印刷** **IPP 印刷 (Windows2000)**
	第 6 章	WindowsNT/2000 印刷 .... 51 ページ
		IPP 印刷 (WindowsNT)
	第 12 章	EpsonNet Internet Print .... 172 ページ
Macintosh		**AppleTalk 印刷**
	第 7 章	AppleTalk 印刷 .... 66 ページ
NetWare		**バインダリプリントサーバ印刷** **NDS プリントサーバ印刷** **リモートプリンタ印刷** **NDPS 印刷**
	第 8 章	NetWare 印刷 .... 72 ページ
OS/2		**TCP/IP(lprportd) 印刷** **NetBEUI 印刷**
	第 9 章	OS/2 印刷 .... 111 ページ

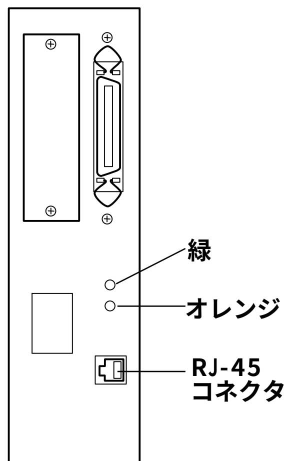
第 2 章

ネットワークへの接続

ここではネットワーク I/F の各部の名称と、ネットワークへの接続について説明します。
ネットワークへの接続は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してから行ってください。

ネットワーク I/F

ネットワーク I/F の各部の名称と機能を説明します。
プリンタ背面には、プリンタの状態を表すステータス LED があります。



緑

データ通信の状態を示します。

緑	状態
点灯	正常待機時
点滅	プリンタがデータを受け取ったとき

オレンジ

コネクタの接続状態を示します。。

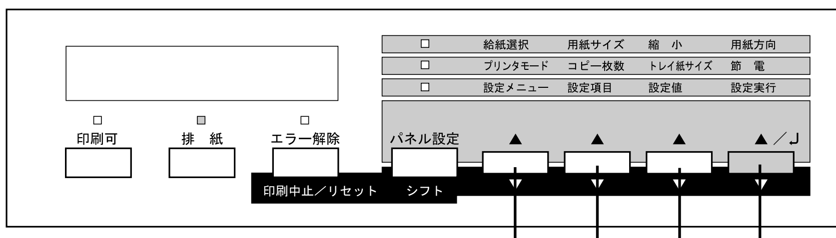
オレンジ	状態
点灯	100BASE-TX で接続されている場合
消灯	10BASE-T で接続されている場合



Ethernet ケーブルは、シールドケーブルを使用してください。

スイッチの機能

操作パネルで各種の設定やステータスシート印刷を行う場合、各スイッチを押して設定メニューや設定項目を切り替えます。
この場合の各スイッチの機能は次の通りです。



スイッチ	設定内容
①設定メニュー	液晶ディスプレイに表示される設定メニューの名前を切り替えます。
②設定項目	[設定メニュー] スイッチで選択した設定メニューに含まれる設定項目を切り替えます。
③設定値	[設定項目] スイッチで選択した設定項目の設定値を切り替えます。 ステータスシート印刷等、設定値の変更ではなく [設定項目] で選択した項目の処理を実行する場合、本スイッチは操作しません。
④設定実行	[設定値] スイッチで選択した設定値を有効にします。 ステータスシート印刷等、設定値の変更ではなく [設定項目] で選択した項目の処理を実行する場合、[設定値] スイッチは操作せず、本スイッチを押すと処理が実行されます。

- ［設定メニュー］スイッチ、［設定項目］スイッチ、［設定値］スイッチは、1 回押すごとに液晶パネルの表示が切り替わり、現在選択されている内容が確認できます。
- 各スイッチを押し続けると、液晶ディスプレイの表示が自動的に切り替わります。
- ［シフト］スイッチを押しながら各スイッチを押すと、各スイッチを押したときと逆の順番に液晶ディスプレイの表示が切り替わります。

ネットワークへの接続

プリンタをネットワークに接続します。プリンタの電源を切ってから行ってください。

1 ネットワークへの接続

プリンタの電源をオフにして、本ネットワーク I/F の RJ-45 コネクタと Hub を、ネットワークケーブルで接続します。

ポイント

- **ネットワークケーブルは、市販の Ethernet インターフェイスケーブルが必要です。シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5STP）を使用してください。**
- **本ネットワーク I/F の IP アドレスは、初期値にプライベートアドレス [192.168.192.168] が設定されています。お使いのネットワーク環境に、これと重複する IP アドレスがないことを確認してください。重複する IP アドレスがある場合は、ネットワーク管理者に確認の上、重複している機器の電源をオフにして、ネットワーク I/F の IP アドレスを変更してください。設定の方法は下記のページを参照してください。**
  「IP アドレスの設定 / 変更」34 ページ
- **本製品は、クロスケーブルによるコンピュータとの直接接続には対応していません。コンピュータとネットワーク I/F との間に HUB を介して、ストレートケーブルで接続した環境でお使いください。**
- **プリンタの電源をオンにした状態で、ケーブルの抜き差しをしないでください。**
- **ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX のどちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークをネットワーク負荷の軽い環境で使うことを勧めします。**

---

2 用紙セット

プリンタの用紙トレイまたは用紙カセット 1 に用紙をセットします。

3 プリンタの起動

プリンタの電源をオン (I) して、操作パネルの液晶ディスプレイに [インサツカノウ] と表示されるまで待ちます。

4 ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートを印刷して、現在の設定値を確認します。

① ［設定メニュー］スイッチを押すと、液晶ディスプレイに［テストインサツ メニュー］と表示されます。

② ［設定項目］スイッチを 2 回押すと、液晶ディスプレイに［ネットワーク ジョウホウ］と表示されます。

③ ［設定実行］スイッチを 1 回押すと、ネットワークステータスシートが印刷されます。ネットワークステータスシートの印刷がはじまるまで、数秒の時間がかかります。



プリンタの操作パネルの詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

ネットワークステータスシートについて

ネットワーク I/F の設定を始める前に、ネットワークステータスシートの印刷をしてください。
ネットワークステータスシートには、ネットワーク I/F の現在の設定や、MAC アドレスなどの重要な情報が載っています。次ページの印刷例をご覧ください。

ネットワークステータスシートの印刷例

```
+------------------------------------------------------------------+
|  EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Network Status Sheet 1 of 2  |
+------------------------------------------------------------------+

<General Information>
Card Type                        Built-in
MAC Address                      XX:XX:XX:XX:XX:XX   →第 4 章～第 10 章
Hardware                         Ver.
SoftWare                         Ver.

<Diagnostics Report>
Network Link Status              100BASE-TX, Half Duplex

<NetWare>                        Enable             →「第 8 章 NetWare 印刷」
Mode                             Standby
Primary Frame Type               Auto
IPX Network Node                 00000000:000000000000  (Ethernet_802.2)
                                 XXXXXXXX:XXXXXXXXXXXX  (Ethernet_802.3)
                                 00000000:000000000000  (Ethernet_II)
                                 00000000:000000000000  (Ethernet_SNAP)
Print Server Name                LP-8500C-XXXXXX
Polling Interval                 5
Primary File Server Name
NDS Tree
NDS Context
Primary Print Server Name        LP-8500C-XXXXXX
Print Port Number                0

<TCP/IP>
IP Address                       192.168.192.168    →「第 4 章 TCP/IP の設定」
Subnet Mask                      255.255.255.0
Default Gateway                  255.255.255.255
Get IPAddress                    Panel

<IPP>
IPP URL                          http://XXX.XX.XXX.XXX:631/EPSON_IPP_Printer
Printer Name                     EPSON_IPP_Printer
Location

<AppleTalk>                      Enable             →「第 7 章 AppleTalk 印刷」
Printer Name                     LP-8500C-XXXXXX
Zone Name                        *
Network Number Set               Auto
Network Number                   8-8
Node ID                          (NONE)
Entity Type #1
Entity Type #2
Entity Type #3
Entity Type #4
Entity Type #5
Entity Type #6
Entity Type #7
Entity Type #8
Entity Type #9
Entity Type #10
Entity Type #11
Entity Type #12
Entity Type #13
Entity Type #14
Entity Type #15
```

```
+------------------------------------------------------------------+
|   EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Network Status Sheet 2 of 2 |
+------------------------------------------------------------------+

<NetBEUI>                          Enable
NetBIOS Name                       EPXXXXXX
Workgroup Name                     WORKGROUP
Device Name                        EPSON

<SNMP>
Read Community                     public
IP Trap 1                          Disable
IP Trap Address 1                  0.0.0.0
IP Trap Community 1
IP Trap 2                          Disable
IP Trap Address 2                  0.0.0.0
IP Trap Community 2
IPX Trap 1                         Disable
IPX Trap Address 1                 00000000:000000000000
IPX Trap Community 1
IPX Trap                           Disable
IPX Trap Address 2                 00000000:000000000000
IPX Trap Community 2

+------------------------------------------------------------------+
```

→「第 5 章 Windows95/98 印刷」
「第6章 WindowsNT/2000印刷」

→「第 10 章　設定ユーティリティの各機能」

第 3 章

設定ユーティリティのインストール

プリンタをネットワークに接続したら、次にネットワーク I/F 設定ユーティリティ EpsonNet WinAssist/ EpsonNet MacAssist をインストールします。
ユーティリティの機能については、第 4 章以降を参照してください。

動作環境

ネットワーク I/F の設定をするユーティリティ EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist の動作環境とインストールの条件は次の通りです。
EpsonNet WebAssist は、インストールの必要はありません。ネットワーク I/F に IP アドレスを設定することで使用できます。

動作環境

動作環境は次の通りです。対応機種は、次の条件をすべて満たす必要があります。

EpsonNet WinAssist		
対応機種	**対応 OS**	**特長**
· 右の OS が動作する環境 · IBM PC/AT 互換機、PC98 シリーズ	· Windows95/98 · WindowsNT4.0/3.51 Server&Workstation · Windows2000	ネットワーク I/F の TCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk 情報を設定します。
EpsonNet MacAssist		
対応機種	**対応 OS**	**特長**
· 右の OS が動作する環境 · Apple 社 Macintosh シリーズ	· 漢字 Talk 7.5.x · MacOS 7.6.x/8.x/9.x	ネットワーク I/F の TCP/IP、AppleTalk 情報を設定します。
EpsonNet WebAssist		
対応機種	**対応ブラウザ**	**特長**
右のブラウザが動作する環境	· Internet Explorer Ver.4.0 以降 · Netscape Navigator Ver.3.02 以降 · Netscape Communicator 4.0 以降	ネットワーク I/F の NetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、IPP、SNMP 情報を設定します。



- **NetWare の設定をする場合、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者権限でログインする必要があります。**
- **EpsonNet WebAssist を使用するには、お使いのコンピュータにあらかじめ TCP/IP が組み込まれている必要があります。TCP/IP の確認は、下記のページを参照してください。**
  「TCP/IP の組み込み」27 ページ
- **EpsonNet WebAssist を使用する際は、Web ブラウザには、LAN を使用しての接続を設定してください。また、EpsonNet WebAssist の URL には、プロキシを使用しない設定をしてください。**
- **ネットワーク I/F を NetWare で使用しない場合は、EpsonNet WebAssist の NetWare 設定画面にある [NetWare] 欄で [Disable] を選択する必要があります。NetWare を使用しない場合に [Enable] を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料のかかるおそれがあります。**
  初期値は [Enable] です。設定方法は、下記のページを参照してください。
  「EpsonNet WebAssist」131 ページ
- **EpsonNet WinAssist を使用して NetBEUI の設定を変更するには、以下の設定が行われている必要があります。**
  ①お使いのコンピュータに TCP/IP が組み込まれ、TCP/IPの設定が行われている。
  ②ネットワーク I/F に、初期値（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されている。

インストールの条件

EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist をインストールするコンピュータの、ハードディスクの空き容量が 4MB 以上であることを確認してください。



- **本ネットワーク I/F は、コンピュータとネットワーク I/F との間に HUB を介して、ストレートケーブルで接続した環境でお使いください。**
- **WindowsNT4.0 をご利用の場合、NT のバージョンが ServicePack3 以降にアップグレードされている必要があります。**

EpsonNet WinAssist のインストール

EpsonNet WinAssist は、次の手順でインストールします。
ここでは、Windows95 の画面で説明します。


注意

- **EpsonNet WinAssist のインストール後に、OS でプロトコルやサービスを追加または削除すると、EpsonNet WinAssist が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、EpsonNet WinAssist を削除してから、インストールし直してください。**
- **TCP/IP 印刷を行う場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合は、下記のページを参照して TCP/IP の組み込みと設定を行ってから、EpsonNet WinAssist をインストールしてください。**
  「第 4 章　TCP/IP の設定」26 ページ
- **EpsonNet WinAssist の削除方法は、下記のページを参照してください。**
  「ユーティリティの削除」207 ページ
- **本製品のネットワーク I/F を設定するためには、必ず本製品に同梱の EpsonNet WinAssist をインストールしてください。**

1 インストール画面の起動

同梱の LP-8500C プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 インストール

① CD-ROM をセットすると、自動的に [EPSON インストールプログラム] が起動します。
[ネットワークユーティリティのインストール] を選択した後、**[次へ]** ボタンをクリックします。次の画面が表示されたら、[EpsonNet WinAssist のインストール] を選択して、**[次へ]** ボタンをクリックします。



② この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。


ポイント

- **WindowsNT3.51 をご利用の場合は、[プログラムマネージャ] を開き [アイコン] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックして以下のコマンドを半角で入力し、[OK] ボタンをクリックします。**
  例)D:\EPSETUP（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）
- **Windows95/98/NT4.0/2000 をご利用の場合で [EPSON インストールプログラム] が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**



EpsonNet WinAssist以外にWindowsで使用できるユーティリティは、次の通りです。

- **ネットワーク上のデバイスを Web ブラウザから管理する EpsonNet WebManager**
  「第 14 章 EpsonNet WebManager」193 ページ
- **Windows95/98 で TCP/IP 印刷をするときに使用する EpsonNet Direct Print**
  「第 5 章 Windows95/98 印刷」44 ページ
- **Windows95/98/NT4.0 で IPP 印刷をするときに使用する EpsonNet Internet Print**
  「第 12 章 EpsonNet Internet Print」172 ページ
- **ご利用のコンピュータからプリンタの状態をモニタできる EPSON プリンタウィンドウ !3（インストールは「セットアップガイド」を、使用方法は「ユーザーズガイド」を参照）**

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet WinAssist を使って、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。

「第 4 章 TCP/IP の設定」26 ページ

- Windows で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT/2000 で TCP/IP 印刷または IPP 印刷をする
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- EpsonNet Internet Print で、インターネット直接印刷をする
- EpsonNet WebManager を使って、プリンタを TCP/IP で管理する
- Windows2000 で、Printer Status Page を使用する

EpsonNet MacAssist のインストール

EpsonNet MacAssist は、次の手順でインストールします。
本製品のネットワーク I/F を設定するためには、必ず本製品に同梱の EpsonNet MacAssist をインストールしてください。

1 インストール画面の起動

同梱の LP-8500C プリンタソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。

2 インストール

① ディスクのウィンドウが開きますので、[ネットワークユーティリティ] フォルダをダブルクリックして開きます。
ディスクのウィンドウが開かない場合は、ディスクのアイコンをダブルクリックして開いてください。



② [EpsonNet MacAssist] フォルダをダブルクリックして開きます。



③ EpsonNet MacAssist のアイコンをドラッグし、ハードディスクにコピーします。

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet MacAssist を使って、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。

「第 4 章　TCP/IP の設定」26 ページ

- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- EpsonNet WebManager を使って、プリンタを TCP/IP で管理する

第４章

TCP/IP の設定

ネットワークに接続したプリンタで TCP/IP 印刷や IPP 印刷をする場合や、ネットワーク I/F の設定に EpsonNet WebAssist を使う場合は、この章をご覧になりネットワーク I/F に IP アドレスを設定してください。

次のケースに該当する方は、本章の設定を行ってください。

- Windows で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- EpsonNet WinAssist を使用して、NetBEUI の設定を変更する
- WindowsNT/2000 で TCP/IP 印刷または IPP 印刷をする
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- OS/2 Warp で TCP/IP（lprportd）印刷をする
- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- EpsonNet Internet Print で、インターネット直接印刷をする
- Windows2000 で、Printer Status Page を使用する
- EpsonNet WebManager を使って、プリンタを TCP/IP で管理する

TCP/IP の組み込み

ネットワーク I/F に IP アドレスを設定するためには、まずお使いのコンピュータに TCP/IP を組み込みます。

Windows95/98

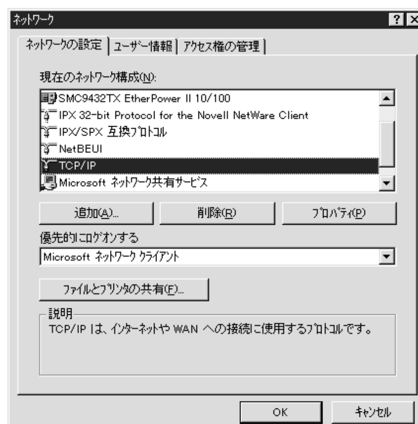
Windows95 の画面で説明します。

1 **TCP/IP の確認**

［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］にある［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

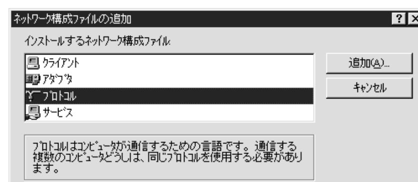
［ネットワークの設定］画面の［現在のネットワーク構成］に［TCP/IP］があることを確認します。

［TCP/IP］が組み込まれていない場合は、**［追加］**ボタンをクリックします。

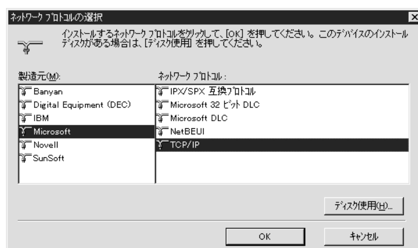


2 **TCP/IP の追加**

① ［プロトコル］を選択し、
［追加］ ボタンをクリックします。



② ［ネットワークプロトコルの選択］画面が表示されます。製造元：Microsoft、ネットワークプロトコル：TCP/IP をクリックして追加します。



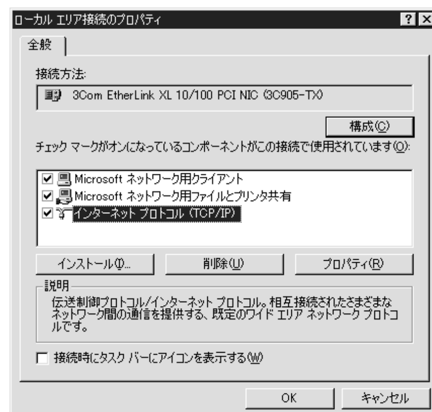
③ 追加した TCP/IP をダブルクリックして〔TCP/IP のプロパティ〕を起動し、IP アドレスなどの必要事項を設定します。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。
「困ったときは」210 ページ

Windows2000

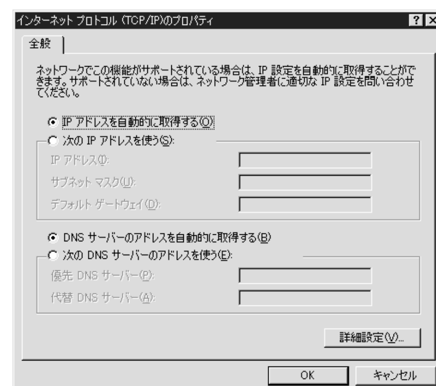
1 TCP/IP の確認



① ［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］にある［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックし、［ローカルエリア接続］をダブルクリックします。

② ［ローカルエリア接続状態］画面の **［プロパティ］** ボタンをクリックして、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が組み込まれていることを確認します。［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が組み込まれていない場合は、**［インストール］** ボタンをクリックします。

2 TCP/IP の追加



① ［ネットワークコンポーネントの種類の選択］画面から［プロトコル］を選択し、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を追加します。画面の指示に従ってください。

② インストールが終了したら、［ローカルエリア接続のプロパティ］画面で、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックして、IP アドレスなどの必要事項を設定します。


ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

「困ったときは」210 ページ

WindowsNT4.0

1 TCP/IP の確認

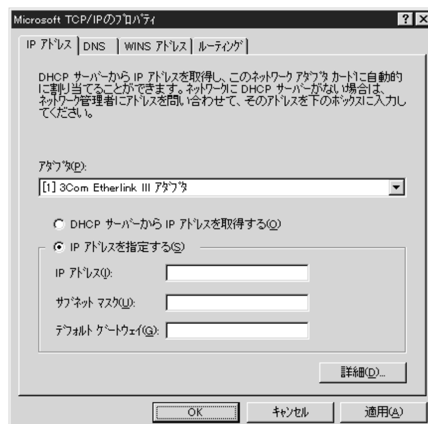
［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］にある［ネットワーク］アイコンをダブルクリックし、［プロトコル］画面で［TCP/IP プロトコル］が組み込まれていることを確認します。
［TCP/IP プロトコル］が組み込まれていない場合は、手順 2 の指示に従って追加してください。



2 TCP/IP の追加

① 手順 1 の画面で **［追加］** ボタンをクリックして、［TCP/IP プロトコル］を追加します。画面の指示に従ってください。
また、TCP/IP 印刷を行えるようにする場合は、手順 1 の画面で［サービス］タブをクリックし､表示される画面で **［追加］** ボタンをクリックして［Microsoft TCP/IP 印刷］を追加します。画面の指示に従ってください。

② インストールが終了してからネットワーク画面で **［閉じる］** ボタンをクリックすると、［Microsoft TCP/IP のプロパティ］画面が開いて IP アドレスを設定できます。




ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。
「困ったときは」210 ページ

③ インストールが完了したら IP アドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

WindowsNT3.51

1 TCP/IP の確認

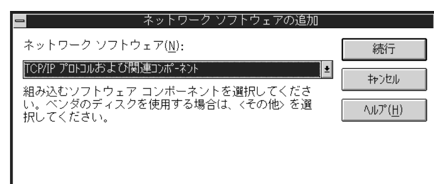
［メイン］グループの［コントロールパネル］にある［ネットワーク］アイコンをダブルクリックし、［TCP/IP プロトコル］が組み込まれていることを確認します。

TCP/IP が組み込まれていない場合は、手順 2 に従って、追加してください。

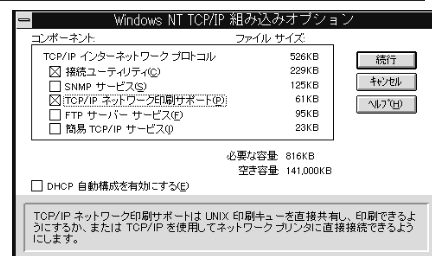


2 TCP/IP の追加

① 手順 1 の画面で **［ソフトウェアの追加］**ボタンをクリックして、［TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント］を選択します。



② ［Windows NT TCP/IP 組み込みオプション］画面が表示されるので、［接続ユーティリティ］と［TCP/IP ネットワーク印刷サポート］をチェックします。この後は画面の指示に従ってください。



③ インストールが終了して、［ネットワークの設定］画面で **［OK］**ボタンをクリックすると、［TCP/IP の構成］画面が開き IP アドレスなどの必要事項を設定できます。


ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

「困ったときは」210 ページ

④ インストールが完了したらIPアドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

Macintosh（Open Transport 使用）

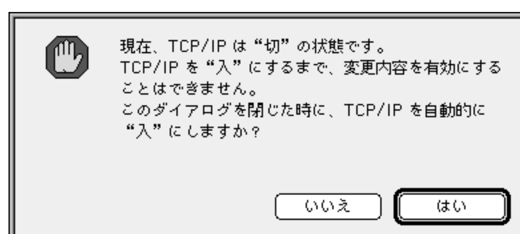
EpsonNet WebAssist を使用する場合、Macintosh にも IP アドレスを設定する必要があります。

1 AppleTalk の経由先確認

コントロールパネルで［AppleTalk］アイコンをダブルクリックし、経由先が［Ethernet］に設定されていることを確認します。

2 アドレスの設定

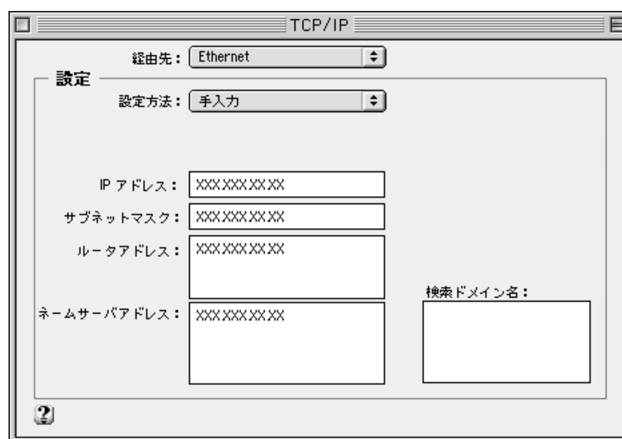
① コントロールパネルの［TCP/IP］をダブルクリックします。このとき次の画面が表示されたら、**[はい]** ボタンをクリックしてください。



② IP アドレスなどの必要事項を設定します。


ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。
「困ったときは」210 ページ

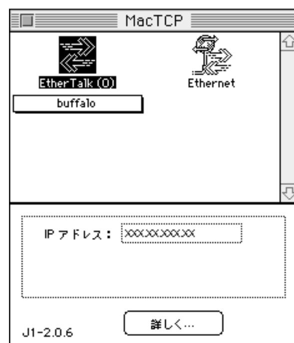


Macintosh（旧ネットワークソフト使用）

1 **Ethernet の確認**
コントロールパネルの［ネットワーク］を起動して、[EtherTalk] を選択します。

2 **IP アドレスの確認**
コントロールパネルで[MacTCP]アイコンをダブルクリックし、IP アドレスが設定されていることを確認します。

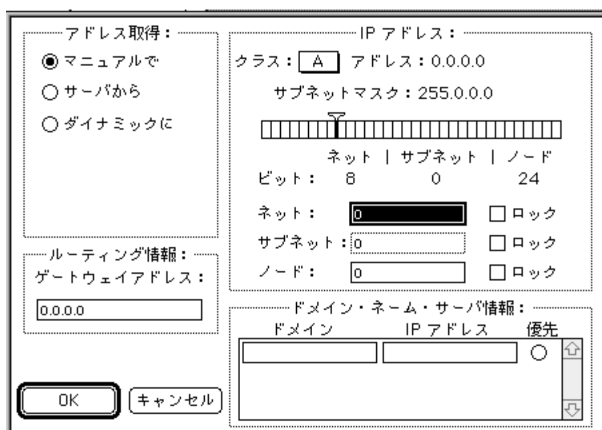
IP アドレスが設定されていない場合は、手順 3 の指示に従って、追加してください。



3 **アドレスの設定**
[詳しく ...] ボタンをクリックして次の画面で必要事項を設定してから、手順 2 の画面で IP アドレスを設定してください。


ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。
「困ったときは」210 ページ



IP アドレスの設定 / 変更

コンピュータに TCP/IP を組み込んだら、次にネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。設定方法には、次の 3 つがあります。

- プリンタの操作パネルから
- EpsonNet WinAssist/MacAssist から
- ARP/PING コマンドから



本ネットワーク I/F の IP アドレスは、初期値に [192.168.192.168] というプライベートアドレスが設定されています。
使用環境によっては、IP アドレスがこの値と重複する場合があります。その場合は、重複している機器の電源をオフにした状態で、ネットワーク I/F の IP アドレスを変更してください。
ネットワーク I/F の IP アドレスを変更するときは、必ずネットワーク管理者に確認してください。

プリンタの操作パネルから

プリンタの操作パネルから設定する場合の手順を説明します。

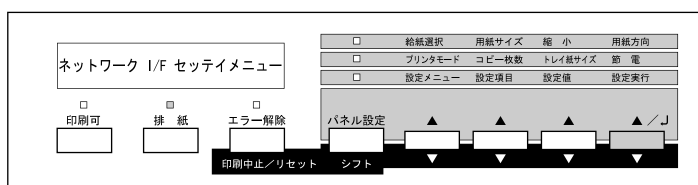
「スイッチの機能」14 ページ

1 プリンタの起動

プリンタの電源をオンにして、操作パネルの液晶ディスプレイに [インサツカノウ] と表示されるまで待ちます。

2 設定メニューの表示

液晶ディスプレイに [ネットワーク I/F セッテイメニュー] と表示されるまで、[設定メニュー] スイッチを押します。



3 IP アドレスの取得方法の選択

① ［設定項目］スイッチを 2 回押すと、［ネットワークセッテイ = シナイ］と表示されます。［設定値］スイッチを押して、［ネットワークセッテイ = スル］を選択し、［設定実行］スイッチを押して確定します。


ポイント

ここで [シナイ] を選択した場合、次の手順にある [IP アドレスセッテイ] が表示されませんので、ここでは必ず [スル] を選択し、次の手順へ進みます。

② ［設定項目］スイッチを 1 回押して、液晶ディスプレイに［IP アドレスセッテイ = パネル］と表示されることを確認します。
［パネル］と表示されている場合、手順 4 へ進みます。
［パネル］以外の内容が表示される場合、操作パネルからの IP アドレス設定は無効になります。次の③に従って、設定を変更します。

③ ［設定値］スイッチを押して、液晶ディスプレイに［パネル］と表示されたら、［設定実行］スイッチを押します。

このとき、液晶ディスプレイの表示は［パネル］［ジドウ］[PING] の順番で切り替わります。それぞれ次の意味を持っています。

メニュー	意味
パネル	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
ジドウ	ネットワーク上にある DHCP サーバから、IP アドレスを自動取得します。取得した値は、プリンタのリセットまたは電源オフの後、起動のたびにネットワークから取得します。
PING	ネットワークから、ARP コマンド、PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。設定した値は、プリンタのリセットまたは電源のオン／オフを行うと有効になります。


ポイント

- **[ジドウ] を使用するには、DHCP サーバが必要です。サーバのない環境では使用しないでください。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。**
- **[PING] は、PING コマンドから IP アドレスを設定する場合のみ選択してください。**

4 各アドレスの設定

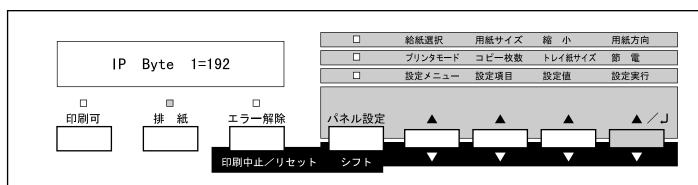
[設定項目] スイッチを 1 回押すと、液晶ディスプレイに [IP Byte 1] と表示されます。これは、現在の設定項目が IP アドレスの 1 バイト目であることを示します。
[設定項目] スイッチを押して設定項目を切り替え、各アドレスを設定してください。

表示される項目	各項目の意味
IP Byte 1/2/3/4	IP アドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。
SM Byte 1/2/3/4	サブネットマスクの 1/2/3/4 バイト目を設定します。
GW Byte1/2/3/4	ゲートウェイアドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。

[設定値] スイッチを押して、アドレスを設定します。
[シフト] スイッチを押しながら [設定値] スイッチを押すと、設定値の表示が逆戻りになります。また、どちらの場合も、スイッチを押し続けることで、値を早く切りかえることができます。

例）IP アドレス 192.168.100.201 を設定する場合

① パネルに [IP Byte 1=0] と表示されたら、[192] が表示されるまで [設定値] スイッチを押します。



② [設定実行] スイッチを押して [192] を確定します。

③ [設定項目] スイッチを押して [IP Byte 2] をパネルに表示させ、[設定値] スイッチを押して [168] を設定します。

④ [設定実行] スイッチを押して [168] を確定します。

⑤ 残りの [100][201] も同様に確定します。


ポイント

プリンタの操作パネルの詳細については「ユーザーズガイド」をご覧ください。

5 設定の保存

設定した値は、プリンタの電源のオフ / オンを行うと有効になります。

6 各ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

「ネットワークステータスシートの印刷」16 ページ

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98 印刷　「第 5 章 Windows95/98 印刷」(44 ページ)
- WindowsNT/2000 印刷　「第 6 章 WindowsNT/2000 印刷」(51 ページ)
- AppleTalk 印刷　「第 7 章 AppleTalk 印刷」(66 ページ)
- NetWare 印刷　「第 8 章 NetWare 印刷」(72 ページ)
- OS/2 印刷　「第 9 章 OS/2 印刷」(111 ページ)
- インターネット直接印刷　「第 12 章 EpsonNet Internet Print」(172 ページ)

EpsonNet WinAssist/MacAssist から

EpsonNet WinAssist/MacAssist から IP アドレスを設定する場合の手順を説明します。
ここでは、EpsonNet WinAssist の画面を例に説明します。

1 プロトコルの確認

Windows95/98/NT/2000 をお使いの場合は､TCP/IP が組み込まれていることを確認します。

「TCP/IP の組み込み」27 ページ

Macintosh をお使いの場合は、AppleTalk が組み込まれていることを確認します。

2 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

3 EpsonNet WinAssist/MacAssist の起動

① Windows95/98/NT4.0/2000 は、[スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、[EpsonNet WinAssist（共通）] グループの [EpsonNet WinAssist] アイコンをダブルクリックして起動します。
Macintosh は、[EpsonNet MacAssist] のアイコンをダブルクリックして起動します。

② リスト画面で､設定するプリンタを選択して **[設定開始]** ボタンをクリックします。




ポイント

- **本ネットワーク I/F の設定は、必ず本製品に添付の EpsonNet WinAssist/MacAssist で行ってください。**
- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  「探索オプション」119 ページ、120 ページ

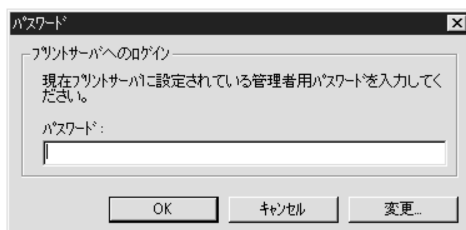
4 TCP/IP の設定

[TCP/IP] タブをクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	初期状態では、[手動] が選択されています。[自動] の場合は、DHCP サーバや BOOTP サーバによる IP アドレスの自動取得が有効になります。 [手動] を選択したら、下の [IP アドレス] でアドレスを設定します。 ・[自動] で使用するには DHCP サーバなどが必要です。DHCP サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。 ・IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。 ・[自動] で IP アドレスを取得する場合は、プリンタの電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。TCP/IP 印刷をする場合は、[手動] を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。
PING による設定	この項目は設定できません。ARP/PING コマンドによる IP アドレスの設定は、[IP アドレス] に [192.168.192.168]（初期値）が設定されている場合に可能になります。
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。 **「困ったときは」210 ページ** ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 初期値は [192.168.192.168] です。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は [255.255.255.0] です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は [255.255.255.255] です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

5 設定の保存

① [OK] ボタン、Macintosh は [送信] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。




ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ、129 ページ

---

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

6 ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。
「ネットワークステータスシートの印刷」16 ページ


ポイント

設定値を確認する場合は、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックしてください。

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98 印刷　「第 5 章　Windows95/98 印刷」（44 ページ）
- WindowsNT/2000 印刷　「第 6 章　WindowsNT/2000 印刷」（51 ページ）
- AppleTalk 印刷　「第 7 章　AppleTalk 印刷」（66 ページ）
- NetWare 印刷　「第 8 章　NetWare 印刷」（72 ページ）
- OS/2 印刷　「第 9 章　OS/2 印刷」（111 ページ）
- インターネット直接印刷　「第 12 章　EpsonNet Internet Print」（172 ページ）

ARP/PING コマンドから

ネットワークI/FのIPアドレスを、ARP/PINGコマンドから設定する方法を説明します。OS/2 をお使いの場合は EpsonNet WinAssist が使用できませんので、ARP/PING コマンドでネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。
このコマンドは、Windows95/98/NT/2000 に TCP/IP が正常に組み込まれ、設定されている場合にも使用できます。
また、ARP/PING コマンドは、ネットワーク I/F の IP アドレスに初期値（192.168.192.168）が設定されている場合に使用できます。
この方法は、ネットワーク I/F と同じセグメント内のホストでのみ使用できます。


ポイント

次の操作の前に、操作パネルの [IP アドレスセッテイ] で [PING] が選択されていることを確認してください。[PING] が選択されていない場合は、ARP/PING コマンドからの IP アドレス設定ができません。

ここでは、ネットワーク I/F の IP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合の設定例を説明します。

1 ゲートウェイアドレスの設定

ARP/PING コマンドからの設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

- ゲートウェイになるサーバやルータがある 場合、そのサーバやルータのアドレスを入力します。
- ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータのIPアドレスをゲートウェイアドレスに入力します。

「TCP/IP の組み込み」27 ページ

2 プリンタと MS-DOS プロンプトの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにし、コンピュータで [MS-DOS プロンプト] を起動します。

3 同一セグメント内のコンピュータへの PING コマンド実行

同一セグメント内の動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあればそれらに対して PING コマンドを実行します。設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、PING コマンドを実行してください。

書式）　ping_ 最寄りのコンピュータなどの IP アドレス（_ は半角スペース）

例 ）　IP アドレス 192.168.100.101 のコンピュータがある場合
C:¥>ping_192.168.100.101

PING コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます (time などの値は変動します)。

4 arp コマンド実行

arp コマンドを実行して、ネットワーク I/F に設定したい IP アドレスを、ネットワーク I/F の MAC アドレスと関連付けます。


ポイント

- **IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。**
- **MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ

書式） arp_-s_ネットワーク I/F に設定したい IP アドレス _ネットワーク I/F の MAC アドレス（_ は半角スペース）

例 ） C:¥>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

5 ネットワーク I/F への ping コマンド実行

ping コマンドを実行して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定します。

書式） ping_ 手順 4 でネットワーク I/F に設定した IP アドレス（_ は半角スペース）

例） C:¥>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。


ポイント

- **ここで「time out」などのメッセージが表示された場合、IP アドレスは正しく登録されていません。手順 3 に戻って、再度設定をしてください。**
- **ping コマンドで IP アドレスを設定した場合、サブネットマスクは IP アドレスのクラスによって自動的に変更されます。ネットワーク環境に合わせてサブネットマスク、デフォルトゲートウェイを変更する場合は、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist のいずれかを使用してください。**

6 プリンタの再起動

プリンタの電源を一旦、オフにしてください。もう一度、電源をオンにしてプリンタを再起動してください。

7 ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

「ネットワークステータスシートの印刷」16 ページ

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98 印刷　　「第 5 章　Windows95/98 印刷」（44 ページ）
- WindowsNT/2000 印刷　「第 6 章　WindowsNT/2000 印刷」（51 ページ）
- AppleTalk 印刷　　「第 7 章　AppleTalk 印刷」（66 ページ）
- NetWare 印刷　　「第 8 章　NetWare 印刷」（72 ページ）
- OS/2 印刷　　「第 9 章　OS/2 印刷」（111 ページ）
- インターネット直接印刷　「第 12 章　EpsonNet Internet Print」（172 ページ）

第 5 章

Windows95/98 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、Windows95/98 で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次の通りです。

- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP（LPR）印刷
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。
- IPP 印刷
  「第 12 章　EpsonNet Internet Print」172 ページ

TCP/IP 印刷

Windows95/98 は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ、EpsonNet Direct Print を使ってエプソン製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。

「EpsonNet Direct Print」163 ページ

NetBEUI 印刷

NetBEUI 印刷をするための設定方法を説明します。


ポイント

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、NetBEUI 印刷では使用できません。

クライアントとプロトコルの組み込み

お使いのコンピュータに、NetBEUI での印刷に必要なプロトコルをインストールします。

1 Microsoft ネットワーククライアントの組み込み

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定] 画面で **[追加]** ボタンをクリックします。
[現在のネットワーク構成] に [Microsoft ネットワーククライアント] がある方は追加不要です。

② [クライアント] を選択し、[Microsoft ネットワーククライアント] を追加します。



2 NetBEUI プロトコルの組み込み

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定] 画面で **[追加]** ボタンをクリックします。
[現在のネットワーク構成] に [NetBEUI] がある方は追加不要です。

② [プロトコル] を選択し、[NetBEUI] を追加します。



NetBEUI の設定

ネットワーク I/F の NetBEUI 設定の初期値は次の通りです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssist またはEpsonNet WebAssist を使用します。

NetBIOS 名	EPxxxxxx（xxxxxx はネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁）
ワークグループ名	WORKGROUP
デバイス名	EPSON

ここでは、EpsonNet WinAssist からの設定を説明します。EpsonNet WebAssist からの設定については、下記のページを参照してください。

「EpsonNet WebAssist」131 ページ


ポイント

EpsonNet WinAssist での NetBEUI の設定は、ネットワーク I/F に IP アドレスが設定されているか、設定するコンピュータから NetWare サーバ /NDS コンテキストに管理者権限でログインしている場合に行えます。

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面で設定するプリンタを選択して、**[設定開始]** ボタンをクリックします。



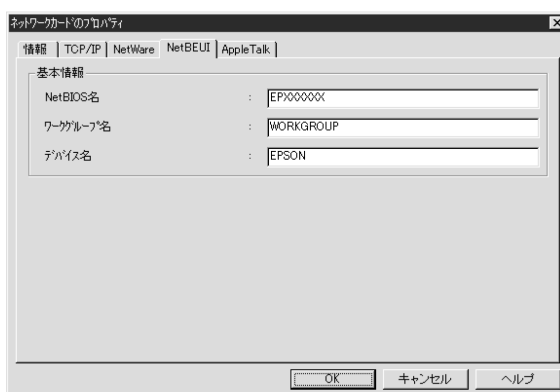


- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  「探索オプション」119 ページ、120 ページ



NetBEUI の設定

[NetBEUI] タブをクリックして、各項目を設定します。



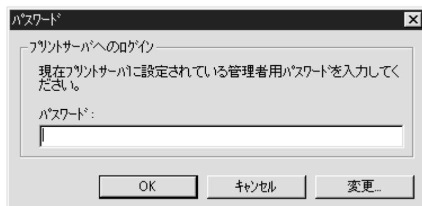
設定項目	設定内容
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。



ネットワーク I ／ F に IP アドレスが設定されていない場合、NetBEUI の項目が設定できないことがあります。その場合は、まずネットワーク I ／ F に IP アドレスを設定してください。

4 設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。




ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

1 [プリンタの追加] 起動



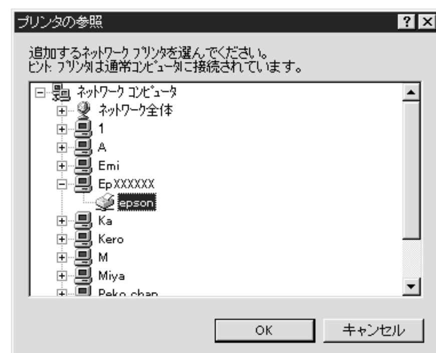
① [マイコンピュータ] の [プリンタ] ウインドウから [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

② 右の画面で [ネットワークプリンタ] を選択します。

2 プリンタの選択



① **[参照]** ボタンをクリックします。

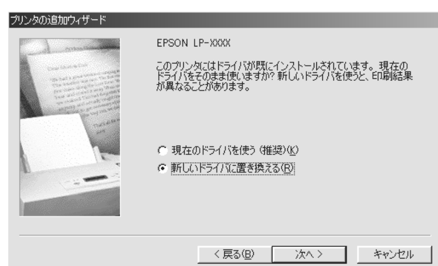


② 表示されるリストから設定するプリンタを選択して、**[OK]** ボタンをクリックします。

③ 参照できない場合は①の画面に戻って、[ネットワークパスまたはキューの名前] 欄に次のように入力します。
¥¥(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)¥(ネットワーク I/F のデバイス名)



右の画面が表示された場合は、必ず [新しいドライバに置き換える] を選択してください。



この後は画面の指示に従って設定してください。

第６章

WindowsNT/2000 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、WindowsNT/2000 で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次の通りです。

- WindowsNT 4.0、Windows2000
- LPR Port(TCP/IP)
- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP 印刷
  「第 11 章　EpsonNet Direct Print」163 ページ
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。
- Windows2000 以外の IPP 印刷
  「第 12 章　EpsonNet Internet Print」172 ページ
- IPP 印刷に使うプリンタの状態を表示する
  「第 13 章　Printer Status Page」183 ページ

TCP/IP 印刷

WindowsNT/2000 標準の、TCP/IP の LPR Port 印刷ができます。
本製品付属のユーティリティ、EpsonNet Direct Print を使っての、EPSON 製プリンタへの TCP/IP(LPR) 直接印刷もできます。下記の手順に従って設定してください。

「第 11 章　EpsonNet Direct Print」163 ページ

Standard TCP/IP Port または LPR Port での接続

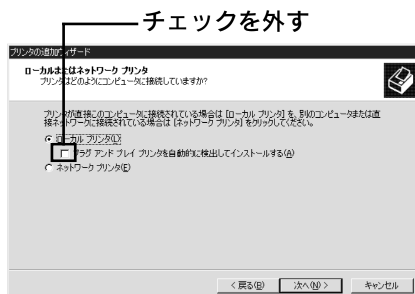
Windows2000

1 **プリンタの起動**
ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

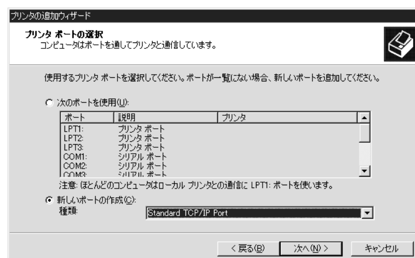
2 **プリンタを Standard TCP/IP Port で接続**

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [プリンタ] ウィンドウで [プリンタの追加] をダブルクリックします。

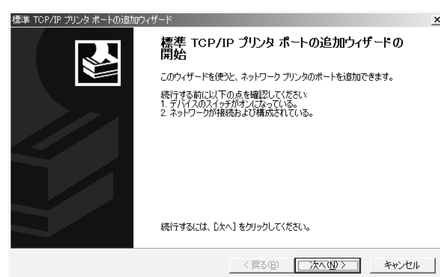
② 右の画面で [ローカルプリンタ] を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。



② [新しいポートの作成] を選択し、プルダウンで [Standard TCP/IP Port] を選択して、**[次へ]** ボタンをクリックします。

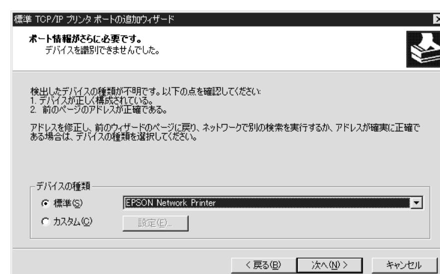


③ ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、**［次へ］**ボタンをクリックします。



④ ポートの追加画面で、［プリンタ名またはIP アドレス］欄にネットワーク I/F のIP アドレスを入力し、**［次へ］**ボタンをクリックします。
あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。

⑤ 何らかの理由でプリンタが正しく検出できなかった場合は、右の画面が表示されます。この画面が表示されたら、［標準］を選択し、［EPSON Network Printer］を選択します。あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。



以上で設定は終了です。

WindowsNT4.0

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 ネットワークサービスの確認

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] をダブルクリックします。

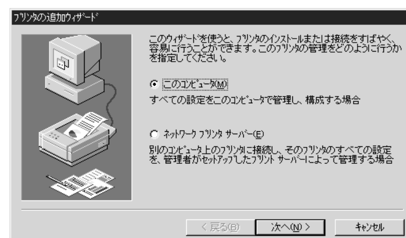
② [サービス] 画面に [Microsoft TCP/IP 印刷] があることを確認します。[Microsoft TCP/IP 印刷] がない場合は、**[追加]** ボタンをクリックして追加します。画面の指示に従ってください。



3 プリンタを LPR Port で接続

① [マイコンピュータ] の [プリンタ] ウィンドウで [プリンタの追加] をダブルクリックします。

② 右の画面で [このコンピュータ] を選択し、**[次へ]** ボタンをクリックします。



③ **[ポートの追加]** ボタンをクリックします。



④ ［プリンタポート］画面が表示されるので、［LPR Port］を選択し、
［新しいポート］ボタンをクリックします。





［Lexmark TCP/IP Network Port］は使用できません。

⑤ ［LPR 互換プリンタの追加］画面が表示されます。［lpd を提供しているサーバの名前またはアドレス］に、ネットワーク I/F の IP アドレスを、［サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名］にプリンタ名を入力して、**［OK］**ボタンをクリックします。あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。





［lpd を提供しているサーバの名前またはアドレス］には、必ずネットワーク I/F の IP アドレスを入力してください。

以上で設定は終了です。

NetBEUI 印刷

NetBEUI 印刷をするための設定方法を説明します。



EPSON プリンタウィンドウ !3 は、NetBEUI 印刷では使用できません。

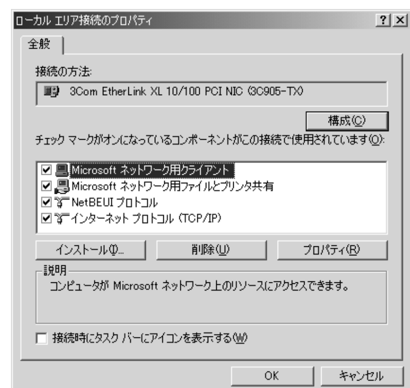
NetBEUI プロトコル の組み込み

Windows2000

1 Microsoft ネットワーク用クライアントの確認

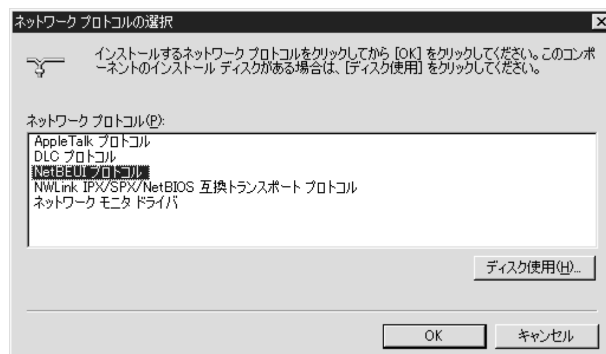
① ［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］にある［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

② ［ローカルエリア接続のプロパティ］画面で［Microsoft ネットワーク用クライアント］があることを確認します。



2 NetBEUI プロトコルの組み込み

［ローカルエリア接続のプロパティ］画面で **［インストール］** ボタンをクリックして［NetBEUI プロトコル］を追加します。
［NetBEUI プロトコル］がある場合は追加不要です。



次に NetBEUI 情報の設定をします。

WindowsNT4.0

1 ワークステーションサービスの組み込み

① ［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］にある［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

② ［サービス］画面で **［追加］** ボタンをクリックして［ワークステーション］を追加します。
［ワークステーション］がある場合は追加不要です。



2 NetBEUI プロトコルの組み込み

［プロトコル］画面で **［追加］** ボタンをクリックして［NetBEUIプロトコル］を追加します。
［NetBEUI プロトコル］がある場合は追加不要です。



次に NetBEUI 情報の設定をします。

NetBEUI の設定

ネットワーク I/F の NetBEUI 設定の初期値は次の通りです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssist またはEpsonNet WebAssist を使用します。

NetBIOS 名	EPxxxxxx（xxxxxx はネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁）
ワークグループ名	WORKGROUP
デバイス名	EPSON

ここでは、EpsonNet WinAssist からの設定を説明します。EpsonNet WebAssist からの設定については、下記のページを参照してください。

「EpsonNet WebAssist」131 ページ



EpsonNet WinAssist での NetBEUI の設定は、ネットワーク I/F に IP アドレスが設定されているか、設定するコンピュータから NetWare サーバ /NDS コンテキストに管理者権限でログインしている場合に行えます。

1 プロトコルの確認

設定に使うコンピュータに TCP/IP または IPX を組み込んで設定します。

「TCP/IP の組み込み」27 ページ

2 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

3 EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面で設定するプリンタを選択して、**[設定開始]** ボタンをクリックします。

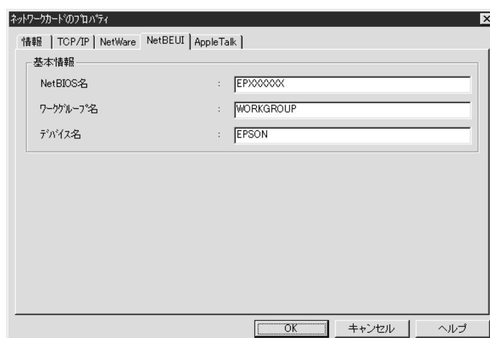




- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  「探索オプション」119 ページ、120 ページ

4 NetBEUI の設定

[NetBEUI] タブをクリックして、各項目を設定します。



設定項目	設定内容
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。



ネットワーク I ／ F に IP アドレスが設定されていない場合、NetBEUI の項目が設定できないことがあります。その場合は、まずネットワーク I ／ F に IP アドレスを設定してください。

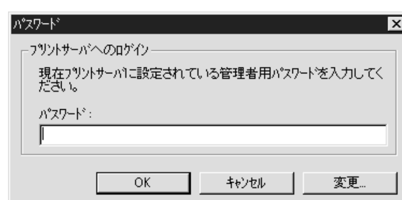


設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ



② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

Windows 2000

1 [プリンタの追加] 起動

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [プリンタ] ウィンドウから、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

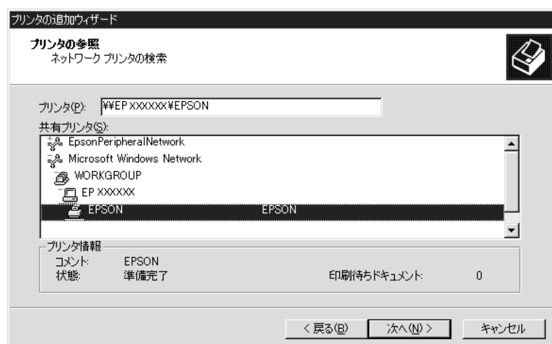
② **[次へ]** ボタンをクリックします。

③ [ネットワークプリンタ] を選択します。

2 プリンタの選択

[プリンタの検索] 画面で **[次へ]** ボタンをクリックし、[共有プリンタ] から設定するプリンタをクリックします。参照できない場合は、[プリンタ] 欄に次の書式でパスを入力します。

¥¥(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)¥(ネットワーク I/F のデバイス名)



この後は画面の指示に従って設定してください。

WindowsNT4.0

1 **[プリンタの追加] 起動**

① 〔マイコンピュータ〕の〔プリンタ〕ウィンドウから、〔プリンタの追加〕アイコンをダブルクリックします。

② 〔ネットワークプリンタサーバー〕を選択します。

2 **プリンタの選択**

〔共有プリンタ〕から、設定するプリンタをクリックします。

参照できない場合は、〔プリンタ〕欄に次の書式でパスを入力します。

¥¥(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)
¥(ネットワーク I/F のデバイス名)



この後は画面の指示に従って設定してください。

NET USE コマンド

WindowsNT/2000 をサーバとして、NetBEUI を使って接続する場合は、WindowsNT/2000 の仕様上、NET USE コマンドを使うことをお勧めします。設定方法は次の通りです。

1 **サービスの確認**

[コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] または [ネットワーク] で次のサービスが組み込まれていることを確認します。組み込まれていない場合は、**[インストール]** または **[追加]** ボタンをクリックして追加してください。

- Windows2000

  [ローカルエリア接続のプロパティ] で、[Microsoft ネットワーク用クライアント] が組み込まれていることを確認します。

- WindowsNT4.0

  [サービス] 画面で [ワークステーション] または [サーバー] が組み込まれていることを確認します。

2 **コマンド実行**

コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワーク I/F の NetBIOS 名 ¥ ネットワーク I/F のデバイス名（_ は半角スペース）

例）　LPT1 に設定する場合
C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

3 **プリンタポートの選択（クライアント）**

設定したプリンタを使用するためには、プリンタポートを手順 2 で設定したポートにする必要があります。

- Windows95/98

  使用するプリンタの [プロパティ] を開き、[詳細] 画面で手順 2 で設定したポートを選択します。

- Windows2000

  使用するプリンタの [プロパティ] を開き、[ポート] 画面で手順 2 で設定したポートを選択します。

- WindowsNT4.0

  使用するプリンタの [プロパティ] を開き、[ポート] 画面で手順 2 で設定したポートを選択します。

IPP 印刷（Windows2000 のみ）

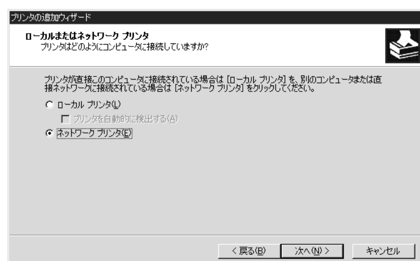
Windows2000 では、Internet Priniting Protocol（IPP）印刷ができます。

Microsoft Windows® 2000インターネット印刷は、Windows2000 の OS に実装されている新機能です。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタへ印刷ができます。

プリンタの設定

1 インターネット印刷用プリンタの設定

① ［マイコンピュータ］の［コントロールパネル］にある［プリンタ］ウィンドウで［プリンタの追加］をダブルクリックします。［ネットワークプリンタ］を選択し、**［次へ］**ボタンをクリックします。



② 以下の画面が表示されたら［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択し、次の書式で入力します。

「IPP」156 ページ

書式）http:// ネットワーク I/F の IP アドレス :631/EPSON_IPP_Printer

あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。




ポイント

- **プリンタドライバは、プリンタの追加ウィザードの中でインストールしてください。プリンタドライバの Setup.exe を直接起動しないでください。**
- **EPSON プリンタウィンドウ !3 は、IPP 印刷では使用できません。**

第 7 章

AppleTalk 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを Macintosh で使用する際の設定方法を説明します。Macintosh からは EtherTalk を利用して、Macintosh のネットワークでの印刷環境を設定できます。また、Windows からも TCP/IP、IPX を利用して Macintosh のネットワーク印刷環境を設定できます。

対応するシステムは次の通りです。

- Macintosh OS
  漢字 Talk7.5.x
  MacOS 7.6.x/8.x/9.x（MacOS9 のマルチユーザ環境には対応していません。）
- EtherTalk Phase Ⅱ
- EPSON プリンタドライバ

AppleTalk の設定

設定には 3 通りの方法があります。Macintosh から設定する場合は EpsonNet MacAssist から、Windows から設定する場合は EpsonNet WinAssist から設定してください。
ネットワーク I/F の IP アドレスを設定してある場合は、EpsonNet WebAssist から設定することもできます。

「EpsonNet WinAssist から」70 ページ
「EpsonNet WebAssist」131 ページ

EpsonNet MacAssist から

1 プリンタドライバのインストール

本プリンタのプリンタドライバをインストールします。

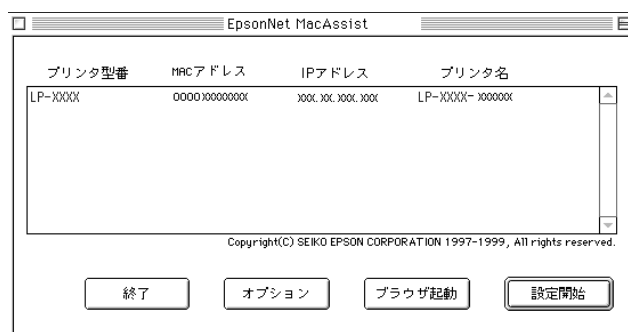
2 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

3 EpsonNet MacAssist の起動

① [EpsonNet MacAssist] アイコンをダブルクリックして起動します。

② リスト画面で、設定するプリンタを選択して **[設定開始]** ボタンをクリックします。





ポイント

- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **お使いのコンピュータのゾーン外にあるプリンタは、[オプション] 画面の [ゾーン選択] で設定すると、表示されます。**
  「ゾーン選択」128 ページ

4 AppleTalk 設定

[IP アドレスの設定][AppleTalk の設定] 画面が表示されますので、各項目を設定します。

[IP アドレスの設定] については、下記のページを参照してください。

「EpsonNet WinAssist/MacAssist から」38 ページ

設定項目	設定内容
AppleTalk の設定	
プリンタ設定	
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値 : プリンタ名 - ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
AppleTalk 設定	
ゾーン名	ゾーン名を選択します。初期状態では、アスタリスク（*）が表示されます。
ネットワーク 番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は [自動] を選択します。
手動設定時の ネットワーク番号	上の欄で [手動] を選択した場合に、0 ～ 65534 の番号を入力します。

5 設定の保存

① ［送信］ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正しく行われました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

現在のプリントサーバに設定されている管理者用パスワードを入力してください。

パスワード:

変更　キャンセル　OK


ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」129 ページ

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。


ポイント

この後、設定したプリンタをリスト画面に表示させる場合は、EpsonNet MacAssist を再起動してください。

EpsonNet WinAssist から

本プリンタを Windows で管理している場合は、Windows から EpsonNet WinAssist を使って設定します。



EpsonNet WinAssist での AppleTalk の設定は、ネットワーク I/F に IP アドレスが設定されているか、NetWare サーバ /NDS コンテキストに管理者権限でログインしている場合に行えます。

1 プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

① Windows95/98/NT4.0/2000 は、[スタート] メニューのプログラム［EpsonNet WinAssist］をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、［EpsonNet WinAssist（共通）］グループの［EpsonNet WinAssist］アイコンをダブルクリックして起動します。

② リスト画面で設定するプリンタを選択して、**[設定開始]** ボタンをクリックします。





- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  「探索オプション」119 ページ、120 ページ

3 AppleTalk の設定

[AppleTalk] タブをクリックして、AppleTalk を設定します。



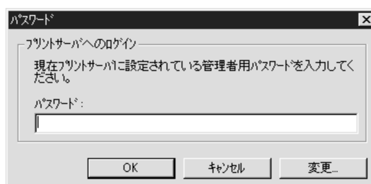
設定項目	設定内容
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値 : プリンタ名 - ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
ゾーン名	[ネットワーク番号の取得方法] で [自動] を選択した場合、＊を入力すると自動的に設定されます。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
[エンティティタイプの設定]	ここでの設定は不要です。
ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は [自動] を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	上の欄で [手動] を選択した場合に、0 〜 65534 の番号を入力します。

4 設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。


ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。



工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

第 8 章

NetWare 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタをNetWare で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次の通りです。

サーバ環境

- NetWare3.1J/3.11J/3.12J/3.2J
- NetWare4.1J/4.11J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- IntranetWare-J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- NetWare5J（NDS/ キューベースプリントシステム/NDPS）

クライアント環境

- NetWare がサポートしているクライアント環境
- ネットワークに接続したプリンタのプリンタドライバが使えること

使用上の注意

モードについて

ネットワーク I/F にはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは任意に設定できます。通常はプリントサーバモードをお勧めします。NetWare ファイルサーバのユーザ数に余裕がなければリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード (NDS/Bindery Print Server)

特徴

- 8台までのファイルサーバを同時接続可能
- 直接印刷を制御するので印字速度が速い
- NetWare のユーザアカウントを使用する
- プリントキューは最大 32 ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード (Remote Printer)

特徴

- NetWare のユーザーアカウントを使用しない
- リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
- プリンタの接続は、NetWare3.xJ で最大 16 台、NetWare4.1xJ、IntranetWare-J、NetWare5J では最大 255 台まで可能


ポイント

リモートプリンタモードでは、プリンタの電源を入れたときに一時的にユーザーアカウントを使用します。ユーザーアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前にプリンタの電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードでは NetWare の機能は動作しませんが、SAP/RIP などの一部プロトコルがネットワーク上に流れる場合があります。

使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWare の NPRINT コマンドやDOS のリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれの起きる可能性があります。

PCONSOLE での制限

NetWare3.xJ のプリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLE のプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

IPX ルーティングプロトコル "NLSP" での注意点

NetWare4.1xJ 以降は IPX ルーティングプロトコル "NLSP" を設定できますが、本ネットワーク I/F は "NLSP" に対応していません。RIP/SAP により通信を制御しています。ルーティングプロトコルの選択肢には ① NLSP と RIP/SAP ② RIP/SAP 専用がありますが、"NLSP と RIP/SAP" が指定されている状態で、任意に RIP、SAP のバインドを外した場合、ネットワーク I/F はファイルサーバや NDS との通信ができなくなりますので、ご注意ください（参照：ユーティリティ INETCFG の、"プロトコル" および "バインド" タスク内）。

バインダリと NDS に関する注意点

- バインダリコンテキスト･パスは、サーバコンソールから SET BINDERY CONTEXT コマンドで確認できます。
- バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS 非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCF ファイル内に、SET BINDERY CONTEXT コマンドで設定します。
- 以下の Novell クライアントサービスをご使用の場合、EpsonNet WinAssist からのバインダリプリントサーバモードの設定はできません。バインダリモードでの設定を行う場合には Novell IntranetWare Client をお使いいただくか、EpsonNet WebAssist で設定を行ってください。
  Novell Client for Windows95/98 Version 3.0
  Novell Client for WindowsNT Version 4.50

詳しくは NetWare4.1xJ/5J のマニュアルをご覧ください。

NDS コンテキストの表示・印刷

NDS コンテキストについて、ネットワークステータスシートと EpsonNet WebAssist では、ASCII 文字のみを正しく表示できます。

ネットワーク I/F 情報取得時間について

ネットワークに接続したプリンタの電源を投入してから、NetWare サーバに認識されるまで最大 2 分の時間がかかります。その間、ネットワークステータスシートには正しい情報が反映しませんので、ご注意ください。

フレームタイプについて

IPX をバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべての NetWare サーバ、IPX ルータで統一する必要があります。
複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合、すべての NetWare サーバ、IPX ルータにそれらをバインドしてください。

NetWare5J を使用する場合

NetWare5J サーバに、IPX プロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

動作モードが異なる場合の注意点

ネットワーク I/F に設定されているモードと異なるモードでログインし、EpsonNet WinAssist で NetWare の設定を行おうとすると、メッセージが表示されます。現在の設定を変更したくない場合は、[**キャンセル**] をクリックして、ネットワーク I/F に設定されているモードでログインし直してください。

バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ）

NetWare3.xJ/4.1xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）でネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。


注 意

- **ここでの設定と同様の設定が、EpsonNet WebAssist からも行えます。下記ページを参照してください。**
  「EpsonNet WebAssist」131 ページ
- **設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。次のクライアントは使用しないでください。**
  Novell Client for Windows95/98 Version3.00
  Novell Client for WindowsNT Version4.50

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限をもつユーザ（バインダリ接続）でログインします。
NetWare4.1xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

2 EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して **[設定開始]** ボタンをクリックします。





- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  「探索オプション」120 ページ



NetWare 設定画面の表示

[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。



現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とプリントサーバ設定

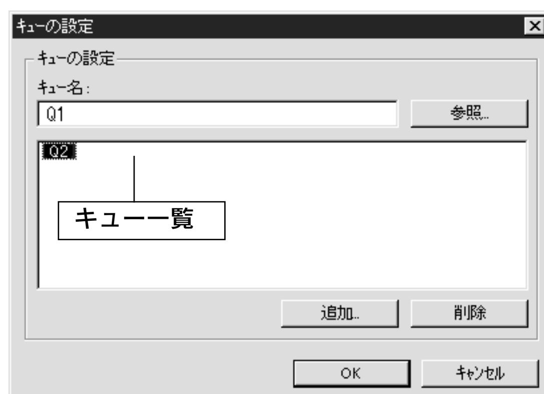
画面の右半分は、[モード]で[プリントサーバ/バインダリ]を選択すると表示されます。



設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ / バインダリ] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動のみ選択できます。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするファイルサーバを選択します。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、名前を半角英数 47 文字以内で入力します。
プリントサーバ パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバ パスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5 ～ 90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
[プリントキュー設定]	キューの設定をします。次ページを参照してください。 PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ (Epson Net!2 for Windows/Intranet) ですでにキューを割り当ててある場合は、ここで再度、キューの割り当てをしてください。

5 プリントキュー設定

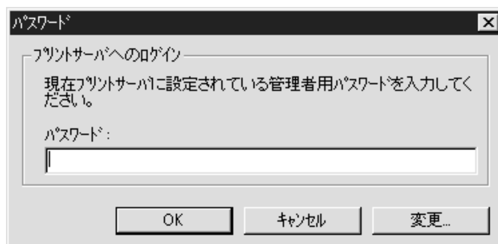
ネットワーク I/F へ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。



<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>キュー名</td><td colspan="2">ネットワーク I/F へ割り当てるプリントキュー名を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">[参照]</td><td colspan="2">割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、ログインしているファイルサーバ以下をすべて表示します。</td></tr>
<tr><td>キューの選択</td><td>プリントキューを選択して [OK] ボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>キューの新規作成</td><td>キューを作成するファイルサーバをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成] を選択します。
[キュー名] は半角英数 47 文字以内で入力します。</td></tr>
<tr><td>キューの削除</td><td>プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除] を選択します。</td></tr>
<tr><td>キュー一覧</td><td colspan="2">プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>[追加]</td><td colspan="2">割り当てるキューを追加します。[参照] で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>[削除]</td><td colspan="2">キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
</table>

6 設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。




ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ

② その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。


ポイント

EpsonNet WinAssist で設定を保存すると、プリンタオブジェクトは [PR0]（0：ゼロ）の名前で自動的に作成されます。
プリンタ名を変更する場合は、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN から行ってください。

NDS プリントサーバ印刷（NetWare4.1xJ/5J）

NetWare4.1xJ/5J/IntranetWare-J のプリントサーバモード（NDS）環境でネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。


ポイント

- **ここでの設定と同様の設定が、EpsonNet WebAssist からも行えます。下記ページを参照してください。**
  「EpsonNet WebAssist」131 ページ
- **設定を行うコンピュータに、Client 32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしておいてください。**

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して **[設定開始]** ボタンをクリックします。




ポイント

- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  「探索オプション」120 ページ

3 NetWare 設定画面の表示

[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。


ポイント

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[モード] で [プリントサーバ /NDS] を選択すると表示されます。画面右の設定については次ページの説明をご覧ください。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ /NDS] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動のみ選択できます。
NDS ・[参照] でプリントサーバのコンテキストを選択します。画面右でプリントサーバの設定をする前に、必ずこの欄を設定してください。 ・ EpsonNet WinAssist を使用するコンピュータに Novell クライアントサービスがインストールされていないと、ここでの設定はできません。 ・[ツリー名] と [コンテキスト] に設定できる文字数や文字種の制限についての詳細は、NetWare のマニュアルを参照してください。	
ツリー名	**[参照]** ボタンをクリックして、NDS ツリーを選択します。
コンテキスト	**[参照]** ボタンをクリックして、NDS コンテキストを選択します。

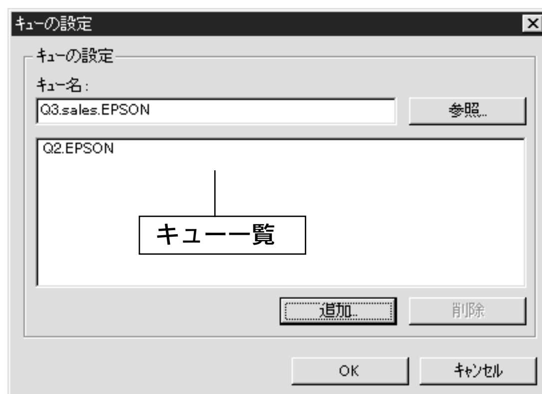
設定項目	設定内容
プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	この欄の設定は不要です。
プリントサーバ名	NDS 欄で指定したコンテキストに所属するプリントサーバがリスト表示されますので、プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、半角英数 47 文字以内で名前を入力します。
プリントサーバ パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバ パスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5 ～ 90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
[プリントキュー設定]	キューの設定をします。次ページを参照してください。 PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ (Epson Net!2 for Windows/Intranet) ですでにキューを割り当ててある場合は、ここで再度、キューの割り当てをしてください。



プリントキュー設定

ネットワーク I/F へ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。

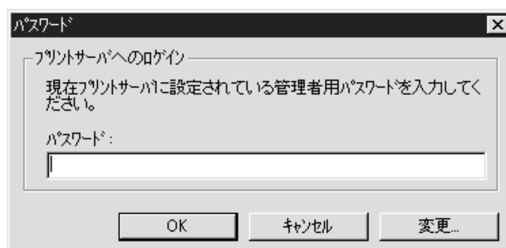
ポイント **ここでは、[コンテキスト] 欄で設定したコンテキストより上のコンテキストに対しても、キューを設定できます。その場合は、キューを設定したコンテキストに対して管理者の権限を持っている必要があります。**



<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>キュー名</td><td colspan="2">ネットワーク I/F へ割り当てるキューを、[プリントキュー . 部門名 . 組織名] の書式で表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">[参照]</td><td colspan="2">割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、NDS 欄で設定したツリー以下を表示します。</td></tr>
<tr><td>キューの選択</td><td>プリントキューを選択して [OK] ボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>キューの新規作成</td><td>キューを作成するコンテキストをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成] を選択します。
[キュー名] は半角英数 47 文字以内で入力します。
[キュー作成サーバ] はキューを作成するサーバを選択します。
キューは、ファイルサーバの SYS ボリューム下に作成されます。キューを SYS ボリューム以外のボリュームに作成したいときは、PCONSOLE または NWADMIN から作成してください。</td></tr>
<tr><td>キューの削除</td><td>プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除] を選択します。</td></tr>
<tr><td>キュー一覧</td><td colspan="2">プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>[追加]</td><td colspan="2">割り当てるキューを追加します。[参照] で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>[削除]</td><td colspan="2">キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
</table>

6 設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。




ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ

---

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。


ポイント

EpsonNet WinAssist で設定を保存すると、プリンタオブジェクトは次の書式で自動的に作成されます。
プリントサーバ名 _P0(0:ゼロ)
プリンタ名を変更する場合は、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN から行ってください。

リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）

NetWare3.xJ/4.1xJ/5J/IntranetWare-J のリモートプリンタモードでネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。
まず、PCONSOLE または NWADMIN を使ってプリンタ環境を設定します。お使いの NetWare によって、使用するユーティリティと手順が異なります。次のページをご覧ください。

- NetWare3.xJ

  「プリンタ環境の設定（PCONSOLE から）」次ページ

- NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）

  「プリンタ環境の設定（バインダリ）」89 ページ

- NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）

  「プリンタ環境の設定（NWADMIN から）」94 ページ

その後、EpsonNet WinAssist でネットワーク I/F の設定をします。


ポイント

設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。

プリンタ環境の設定（PCONSOLE から）

NetWare3.xJ をお使いの方は、次の設定を行ってください。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザーでログインします。

2 プリントキューの登録

① PCONSOLE を起動し、[利用可能な項目] から [プリントキュー情報] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新プリントキュー名] 欄にプリントキュー名を入力します。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報


ポイント

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3 キューユーザの登録

[プリントキュー] リストから作成したプリントキューを選択すると [プリントキュー情報] メニューが表示されますので、[キューユーザ] を選択して、[EVERYONE] が登録されていることを確認します。EVERYONE がない場合は、[Insert] キーを押して、キューユーザーリストから [EVERYONE] を選択します。

4 プリントサーバの登録

① [利用可能な項目] から [プリントサーバ情報] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新プリントサーバ名] 欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

5 プリンタの構成

① 〔プリントサーバ〕リストから作成したプリントサーバを選択すると、〔プリントサーバ情報〕画面が表示されますので、〔プリントサーバ構成〕を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

② 〔プリントサーバ構成メニュー〕画面が表示されますので、〔プリンタの構成〕を選択します。

③ 〔構成完了プリンタ〕の最上段〔インストールされていません（プリンタ番号＝0）〕を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	0
インストールされていません	1
インストールされていません	2

④ 次のように設定します。

プリンタ０の構成	
名前：Printer-0	任意のプリンタ名を入力
タイプ：リモートパラレル,LPT1	リモートパラレル ,LPT1 を選択
社別識別子：ESCP	任意に入力
IRQ：7	
バッファサイズ（Kバイト）：3	
開始用紙：0	必要に応じた用紙の変更可
キューサービスモード	
ボーレート：	
データビット：	
ストップビット：	
パリティ：	
X-On/X-Off使用有無	

⑤ [Esc] キーを押して、変更内容を保存します。

6 プリンタとキューの関連付け

① 〔プリントサーバ構成メニュー〕から〔プリンタでサービスされているキュー〕を選択します。

プリンタサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

② 〔定義済みのプリンタ〕リストから、手順 5 で作成したプリンタを選択します。

③ [Insert] キーを押して、〔使用可能キュー〕リストから、手順 2 で作成したキューを選択してください。

④ 〔優先順位〕を 1 から 10 までの数値で指定します。1 が最優先です。

7 PCONSOLE の終了

[Esc] キーを押して、PCONSOLE を終了します。下記のページへ進んでください。

☞ 「ネットワーク I/F の設定」98 ページ

プリンタ環境の設定（バインダリ）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）をお使いの方は、次の設定を行ってください。


ポイント

- **必要に応じて、各ユーザにトラスティを割り当ててください。**
- **プリントキュー、プリントサーバは必ず PCONSOLE で設定してください。NWADMIN ではバインダリキューを作成できません。**

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。


ポイント

設定に使うクライアントが NDS モードでログインしている場合には、PCONSOLE 起動時に [F4] キーを押して、バインダリモードに移行してから設定を行ってください。

2 プリントキューの登録

① PCONSOLE を起動し、[利用可能な項目] から [プリントキュー] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新しいプリントキュー名] を入力します。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更


ポイント

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3 キューユーザの登録

[プリントキュー] リストから作成したプリントキューを選択すると [プリントキュー情報] メニューが表示されますので、[キューユーザ] を選択して、[EVERYONE] が登録されていることを確認します。EVERYONE がない場合は、[Insert] キーを押して、キューユーザリストから [EVERYONE] を選択します。

4 プリントサーバの登録

① [利用可能な項目] から、[プリントサーバ] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新しいプリントサーバ名] を入力します。

5 PCONSOLE の終了

PCONSOLE を終了して、NetWare サーバからログアウトします。

6 サーバへのログイン

NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、NDS 接続でログインしてください。

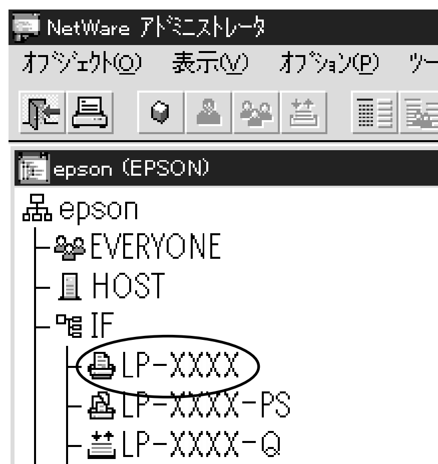
7 プリンタの作成

NWADMIN を起動し、手順 4 で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの [オブジェクト]-[作成]-[プリンタ] を選択します。プリンタ名を入力して **[作成]** ボタンをクリックします。



8 プリントキューの割り当て

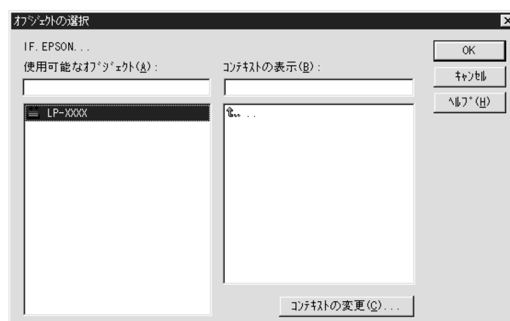
① NetWare アドミニストレータ画面で、手順 7 で作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② **[割り当て]** ボタンをクリックし **[追加]** ボタンをクリックします。



③ プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順２で作成したキュー）を選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。



9 プリンタタイプの設定

① [プリンタ] 画面に戻って **[環境設定]** ボタンをクリックし、[プリンタタイプ] で [パラレル] を選択して、右の **[通信]** ボタンをクリックします。



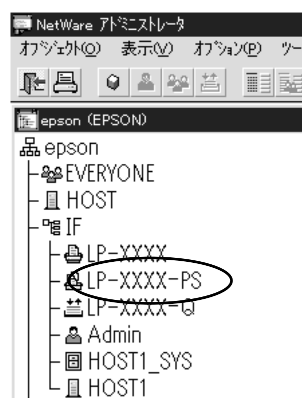
② ポート [LPT1]、割り込み [ポーリング]、接続タイプ [手動ロード] を選択します。



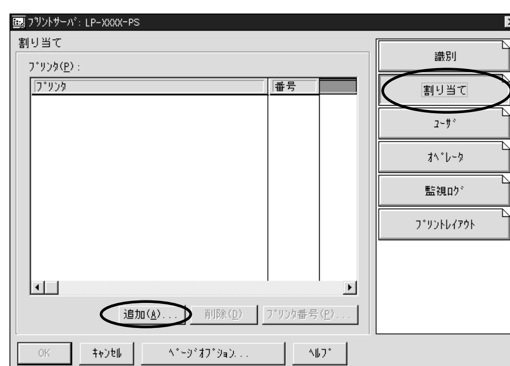
③ 設定が終了したら **[OK]** ボタンをクリックして [パラレル通信] 画面を閉じ、[プリンタ] 画面で **[OK]** ボタンをクリックします。

10 プリンタの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



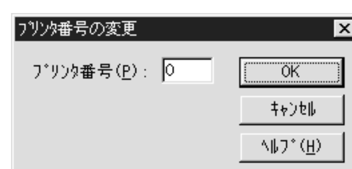
② **[割り当て]** ボタンをクリックし、**[追加]** ボタンをクリックします。



③ プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順7で作成したプリンタを選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。

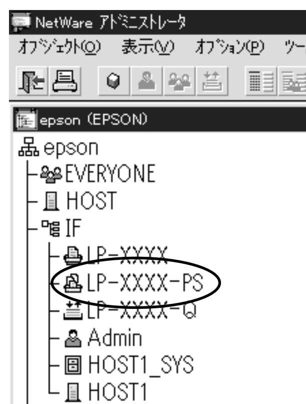


④ ②の画面に戻って、一覧から割り当てたプリンタを選び **[プリンタ番号]** ボタンをクリックします。プリンタ番号を0〜15の範囲で設定し、**[OK]** ボタンをクリックします。



11 割り当てたオブジェクトの確認

① NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② [プリントレイアウト] ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。下記のページへ進んでください。

「ネットワーク I/F の設定」98 ページ



プリンタ環境の設定（NWADMIN から）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）をお使いの方は、NWADMIN から設定できます。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN と同等の権限のあるユーザでログインします。

2 プリンタの作成

NWADMIN を起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリンタ］を選択します。プリンタ名を入力して **［作成］** ボタンをクリックします。



3 プリントサーバの作成

ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントサーバ］を選択します。プリントサーバ名を入力して **［作成］** ボタンをクリックします。



4 プリントキューの作成

① ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントキュー］を選択します。プリントキュー名を入力して **［作成］** ボタンをクリックします。

② プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザを登録します。

プリントキューを置くボリュームを指定（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）

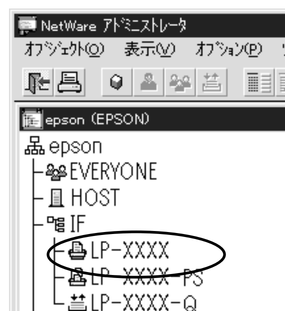



ポイント

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

5 プリントキューの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面でプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

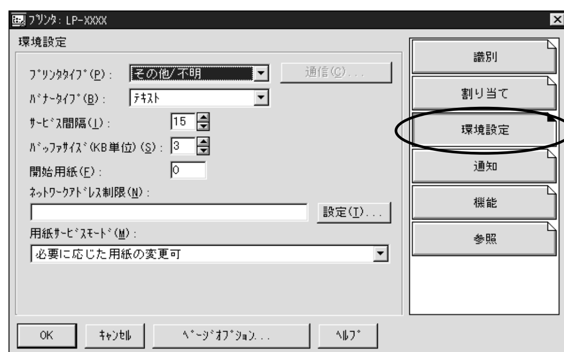


② [割り当て] ボタンをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。



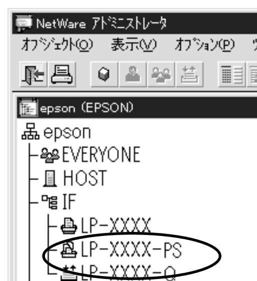
③ プリントキューの一覧が表示されるので、手順4で作成したキューを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

④ [環境設定] をクリックして [プリンタタイプ] 欄で [その他 / 不明] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

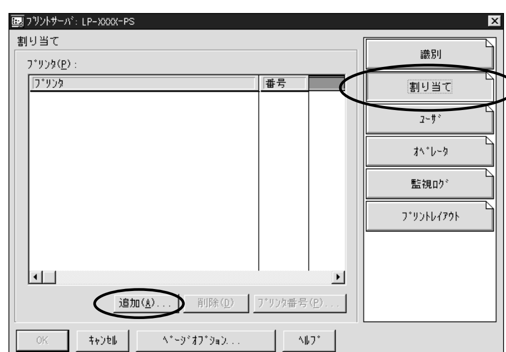


6 プリンタの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面でプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



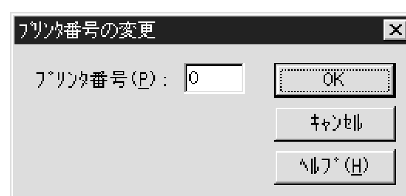
② **[割り当て]** をクリックし、**[追加]** ボタンをクリックします。



③ プリンタオブジェクトの一覧が表示されるので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し **[OK]** ボタンをクリックします。

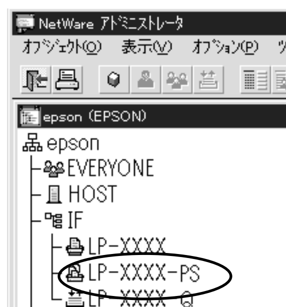


④ ②の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、**[プリンタ番号]** ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～254の範囲で設定し、**[OK]** ボタンをクリックします。

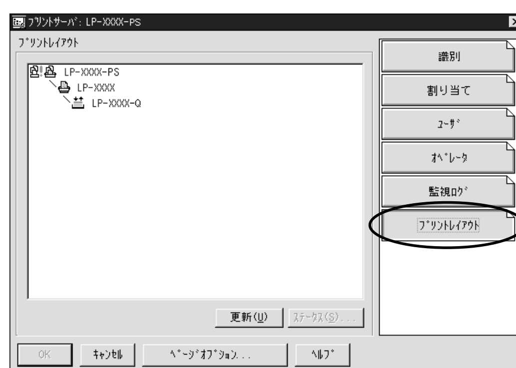


7 割り当てたオブジェクトの確認

① NetWareアドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② ［プリントレイアウト］ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。



詳しくはNetWareのマニュアルをご覧ください。
続いて、次ページへ進んでください。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。



- **ここでの設定と同様の設定が、EpsonNet WebAssist からも行えます。下記ページを参照してください。**
- **設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。次のクライアントは使用しないでください。**
  Novell Client for Windows95/98 Version3.00
  Novell Client for WindowsNT Version4.50

「EpsonNet WebAssist」131 ページ

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR または ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。

2 プリントサーバのロード

プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

> LOAD_PSERVER_PCONSOLEまたはNWADMINで設定したプリントサーバ名（_ は半角スペース）

3 EpsonNet WinAssist の起動

① ［スタート］メニューのプログラム［EpsonNet WinAssist］をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して **［設定開始］** ボタンをクリックします。




ポイント

- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  「探索オプション」120 ページ



NetWare 設定画面の表示

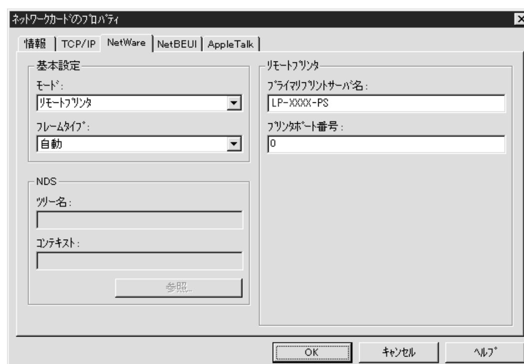
[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。


ポイント

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しない時は、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

5 基本設定とリモートプリンタ設定

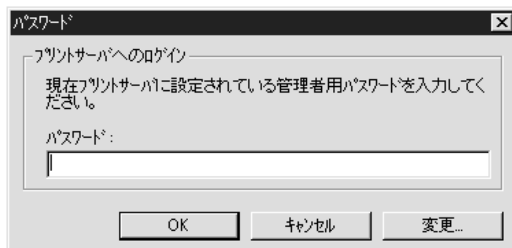
画面の右半分は、[モード] で [リモートプリンタ] を選択すると表示されます。



設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動のみ選択できます。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	PCONSOLE または NWADMIN で作成したプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	PCONSOLE または NWADMIN で設定した、リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

6 設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。




ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ

② その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

NDPS ゲートウェイ印刷（NetWare5J）

NetWare5J には、NDPS が標準装備されています。Novell Distributed Print Services(NDPS) は、Novell の従来のキューベースプリントサービスに代わる、新しい印刷アーキテクチャです。
同梱の LP-8500C プリンタソフトウェア CD-ROM には、LP-8500C を NDPS 上で使うことができるようにするゲートウェイソフトウェア（EpsonNet NDPS Gateway）が収録されています。EpsonNet NDPS Gateway の機能説明やインストールの方法は、CDー ROM 内にある HTML または、PDF オンラインガイドをご覧ください。以下の方法でオンラインガイドを見ることができます。¥NETUTIL¥ENGW¥README.TXT もあわせてお読みください。

オンラインガイドの起動方法

1 インストール画面の起動

同梱の LP-8500C プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。


ポイント

CD-ROM をセットすると、自動的に起動するメニューにはEpsonNet NDPS Gateway関連のメニューはありません。

2 インストール

① ［マイコンピュータ］をダブルクリックします。CD-ROM をセットしたドライブを選択して、右クリックしてエクスプローラーをクリックします。

② HTML は、¥NETUTIL¥ENGW¥index.htm、PDF は DOC21JB.PDF をダブルクリックします。

③ HTML は通常使うインターネットブラウザが、PDF は AcrobatReader が起動して、オンラインガイドが起動します。

ネットワーク I/F への設定（[リモート（IPX 上で rprinter）] 選択時）

リモート（IPX 上で rprinter）の場合は、オンラインマニュアルに沿って設定する際、EpsonNet WinAssist からネットワーク I/F を設定する必要があります。


ポイント

- **次の操作は、[リモート（IPX 上で rprinter）] をお使いの場合のみ設定してください。[リモート（IP 上で LPR）]、[ジョブをキューに転送] をお使いの場合は設定不要です。**
- **設定を行うコンピュータに、Client32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしておいてください。**

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して **[設定開始]** ボタンをクリックします。




ポイント

- **設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。**
  ☞ 「ネットワークステータスシートについて」17 ページ
- **ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPXグループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション] で設定すると、表示されます。**
  ☞ 「探索オプション」120 ページ

3 NetWare 設定画面の表示

[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。


ポイント

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とリモートプリンタ設定

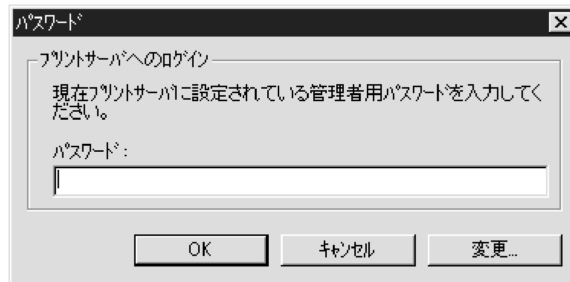
画面の右半分は、[モード] で [リモートプリンタ] を選択すると表示されます。

ネットワークカードのプロパティ
情報 | TCP/IP | NetWare | NetBEUI | AppleTalk
基本設定
モード：
リモートプリンタ
フレームタイプ：
自動
NDS
ツリー名：
コンテキスト：
参照...
リモートプリンタ
プライマリプリントサーバ名：
PA1
プリンタポート番号：
0
OK キャンセル ヘルプ

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動のみ選択できます。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	NetWare で設定した SAP 名と同じ名前を、半角英数 47 文字以内で入力します
プリンタポート番号	NetWare で設定したプリンタ番号と同じ番号を、0 ～ 254 の数字で設定します。

5 設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。




ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。
「パスワードについて」121 ページ

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

プリンタ設定（クライアント）

クライアントはプリンタのマニュアルを参照してプリンタドライバをインストールした後、印刷先にプリンタエージェントを指定します。



Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。

① プリンタのマニュアルを参照して、EPSON プリンタドライバをインストールします。

② ［プリンタの追加］で印刷先を設定します。次のオブジェクトを出力先に設定してください。

・ **パブリックアクセスプリンタの場合**
［Ndps パブリックアクセスプリンター］というネットワークグループの下に作成した NDPS プリンタエージェント



・ **コントロールアクセスプリンタの場合**
NDS ツリー内に作成した NDPS プリンタエージェント





ステータスの表示、通知機能については、NetWare のマニュアルを参照してください。

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。


ポイント

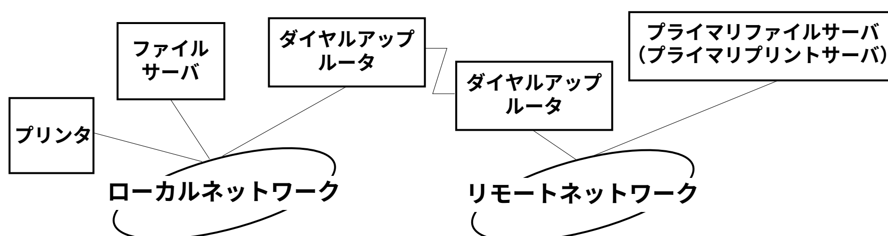
本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

プリントサーバモードでは、必ず専用線接続で使います。
プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

リモートプリンタモードでは、代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をお勧めします。
ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合



1. **電源投入時**

   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。

   このダイヤルアップは電源投入時の1回のみで、問題はありません。

2. **ネットワークI/Fが正しく設定されていない場合**

   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約5分間隔で発生します。

   ネットワークI/Fが正しく設定されていないことが原因です。本章にある設定を正しく行うと、この現象は発生しません。

3. **正常動作中（待機）**

   NetWareのプロトコル規約により、SPX Watchdogパケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。

4. **正常動作中（印刷）**

   印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。

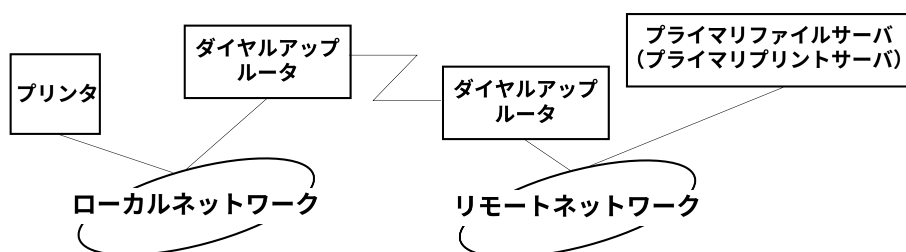
5. **動作中にプライマリサーバがダウンした場合**

   定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一度、プリンタの電源をOFFにしてください。

6. **ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合**

   ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークでNetWareと本ネットワークI/FのNetWareプロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本ネットワークI/Fも自動復帰します。

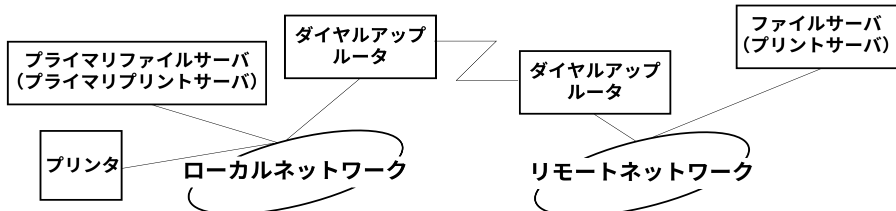
ローカルネットワークにファイルサーバがない場合



ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくても NetWare プロトコルが使えます。
この場合の注意は、前ページ「ローカルネットワークにファイルサーバがある場合」の 1 から 5と同様です。前ページをご覧ください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

本プリンタを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。



1. **電源投入時**
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
2. **本ネットワーク I/F が正しく設定されていない場合**
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ / プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。この章にある設定を正しく行えば、この問題は発生しません。
3. **正常動作中（待機）**
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
4. **正常動作中（印刷）**
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
5. **動作中にプライマリサーバがダウンした場合**
   定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータが SAP パケット (Find Nearest Server) を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一度、本プリンタの電源を OFF にするか、ルータで SAP パケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

第 9 章

OS/2 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを OS/2 Warp3、4(OS/2Warp Connect、OS/2Warp Server を含む) で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次の通りです。

- OS/2 Warp 3、4
- Warp 付属の lprportd (TCP/IP)
- プリンタ共有 (NetBEUI)

TCP/IP 印刷

ここでは、OS/2Warp に標準でサポートされる lprportd を使用して、TCP/IP 印刷をする方法を説明します。

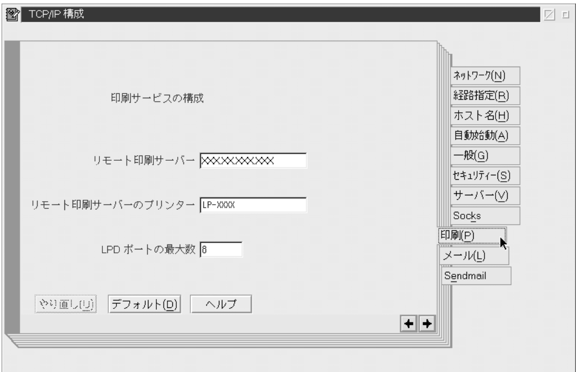
1 [TCP/IP の構成] 起動

[OS/2 システム] フォルダを起動し、[システム設定] フォルダから [TCP/IP の構成] アイコンを起動します。



2 [印刷] 画面での設定

[印刷] タブをクリックして、次のように設定します。



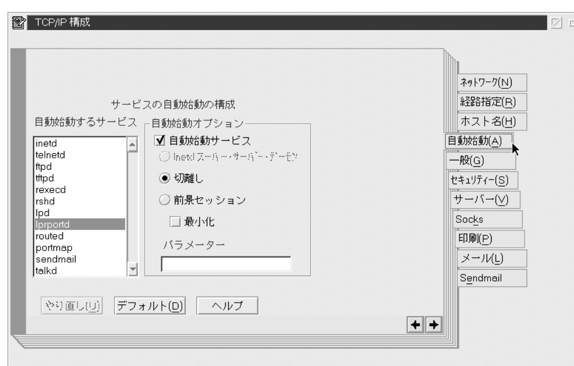
設定項目	設定内容
リモート印刷サーバー	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。
リモート印刷サーバーのプリンター	プリンタ名を入力します。
LPD ポートの最大数	1 以上の値を入力します。

ポイント

ここでプリンタの設定をしても印刷が行えない場合は、[ホスト名] タブをクリックして [ホスト名] 画面での設定をしてください。

3 [自動始動] 画面での設定

[自動始動] タブをクリックして、次のように設定します。



設定項目	設定内容
自動始動するサービス	[lprportd] を選択します。
自動始動オプション	[自動始動サービス] にチェックを付け、[切離し] を選択します。

4 TCP/IP 構成終了

[TCP/IP 構成] を保存して終了し、コンピュータを再起動します。

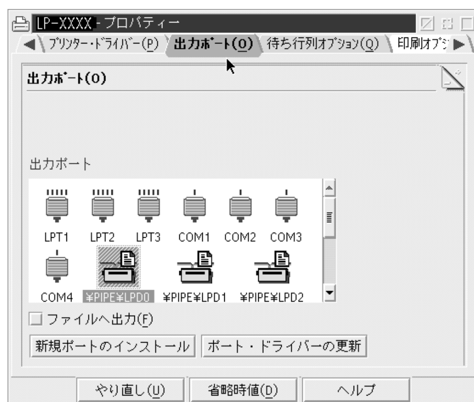
5 プリンタの作成

[OS/2 システム] フォルダの [テンプレート] から、[プリンタ] をデスクトップにドラッグして、プリンタを作成します。

6 ポートの設定

① プリンタアイコンをダブルクリックして、メニューの［プロパティー］画面にある、［出力ポート］タブをクリックします。

② ［出力ポート］欄で［¥¥PIPE¥LPD0］～［¥¥PIPE¥LPDn］（n は LPD ポートの最大数）のどれかを選択し、ダブルクリックします。



③ ［¥PIPE¥LPD ー設定］画面が表示されます。
［LPD サーバ］欄にネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。［LPDプリンター］欄に手順2 で登録したプリンタ名を入力します。



④ プリンタ設定を終了し、プリンタアイコンを閉じます。これで設定は終了です。

NetBEUI 印刷

プリンタの設定を行います。

1 OS/2 NETBIOS の確認

設定するコンピュータに、[IBM OS/2 NETBIOS] が組み込まれていることを確認します。詳しくは OS/2 のマニュアルを参照してください。

2 プリンタ作成

① プリンタを作成します。

② 目的のプリンタをダブルクリックして、[プロパティー] 画面にある [出力ポート] タブをクリックします。

③ 出力ポートを選択します。

3 net use コマンド実行

DOS プロンプトから次のコマンドを実行して、プリンタに接続します。

書式）net_use_出力ポート:_¥¥ネットワーク I/F の NetBIOS 名
¥ネットワーク I/F のデバイス名（_は半角スペース）

例）　LPT1 に設定したプリンタと接続する場合
>net_use_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON



ネットワーク I/F の NetBIOS 名とネットワーク I/F のデバイス名は、ネットワークステータスシートで確認できます。NetBIOS 名とデバイス名を変更する場合は、Windows95/98/NT/2000 から EpsonNet WinAssist/WebAssist を使って設定してください。

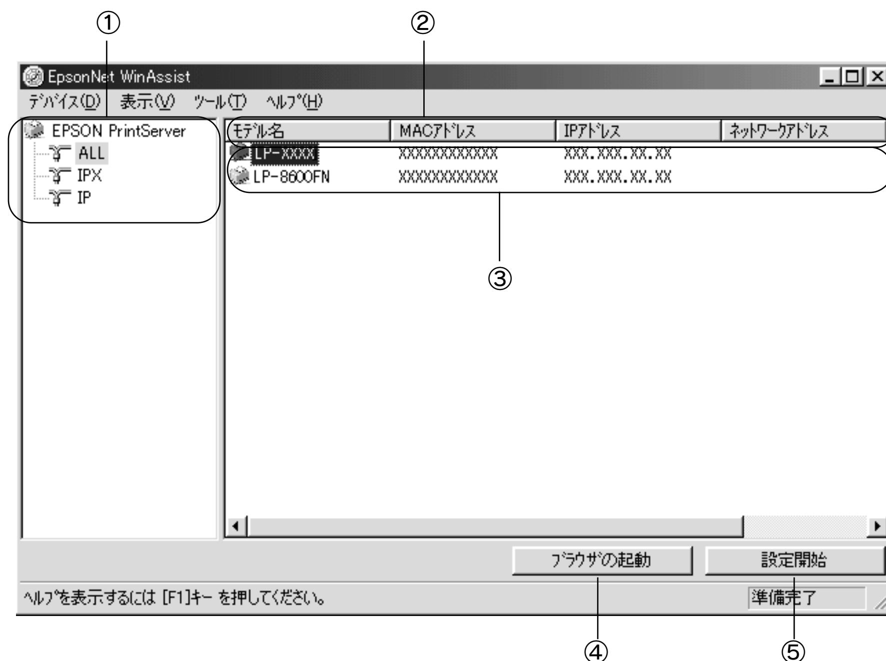
第 10 章

設定ユーティリティの各機能

この章では、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistのオプション機能を含む各機能の概要を説明します。

リスト画面とメニュー

リスト画面



項目	説明
①ツリービュー	クリックすると、ツリーごとにネットワーク I/F 情報を表示します。 IPX 欄には、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしていないと、表示されません。
②項目名	各項目をクリックすると、クリックした項目を元に並べ替えができます。また、項目名ボタンの境界をドラッグすると、各項目の表示領域サイズを調整できます。
③リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
④ **[ブラウザの起動]**	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。
⑤ **[設定開始]**	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

メニューバー

ツールメニューの詳細は、次項で説明しています。

項目	説明
デバイス	
設定	選択したネットワーク I/F の設定を開始します。
ブラウザの起動	EpsonNet WebAssist を起動します。
アプリケーションの終了	EpsonNet WinAssist を終了します。
表示	
最新の情報に更新	プリンタの再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。
ツール	
タイムアウト設定	ネットワーク I/F とデータを送受信する際のタイムアウト時間を、2 ～ 120 秒の間で設定します。 設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。
探索オプション	IP: IP の探索オプションを設定します。
	IPX: IPX の探索オプションを設定します。
ヘルプ	
トピックの検索	ヘルプを表示します。
レビジョン情報	レビジョン情報と著作権情報を表示します。

ツール

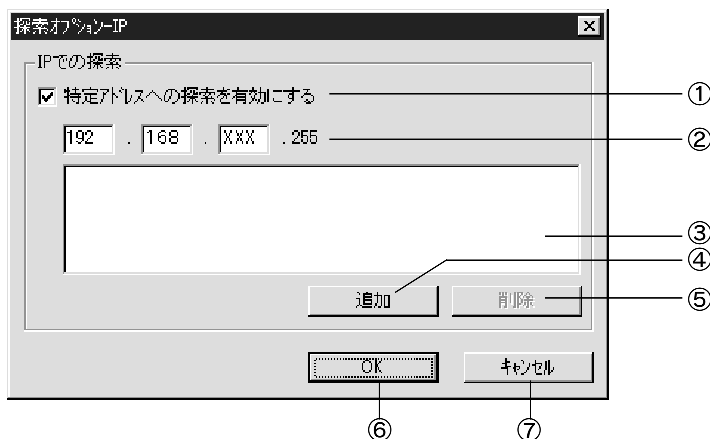
ツール - タイムアウト設定

［ タイムアウト設定 ］では、ネットワーク I/F とデータを送受信する際に、通信エラーとするまでのタイムアウト時間を設定します。
2 ～ 120 秒の間で設定します。ここで設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。初期値は 6 秒です。



ツール - 探索オプション -IP

ネットワーク I/F を TCP/IP で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときには、ここで特定のアドレスを設定すると、設定したセグメントにあるネットワーク I/F が検索されます。
ここで設定して、保存した値は、[表示] メニューの [最新の情報に更新] を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。



項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	ルータを越えたところにあるネットワーク I/F を探索する場合にチェックします。
② IP アドレス	探索する IP アドレスを入力します。(0 〜 255) ネットワーククラス * により、次のように入力してください。 クラス A:[入力].[255].[255].[255] クラス B:[入力].[入力].[255].[255] クラス C:[入力].[入力].[入力].[255]
③ IP アドレス一覧	登録済みの IP アドレスを表示します。
④ **[追加]**	②で IP アドレスを入力したらクリックして追加します。最大 20 個登録できます。 ローカルアドレスの追加は行わないでください。
⑤ **[削除]**	使わないアドレスを③で選択してクリックし、削除します。
⑥ **[OK]**	設定を保存します。
⑦ **[キャンセル]**	設定を取り消します。


ポイント

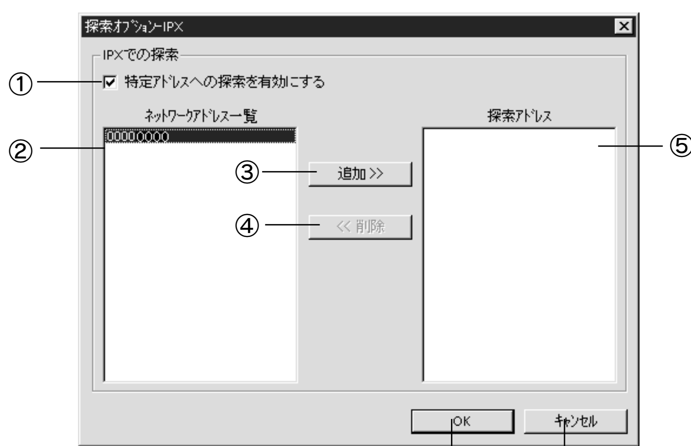
*** クラスについて**
IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられます。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされています。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決められます。ネットワーク管理者にお聞きください。

ツール - 探索オプション -IPX

ネットワーク I/F を IPX（NetWare）で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示､設定したいときには､ここでネットワーク I/F のネットワークアドレスを設定します。
ここで設定して、保存した値は、[表示] メニューの [最新の情報に更新] を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。


ポイント

- **IPX の探索は、NetWare サーバに管理者の権限でログインしている場合に、行うことができます。**
- **ネットワークアドレスは、ネットワークステータスシートの [NetWare] 欄にある [Network Address] をご覧ください。**
- **ダイヤルアップネットワークをお使いの場合、探索しないアドレスを探索アドレスに登録したままにしておくと、余分な課金が発生するおそれがありますので、ご注意ください。**



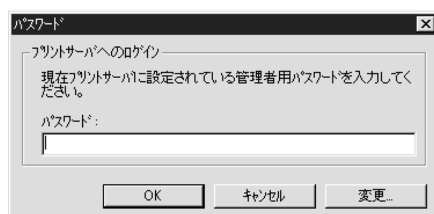
項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	特定のアドレスを検索する場合にチェックします。
②ネットワークアドレス一覧	現在のネットワークアドレスを表示します。
③ [追加]	ネットワークアドレス一覧でアドレスを選択してクリックすると追加されます（最大 256 個登録可能）。
④ [削除]	探索アドレスから使わなくなったアドレスを選択してクリックすると削除されます。
⑤ 探索アドレス	探索するネットワークアドレスを表示します。
⑥ [OK]	設定を保存します。
⑦ [キャンセル]	設定を取り消します。

設定画面

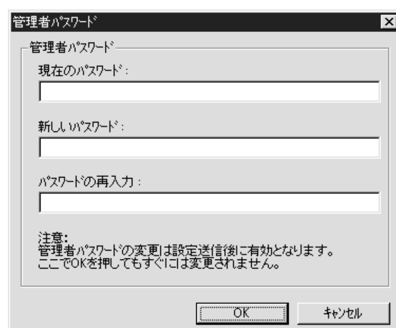
パスワードについて

EpsonNet WinAssist では、ネットワーク I/F の設定を保護するためのパスワードを設定できます。各設定画面で [OK] をクリックしたり、情報画面で **[工場出荷時の状態に戻す]** をクリックすると、次の画面が表示されます。

① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、**[変更]** ボタンをクリックします。
工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。



② **[変更]** ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、[OK] をクリックします。大文字小文字は区別されます。

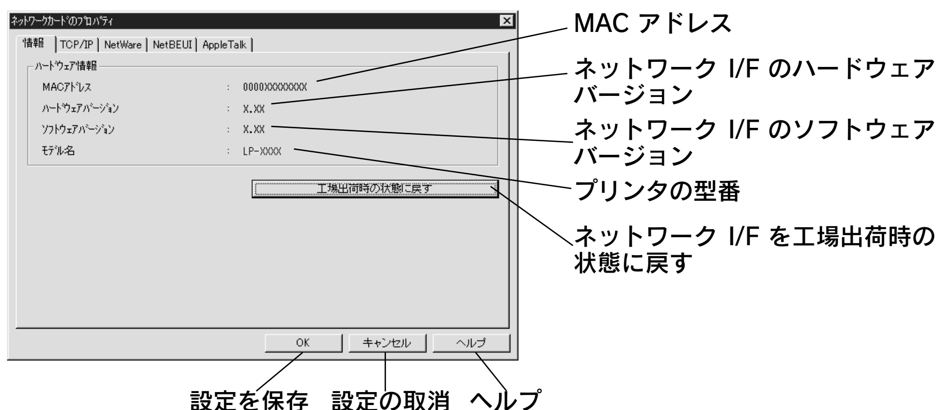




- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①の [パスワード] 画面で [OK] ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者パスワード] 画面で設定した直後は、[パスワード] 画面で [現在のパスワード] を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。**
  「ネットワーク I/F の初期化」209 ページ

情報

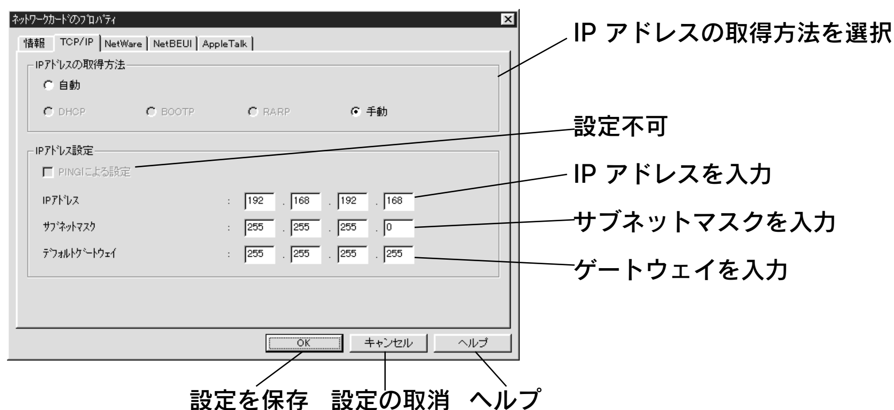
この画面には、ネットワーク I/F の設定状態が表示されます。



TCP/IP

ネットワーク I/F の TCP/IP 情報を設定します。

「第 4 章　TCP/IP の設定」26 ページ



NetWare- プリントサーバ

NetWare をプリントサーバで使う場合、この画面で設定します。
画面は、バインダリプリントサーバモードの場合です。

「第 8 章　NetWare 印刷」72 ページ

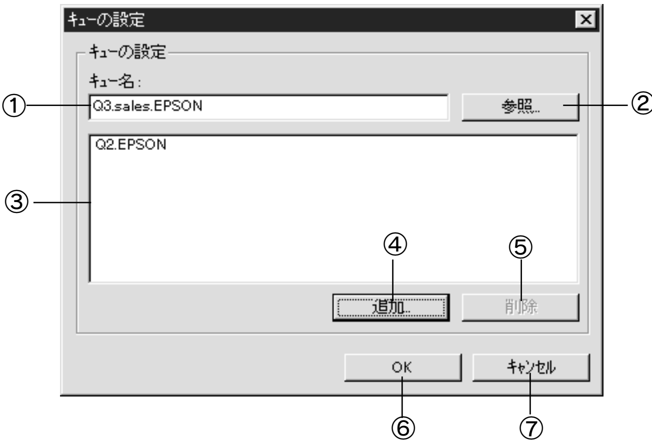


項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。（待機、プリントサーバ /NDS、プリントサーバ / バインダリ、リモートプリンタ）
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。[自動] のみ選択できます。
② NDS	
ツリー名	NDS ツリー名を設定します。
コンテキスト	NDS コンテキストを設定します。
[参照]	NDS コンテキストを選択できます。
③プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするサーバを選択します。 NDS モードの場合は設定不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択または入力します。
プリントサーバ パスワード	プリントサーバへログインするためのパスワードを入力します。
プリントサーバ パスワードの再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
ポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。
[プリントキュー設定]	キューの設定をします。
④ **[OK]**	設定を保存します。
⑤ **[キャンセル]**	設定を取り消します。
⑥ **[ヘルプ]**	ヘルプを表示します。

NetWare- プリントサーバ - キューの設定

プリントサーバ設定で［プリントキュー設定］ボタンをクリックした場合、この画面で設定します。

「第 8 章　NetWare 印刷」72 ページ

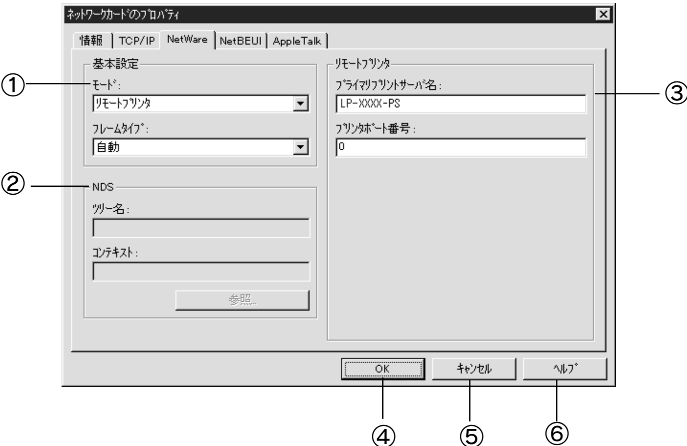


項目	説明
①キュー名	割り当てるキューを表示します。
②［参照］	キューの選択、作成、削除をします。
③キュー一覧	キューの一覧を表示します。
④［追加］	割り当てるキューを追加します。
⑤［削除］	キューの割り当てを解除します。
⑥［OK］	設定を保存します。
⑦［キャンセル］	設定を取り消します。

NetWare- リモートプリンタ

NetWare をリモートプリンタで使う場合、この画面で設定します。

「第 8 章　NetWare 印刷」72 ページ

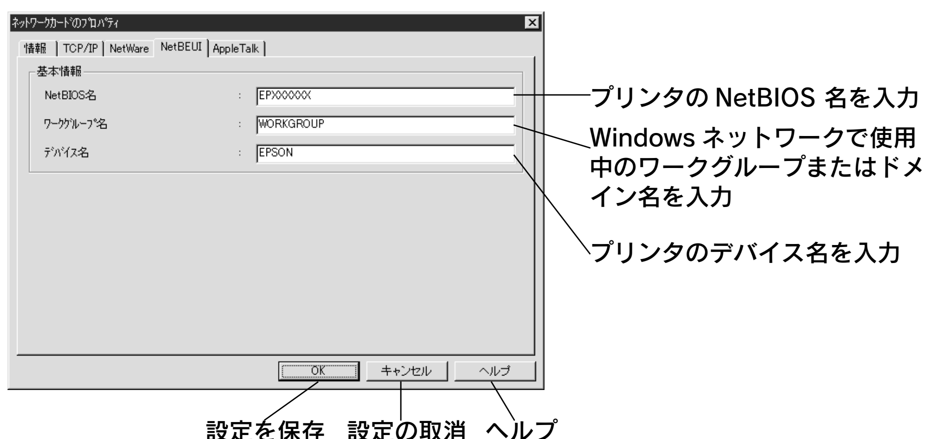


項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。[自動] のみ選択できます。
② NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
③リモートプリンタ	
プライマリ プリントサーバ名	プライマリプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を入力します。
④ [OK]	設定を保存します。
⑤ [キャンセル]	設定を取り消します。
⑥ [ヘルプ]	ヘルプを表示します。

NetBEUI

NetBEUI を設定します。
ネットワーク I/F に IP アドレスが設定されているか、設定するコンピュータから NetWare サーバ /NDS コンテキストに管理者権限でログインしている場合に設定が行えます。

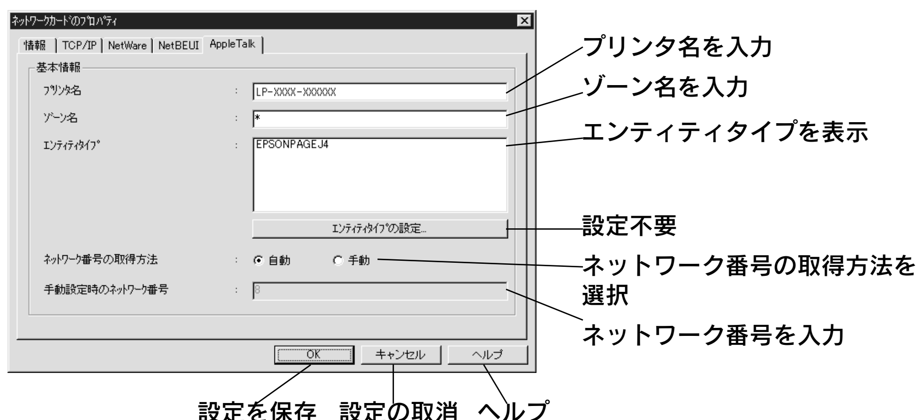
「第 5 章　Windows95/98 印刷」44 ページ
「第 6 章　WindowsNT/2000 印刷」51 ページ



AppleTalk

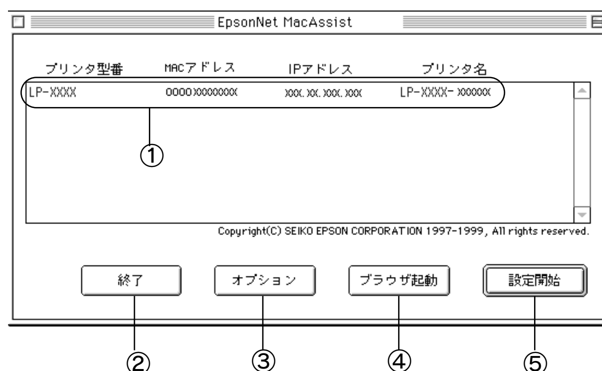
AppleTalk の設定をします。
ネットワーク I/F に IP アドレスが設定されているか、設定するコンピュータから NetWare サーバ /NDS コンテキストに管理者権限でログインしている場合に設定が行えます。

「第 7 章　AppleTalk 印刷」66 ページ



リスト画面とオプション

リスト画面



項目	説明
①リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
② **[終了]**	EpsonNet MacAssist を終了します。
③ **[オプション]**	2 つの機能があります。詳しくは次ページをご覧ください。
④ **[ブラウザ起動]**	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。ブラウザが起動すると EpsonNet MacAssist は終了します。
⑤ **[設定開始]**	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

オプション - タイムアウト時間

リスト画面で **[オプション]** ボタンをクリックすると表示されます。
EpsonNet MacAssist で 1 ゾーンあたりの通信に使用するタイムアウトのベース時間を、3 〜 99 秒の間で設定します。初期値は 5 です。
ここでの設定は、EpsonNet MacAssist を再起動したときに有効になります。

オプション
タイムアウト時間 : 5 sec
(3 〜 99 sec)
ゾーン選択
キャンセル OK

オプション - ゾーン選択

上のオプション画面で **[ゾーン選択]** ボタンをクリックすると表示されます。
お使いのコンピュータのゾーン外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときは、ここでゾーンを追加すると、そのゾーンについても検索されます。ここでの設定は、EpsonNet MacAssist を再起動したときに有効になります。

探索ゾーンの選択
ゾーン一覧
探索ゾーン
nw
追加 >>
<< 削除
キャンセル OK


ポイント

ゾーン名は最大 2000 まで表示されます。

検索したいゾーンを追加するときは、[ゾーン一覧] でゾーンを選択して **[追加]** ボタンをクリックします。検索が不要になったゾーンは、[探索ゾーン] で選択して **[削除]** ボタンをクリックします。**[OK]** をクリックして、設定を保存します。

設定画面

パスワードについて

EpsonNet MacAssist では、ネットワーク I/F の設定を保護するためのパスワードを設定できます。設定画面で **[送信]** をクリックしたり、**[工場出荷時状態に戻す]** をクリックすると、次の画面が表示されます。

① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、**[変更]** ボタンをクリックします。
工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。

現在のプリントサーバに設定されている管理者用パスワードを入力してください。
パスワード:
変更　キャンセル　OK

② **[変更]** ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、**[OK]** をクリックします。大文字小文字は区別されます。

管理者用パスワード
現在のパスワード:
新しいパスワード:
新しいパスワードの再入力:
注意:
管理者パスワードの変更は送信設定後に有効となります。
ここでOKを押してもすぐには変更されません。
キャンセル　OK


ポイント

- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①の [パスワード] 画面で [OK] ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者用パスワード] 画面で設定した直後は、パスワード入力画面で [現在のパスワード] を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。**
☞「ネットワーク I/F の初期化」209 ページ

設定画面

IP アドレスの設定と AppleTalk の設定を行います。

「第 4 章 TCP/IP の設定」26 ページ
「第 7 章 AppleTalk 印刷」66 ページ

項目	説明
① IP アドレスの設定	
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。
② AppleTalk の設定	
プリンタ名	プリンタ名を入力します。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
ゾーン名	AppleTalk のゾーンを選択します。初期状態では、アスタリスク（*）が表示されます。
ネットワーク番号の取得方法	AppleTalk のネットワーク番号の設定方法を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	ネットワーク番号を入力します。
③ [**工場出荷時状態に戻す**]	ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻します。
④ [**キャンセル**]	設定を取り消します。
⑤ [**送信**]	設定を更新します。

EpsonNet WebAssist

ネットワーク I/F の設定には、EpsonNet WinAssist/MacAssist のほかに、Web ブラウザを使ったユーティリティ、EpsonNet WebAssist を使うことができます。

起動


ポイント

- **お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください。**
  「動作環境」21 ページ
- **コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。**
- **お使いの Web ブラウザを、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスに対してプロキシを使用しない設定にしてください。**



プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。



EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist/MacAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

- EpsonNet WinAssist/MacAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して［**ブラウザの起動**］ボタンをクリックします。
- ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。
  このとき、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist は起動しないでください。
  書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /
  例）　http://192.168.100.201/

オープニング画面

EpsonNet WebAssist を起動した時の画面について、説明します。

インデックス

[Home]　[Help]　[レビジョン情報]　[EPSONへ]　[Favorite]

設定項目	設定内容
Home	オープニング画面を表示します。
Help	HELP を表示します。
レビジョン情報	レビジョン情報を表示します。
EPSON へ	ホームページ「I Love EPSON」を表示します。
Favorite	[管理者情報] で設定されたリンク先を表示します。

メニュー

情報
プリンタ
デバイス情報
消耗品
給紙
印刷
プリンタモード
インターフェイス
ネットワーク
基本情報
NetWare
TCP/IP
AppleTalk
NetBEUI
IPP
SNMP

設定
プリンタ
給紙
印刷
プリンタモード
インターフェイス
ネットワーク
NetWare
TCP/IP
AppleTalk
NetBEUI
IPP
SNMP

オプション
管理者情報
リセット
パスワード

EPSON

情報－プリンタ	
デバイス情報	プリンタの情報を表示します。
消耗品	消耗品の状態を表示します。
給紙	プリンタの給紙状態を表示します。
印刷	共通環境、印刷書式、デバイス環境、時計設定を表示します。
プリンタモード	プリンタが動作するモードを表示します。
インターフェイス	インターフェイスの情報を表示します。

情報 - ネットワーク	
基本情報	ネットワーク I/F の情報とプリンタの状態を表示します。
NetWare	NetWare の情報を表示します。
TCP/IP	TCP/IP の状態を表示します。
AppleTalk	AppleTalk の情報を表示します。
IPP	IPP の情報を表示します。
NetBEUI	NetBEUI の情報を表示します。
SNMP	SNMP の情報を表示します。

設定－プリンタ	
給紙	給紙装置を設定します。
印刷	共通環境、印刷書式、デバイス環境、時計を設定します。
プリンタモード	プリンタが動作するモードを設定します。
インターフェイス	インターフェイス環境を設定します。

設定 - ネットワーク	
NetWare	NetWare を設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
IPP	IPP の情報を設定します。
NetBEUI	NetBEUI を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。

設定 - オプション	
管理者情報	管理者名と、このページからリンクする任意の URL を設定します。
リセット	ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定をします。
パスワード	ネットワークの設定を保護するために、パスワードを設定します。

EPSON	ホームページ「I love EPSON」へ

インターフェイスカード情報

インターフェイスカード情報では、ネットワーク I/F の情報と、プリンタの状態を表示します。
インターフェイスカード情報は、メニューの [情報]-[ネットワーク]-[基本情報] からも確認できます。



- **MAC アドレスは、ネットワークステータスシートでも確認できます。**
- **プリンタステータスは自動的には更新されません。現在のステータスを知りたいときは、[ステータス更新] ボタンをクリックして最新の情報に更新してください。**

インターフェイスカード情報

管理者名	
インターフェイスカード型番	Built-in
MACアドレス	00:00:XX:XX:XX:XX
ハードウェアバージョン	Ver.x.xx
ソフトウェアバージョン	Ver.x.xx
モデル名	LP-XXXX
	印刷可能または印刷中

ステータス更新

各項目の意味については、次ページを参照してください。

項目	内容
管理者名	ネットワーク I/F の管理者名を表示します。
インターフェイスカード型番	ネットワーク I/F の型番を表示します。
MAC アドレス	ネットワーク I/F の MAC アドレスを表示します。
ハードウェアバージョン	ネットワーク I/F のハードウェアバージョンを表示します。
ソフトウェアバージョン	ネットワーク I/F のソフトウェアバージョンを表示します。
モデル名	プリンタモデル名を表示します。
信号	プリンタの状態を表示します。 緑　印刷可能または印刷中 黄　・紙残量少 　　・トナー / インク残量少 　　・警告 赤　・紙詰まり 　　・紙なし 　　・トナー / インクなし 　　・カバーオープン 　　・オフライン 　　・エラー
[ステータス更新]	クリックすると、プリンタの最新情報を表示します。

情報 - プリンタ

プリンタ情報の画面について説明します。画面を起動する際、セキュリティ警告が表示されます。

デバイス情報

デバイスの情報を表示します。プリンタの状態、リモートコントロールパネル機能、エラー情報、デバイスの情報を表示します。

ｲﾝｻﾂｶﾉｳ

エラー情報

印刷可　排紙　エラー解除　リセット　ウォームアップ

デバイス情報	
モデル名	EPSON LP-XXXX
IPホスト名	EPXXXXXX
IPアドレス	XXX.XXX.XX.XX
MACアドレス	00:00:XX.XX.XX.XX
メモリ容量	
HDD容量	XGB
日付	200X 年 XX月 XX日
時刻	XX時 XX分 XX秒
時差	XX時間 XX分

項目	内容
画面上部	
信号	プリンタの状態を表示します。 緑　印刷可能または印刷中 黄　・紙残量少　・トナー残量少　・警告 赤　・紙詰まり　・紙なし　・カバーオープン 　　・オフライン　・エラー
リモートコントロールパネル機能	ボタンをクリックすると、印刷可、排紙、エラー解除、リセットなどの操作ができます。また、LED でプリントジョブの状態を表示します。
プリンタイメージ	プリンタイメージを表示します。
エラー情報	エラー情報を表示します。
デバイス情報	
モデル名	プリンタのモデル名を表示します。
IP ホスト名	プリンタのホスト名を表示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	プリンタの MAC アドレスを表示します。
メモリ容量	プリンタのメモリ容量を表示します。
HDD 容量	プリンタにオプションのハードディスクが装着されている場合、その容量を表示します。
日付	現在の日付を表示します。
時刻	現在の時刻を表示します。
時差	標準時からの時差を表示します。

消耗品

プリンタに搭載された、トナーなどの消耗品の状態を表示します。

消耗品情報	
のべ印刷枚数	xxx
カラー印刷枚数	xxx
モノクロ印刷枚数	xxx
Cトナー残量	
Mトナー残量	
Yトナー残量	
Kトナー残量	
感光体ユニット使用量	
排トナーボックス使用量	

項目	内容
のべ印刷枚数	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数を表示します。
カラー印刷枚数	カラー印刷の、のべ印刷枚数を表示します。
モノクロ印刷枚数	モノクロ印刷の、のべ印刷枚数を表示します。
C トナー残量	C(シアン) トナーカートリッジの残量を表示します。
M トナー残量	M(マゼンダ) トナーカートリッジの残量を表示します。
Y トナー残量	Y(イエロー) トナーカートリッジの残量を表示します。
K トナー残量	K(ブラック) トナーカートリッジの残量を表示します。
感光体ユニット使用量	感光体ユニットの使用量を表示します。
排トナーボックス使用量	排紙トナーボックスの使用量を表示します。

給紙、印刷、プリンタモード、インターフェイス

これらの項目の詳細については、以下のページを参照してください。

「設定 - プリンタ」139 ページ

情報 - ネットワーク

「基本情報」以外は、「設定 - ネットワーク」151 ページと同様です。
基本情報については、下記のページを参照してください。

「オープニング画面」132 ページ

設定 - プリンタ

プリンタの設定画面について説明します。

給紙

各給紙装置の用紙サイズと用紙タイプを設定します。

給紙情報

トレイ用紙サイズ	A4
カセット 1 用紙サイズ	
カセット 2 用紙サイズ	
カセット 3 用紙サイズ	
トレイ用紙タイプ	普通紙
カセット 1 用紙タイプ	普通紙
カセット 2 用紙タイプ	
カセット 3 用紙タイプ	

設定　再読み込み

設定項目	設定内容
トレイ用紙サイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定します。
カセット 1 用紙サイズ	カセット 1 の用紙サイズが表示されます。
カセット 2/3 用紙サイズ	オプションの用紙カセット 2/3 の用紙サイズが表示されます。
トレイ用紙タイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、用紙トレイにセットする用紙の種類に合わせて指定します。
カセット 1 用紙タイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、用紙カセット 1 にセットする用紙の種類に合わせて指定します。
カセット 2/3 用紙タイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、オプションの大容量給紙ユニットの用紙カセット 2/3 にセットする用紙の種類に合わせて指定します。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

印刷

プリンタの共通環境、印刷書式、デバイス環境を設定します。時計設定では、プリンタで持つ時計を設定します。

- **共通環境**

印刷

メニュー選択　共通環境

共通環境

I/Fタイムアウト　60

節電　60分

表示言語　日本語

パネルロック　しない

設定　再読み込み

設定項目	設定内容
メニュー選択	共通環境を選択します。
共通環境	
I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
節電	頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間が経過すると節電状態になります。 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。
表示言語	表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
パネルロック	プリンタの操作パネルのロックを設定します。[する] を選択すると、操作パネルからの設定変更が無効になります。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

・印刷書式

印刷	
メニュー選択	印刷書式

印刷書式	
給紙	Auto
用紙サイズ	Auto
用紙方向	縦
排紙	Face-down Tray
コピー枚数	1
縮小	OFF
解像度	きれい
イメージ補正	1
白紙節約	する
自動排紙	する
両面印刷	OFF
綴じ方向	ロングエッジ

設定　再読み込み



[給紙] と [排紙] では、表示される名前が次のように、パネル表示とは異なります。
トレイ→ MP TRAY
FD → Top Output Bin
カセット 1 〜 5 → LC1 〜 5

設定項目	設定内容
メニュー選択	印刷環境を選択します。
印刷書式	
給紙	給紙方法を選択します。
用紙サイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
用紙方向	用紙方向を選択します。[縦] のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。[横] のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
排紙	印刷した用紙を、フェイスダウントレイに排紙するか、フェイスアップトレイに排紙するかを設定します。
コピー枚数	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷した後、次のページのデータを印刷します。
縮小	印刷データを約 80% に縮小して印刷します。
解像度	印刷の解像度を選択します。
イメージ補正	イメージデータ補正方式を選択します。
白紙節約	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH 等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
自動排紙	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らないものがあります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/F タイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
両面印刷	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合、両面印刷をするかしないかを設定します。
綴じ方向	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合、両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。 両面印刷が ON に設定されている時に、選択できます。 とじしろは、[デバイス環境] の各オフセットで設定します。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

・デバイス環境

印刷

メニュー選択	デバイス環境

デバイス環境

RIT	ON
トナーセーブ	しない
上オフセット	30.0
左オフセット	0.0
上オフセット B	0.0
左オフセット B	0.0
紙種	普通
用紙サイズフリー	OFF
自動エラー解除	しない
ページエラー回避	OFF

設定　再読み込み

設定項目	設定内容
メニュー選択	デバイス環境を選択します。
デバイス環境	
RIT	線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能の ON/OFF を選択します。
トナーセーブ	トナーの消費量を削減します。トナーセーブを行うと、文字の輪郭内の黒ベタ領域をハーフトーンにし、輪郭部分（右、下）にエッジを付加します。
上オフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を、-30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
左オフセット	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
上オフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に、用紙裏面の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。

設定項目	設定内容
左オフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に、用紙裏面の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
紙種	紙の種類を選択します。
用紙サイズフリー	「ヨウシコウカン xxxxx yyyy」のエラーを表示するかしないかを設定します。エラーについては、ユーザーズガイド「困ったときは」を参照してください。
自動エラー解除	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
ページエラー回避	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追いつかないため、ページエラーと表示される可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用では OFF に設定し、ページエラーが発生するときだけ ON に設定します。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

・時計

印刷

メニュー選択　時計

時計

日付　2000 年　2 月　1 日

時刻　0 時　0 分

時差　----------

1 時　0 分

設定　再読み込み

設定項目	設定内容
メニュー選択	時計設定を選択します。
時計	
日付	プリンタがもつ時計の日付を設定します。
時刻	プリンタがもつ時計の時刻を設定します。
時差	標準時からの時差を表示します。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

プリンタモード

各プリンタモードの、印刷動作環境を設定します。それぞれにあったプリンタモードを選択し、設定してください。設定できるプリンタモードは、機種により異なります。


ポイント

PS3 は、オプションの PS3 モジュールが装着されている場合にのみ表示されます。

・ESC/Page

プリンタモード環境	
プリンタモード選択	ESC/Page

ESC/Page環境	
復帰改行	する
改ページ	する
CR	CR
LF	CR+LF
FF	CR+FF
エラーコード	OFF
フォントタイプ	1
フォームオーバーレイ	
フォーム番号	

設定　再読み込み

設定項目	設定内容
ESC/Page	
復帰改行	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
改ページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
CR	CR（復帰）の動作を選択します。
LF	LF（改行）の動作を選択します。
FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
フォームオーバーレイ	フォームオーバーレイを実行する / しないを選択します。オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
フォーム番号	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着されている場合に表示されます（オプション装着時）。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

・ESC/PS

プリンタモード環境	
プリンタモード選択	ESC/PS

ESC/PS環境	
連続紙	OFF
文字コード	カタカナ
給紙位置	22mm
各国文字	日本
ゼロ	0
用紙位置	左
右マージン	用紙幅
漢字書体	明朝

設定　再読み込み

設定項目	設定内容
ESC/PS	
連続紙	· ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 · 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
文字コード	· ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 · 英数カナ文字コードを切り替えます。
給紙位置	· ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 · 用紙の印刷開始位置を選択します。
各国文字	· ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 · 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
ゼロ	· ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 · 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
用紙位置	· ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 · 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用したときには、「チュウオウ」を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
右マージン	· ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 · 右マージンを選択します。
漢字書体	· ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 · 漢字に使用する書体を選択します。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

インターフェイス

プリンタのインターフェイスを設定します。パラレルインターフェイス設定、ネットワークインターフェイス設定、オプションインターフェイス設定ができます。
IP アドレスなどの設定は、ネットワーク設定の画面から行ってください。

インターフェイス設定	
パラレルインターフェイス設定	
パラレル I/F	使う
ACK幅	標準
双方向指定	ニブル
受信バッファサイズ	標準
ネットワークインターフェイス設定	
ネットワーク I/F	使う
受信バッファサイズ	標準
設定	再読み込み

設定項目	設定内容
パラレルインターフェイス設定	
パラレル I/F	パラレルインターフェイスを設定します。
ACK 幅	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
双方向指定	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
受信バッファサイズ	受信バッファを設定します。
ネットワークインターフェイス設定	
ネットワーク I/F	ネットワークインターフェイスを設定します。
受信バッファサイズ	受信バッファを設定します。
[設定]	設定を保存します。
[再読み込み]	現在のプリンタの設定値を再度読み込んで表示します。

設定－ネットワーク

ネットワーク設定画面について説明します。

NetWare



- **EpsonNet WebAssist には、プリントサーバモードでの EpsonNet WinAssist のような、プリントサーバ / キュー / プリンタを新規に作成する機能はありません。EpsonNet WebAssist でオブジェクトを設定するときは、EpsonNet WinAssist や PCONSOLE、NWADMIN で作成済みのオブジェクト名を入力してください。**
- **[NetWare] ではすべての項目が入力可能ですが、お使いの NetWare の動作モードによって、設定の必要な項目が異なります。以下の説明をご覧になり、各動作モードで必要な項目のみ設定してください。**

NetWare 基本設定

NetWare

NetWare基本設定

NetWare	Enable
フレームタイプ	Auto
動作モード	NDS Print Server
NDSツリー名	EPSON
NDSコンテキスト	epson

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>NetWare</td><td colspan="2">[Enable] を選択します。
[Disable] は NetWare を使用しない場合や、ダイヤルアップルータで NetWare を [Enable] にしておくと不都合がある場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>フレームタイプ</td><td colspan="2">Auto が表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">動作モード</td><td colspan="2">お使いのモードにあわせて選択します。</td></tr>
<tr><th>お使いのモード</th><th>選択する項目</th></tr>
<tr><td>4.1xJ/5J NDS
プリントサーバ</td><td>NDS Print Server</td></tr>
<tr><td>3.xJ/4.1xJ バインダリプリントサーバ</td><td>Bindery Print Server</td></tr>
<tr><td>リモートプリンタ</td><td>Remote Printer</td></tr>
<tr><td>NetWare を使用しない</td><td>Standby</td></tr>
<tr><td>NDS ツリー名</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ、ツリー名を半角英数 31 文字以内で入力します。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
<tr><td>NDS コンテキスト</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ入力します。
NDS コンテキストを半角英数 255 文字以内で入力します。2 バイト文字は使えません。
先頭に「.」は付けないでください。
リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
</table>

プリントサーバ

[動作モード] で [NDS Print Server] または [Bindery Print Server] を選択した場合は、プリントサーバを設定します。

プリントサーバ

プライマリファイルサーバ名	HOST
プリントサーバ名	LP-XXXX-XXXXXX
ポーリング間隔(5-90)	5 sec
NetWareパスワード	

設定項目	設定内容
プライマリファイルサーバ名	[Bindery Print Server] の場合のみ入力します。 プリントサーバがログインするファイルサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。 初期値：プリンタ名 - ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を、5 ～ 90 秒以内で設定します。
NetWare パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で設定します。

リモートプリンタ

[動作モード] で [Remote Printer] を選択した場合は、リモートプリンタを設定します。

リモートプリンタ

プライマリプリントサーバ名	LP-XXXX-XXXXXX
プリンタポート番号(0-254)	0

送信

設定項目	設定内容
プライマリプリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリンタポート番号 (0 ～ 254)	リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

TCP/IP

このページは、EpsonNet WebAssist を使ってネットワーク I/F の TCP/IP 情報を変更する場合にのみご覧ください。

ポイント
IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

設定項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を、Manual/Auto から選択します。Auto を選択すると、DHCP が有効になります。この画面でアドレスを設定する場合は、Manual を選択してください。 Auto を使用するには DHCP サーバなどが必要です。DHCP サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。 「困ったときは」210 ページ ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は [255.255.255.0] です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。初期値は [255.255.255.255] です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

AppleTalk

AppleTalk

AppleTalk　Enable

プリンタ名　LP-XXXX-XXXXXX

エンティティタイプ　EPSONPAGECJ1

ゾーン名　*

ネットワーク番号設定　Auto

Manual設定時の ネットワーク番号(0-65534)　0 - 65534

送信

設定項目	設定内容
AppleTalk	[Enable] を選択します。
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値：プリンタ名 - ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
エンティティタイプ	エンティティタイプを表示します。
ゾーン名	[ネットワーク番号設定] で [Auto] を選択した場合、*を入力すると自動的に設定されます。
ネットワーク番号設定	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は [Auto] を選択します。
Manual 設定時のネットワーク番号 (0-65534)	上の欄で [Manual] を選択した場合に、0 から 65534 の値を入力します。

NetBEUI

NetBEUI

NetBEUI Enable

NetBIOS名 EPXXXXXX

ワークグループ名 WORKGROUP

デバイス名 EPSON

送信

設定項目	設定内容
NetBEUI	[Enable] を選択します。
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。

IPP

EpsonNet Internet Print からプリンタにアクセスするための、情報の表示および設定をします。プリンタを EpsonNet Internet Print で使用する場合は、まずこの画面で情報を設定してください。

「第 12 章　EpsonNet Internet Print」172 ページ

IPP

IPP URL http://xxx.xx.xxx.xx:631/EPSON_IPP_Printer

プリンタ名 EPSON_IPP_Printer

ロケーション

送信

設定項目	設定内容
IPP URL	EpsonNet Internet Print からアクセスするときの URL を表示します。 書式）http:// ネットワーク I/F の IP アドレス：631/ 下記の項目で設定したプリンタ名
プリンタ名	EpsonNet Internet Print を使うためのプリンタ名を入力します。 半角英数 127 文字以内で入力します。
ロケーション	プリンタの設置場所を、半角英数 64 文字以内で入力します。

SNMP

SNMP コミュニティやトラップ情報の設定ができます。IP トラップと IPX トラップは、それぞれ 2 つまで設定できます。

SNMP- コミュニティ

SNMP

コミュニティ

Read Only public

Read/Write

送信

設定項目	設定内容
コミュニティ	コミュニティ名を表示します。
Read Only	public と表示されます。
Read/Write	MIB Read/Write 権を持つコミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。

SNMP- IP トラップ

SNMP

IPトラップ – トラップ1

トラップ Disable

アドレス 0.0.0.0

コミュニティ名

設定項目	設定内容
トラップ	IP トラップの使用の許可／禁止を選択します。初期値は Disable です。
アドレス	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
コミュニティ名	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。

SNMP- IPX トラップ

SNMP

IPXトラップ – トラップ1

トラップ Disable

アドレス 00000000:000000000000

コミュニティ名

送信

設定項目	設定内容
トラップ	IPX トラップの使用の許可／禁止を選択します。初期値は Disable です。
アドレス	トラップ送信先の IPX アドレスを入力します。 書式）ネットワークアドレス：ノードアドレス（MAC アドレス）
コミュニティ名	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。

オプション

オプション設定画面について説明します。

管理者情報

ネットワーク I/F の管理者名を設定できます。また、よく使う任意の URL を設定すると、インデックスの [Favorite（名前は変更可能）] からリンクすることができます。パスワードを設定してある場合は、パスワードの入力が必要です。

設定項目	設定内容
管理者名	ネットワーク I/F の管理者名を、半角英数 128 文字以内または全角 64 文字以内で入力します。
お気に入り名	リンク名を半角英数 20 文字以内または全角 10 文字以内で入力します。
お気に入り URL	リンクしたい URL を半角英数 64 文字以内で入力します。ftp: へのリンクはできません。
説明	リンク先の説明を半角英数 64 文字または全角 32 文字以内で入力します。入力した内容は本画面でのみ表示します。

リセット

ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定をします。
終了のメッセージが表示されたら、更新は完了です。

インターフェイスカードの
リセットと工場出荷時設定

注意！

インターフェイスカードをリセットしようとしています
続けてもよろしいですか？

リセット

工場出荷時設定

設定項目	設定内容
[リセット]	ネットワーク I/F の設定を有効にします。各設定の終了画面で［今すぐリセット］をクリックするか、プリンタの電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要です。
[工場出荷時設定]	ネットワーク I/F のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

パスワード

パスワードはネットワーク I/F の設定内容を保護するためのものです。ここで設定したパスワードは、設定画面を開くときや、設定を保存するときに使います。
半角英数 20 文字以内で入力します（大文字・小文字が区別されます）。入力したパスワードは“＊”で表示されます。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

パスワード

旧パスワード

新パスワード

パスワードの再入力

送信

設定項目	設定内容
旧パスワード	旧パスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワードの再入力	新しいパスワードを再入力します。



- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。**
  「ネットワーク I/F の初期化」209 ページ

設定の保存

各設定画面で設定を保存する方法を説明します。

1 **パスワードの入力**

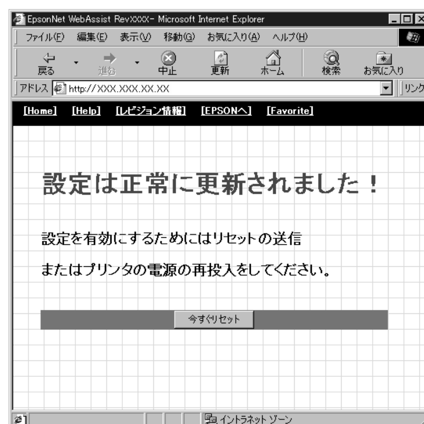
[**送信**] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。[ユーザー名] 欄は、入力不要です。

「パスワード」161 ページ



2 **設定終了**

「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNet WebAssist を終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。



その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。



IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet WebAssist を使う場合は、EpsonNet WebAssist の再起動が必要です。設定した IP アドレスを URL に入力し、EpsonNet WebAssist を再起動してください。

以上で設定は終了です。

第 11 章

EpsonNet Direct Print

この章では、Windows から TCP/IP 印刷をするためのソフトウェア、EpsonNet Direct Print について説明します。

対応するシステムは次の通りです。
・Windows95/98
・WindowsNT4.0
・Windows2000

機能の概要

EpsonNet Direct Print は、Windows から TCP/IP（LPR）印刷をするためのユーティリティです。
次のような特長を持っています。

- EpsonNet Direct Print をコンピュータにインストールし、Windows から LPR プリンタを設定することで、TCP/IP（LPR）印刷が可能になります。
- ルータを越えた場所にあるプリンタも、LPR プリンタとして設定できます。



本製品に同梱の EpsonNet Direct Print は Ver.2 です。
Windows2000 をご使用の場合は、本製品に同梱の EpsonNet Direct Print をご使用ください。
旧バージョンの EpsonNet Direct Print は、Windows2000 では使用できません。

動作環境

EpsonNet Direct Print は次の環境で動作します。

対象機種

IBM PC/AT 互換機

CPU

Pentium 200MHz 以上（PentiumII 以上を推奨）

HDD、RAM

- HD の空きが 20MB 以上
- RAM 32MB 以上

対象 OS

- Windows95（サービスパック 1 以上 /OSR2 以上を推奨）
- Windows98
- WindowsNT4.0（サービスパック 3 以上）
- Windows2000


ポイント

PRIFNW1/2/2AC および LP-9600/9300 に同梱されている EPSON プリンタウィンドウ!2 は、EPSON TCP/IP プリンタ（LPR プリンタ）を設定できます。この EPSON TCP/IP プリンタは、EpsonNet Direct Print による LPR プリンタと共存できます。

インストール

EpsonNet Direct Print は次の手順でインストールします。Windows95 の画面を例に説明します。

1 環境設定

インストールするコンピュータがネットワークに接続されており、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。
また、使用するプリンタのネットワーク I/F に、初期値（192.168.192.168）以外の IP アドレスが設定されていることを確認します。

2 インストールの開始

① 同梱のLP-8500Cプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
自動的に［EPSON インストールプログラム ］が起動します。



［EPSON インストールプログラム ］が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

②［ ネットワークユーティリティのインストール ］を選択した後、**［ 次へ ］**ボタンをクリックします。次の画面が表示されたら、［EpsonNet Direct Print のインストール ］をクリックして **［ 次へ ］**ボタンをクリックします。



3 インストール

［ ようこそ ］の画面が表示されますので **［ 次へ ］**ボタンをクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。
インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。
インストールが終了すると、ネットワークコンピュータ（Windows2000 は［ マイネットワーク ］）に、EPSON の LPR ネットワークコンピュータのグループアイコン［Epson_lpr］が作成されます。続いてプリンタを設定してください。

プリンタの設定

EpsonNet Direct Print をインストールしたら、次の手順で LPR 印刷をするプリンタを設定します。



- **ネットワーク I/F の IP アドレスを設定しておいてください。IP アドレスが未設定および初期値（192.168.192.168）の場合は、[EPSON_LPR] で検索できません。**
  「IP アドレスの設定 / 変更」34 ページ
- **標準で検索できるのは、同一ネットワーク上のプリンタのみです。**
- **ここで作成したプリンタは、Windows のプリンタフォルダ内でプリンタアイコンをダブルクリックしたときに表示される画面から、プリントジョブを選択し、マウスを右クリックすると、印刷の一時停止、印刷の中止、印刷中のジョブ削除をすることができます。**
  ただし、プリンタ側で印刷ドキュメントの処理が始まってしまった場合には、完全に中断できない場合があります。
  「印刷方式の設定」171 ページ

探索範囲の設定

プリンタ（ネットワーク I/F）の探索範囲を設定します。



設定画面の起動

[ネットワークコンピュータ]画面で[Epson_lpr]を選択します。
WindowsNT4.0 は [ネットワークコンピュータ]-[ネットワーク全体]-[EpsonPeripheralNetwork] で、Windows2000 は [マイネットワーク]-[ネットワーク全体] で [全内容] のリンクをクリック -[EpsonPeripheralNetwork] で[Epson_lpr] が表示されます。
［Epson_lpr］を選択したら、マウスを右クリックし、[プロパティ] を選択します。



2 設定

次の画面が表示されたら、プリンタを探索する範囲を設定します。

探索範囲を設定したら、「プリンタの設定（方法 1）」または「プリンタの設定（方法 2）」に進んでください。



<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>ローカル
セグメント</td><td colspan="2">設定に使うコンピュータと同じセグメントのプリンタ（ネットワーク I/F）だけを探索する場合に、チェックを付けます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">特定ネットワークセグメント</td><td colspan="2">ルータを越えたところにあるプリンタ（ネットワーク I/F）を探索する場合にチェックします。
下の欄に、探索するプリンタ（ネットワーク I/F）の IP アドレスとサブネットマスクを入力してください。</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>探索するプリンタ（ネットワーク I/F）の存在するネットワークのアドレスを入力します。
例)192.168.1.0</td></tr>
<tr><td>サブネット
マスク</td><td>探索するプリンタ（ネットワーク I/F）のサブネットマスクを入力します。
例)255.255.255.0</td></tr>
<tr><td>[OK]</td><td colspan="2">設定を保存します。</td></tr>
<tr><td>[キャンセル]</td><td colspan="2">設定を取り消します。</td></tr>
<tr><td>[適用]</td><td colspan="2">画面を表示したままで設定を保存します。</td></tr>
</table>

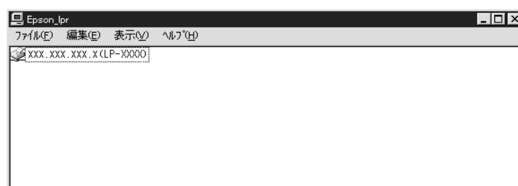
プリンタの設定（方法 1）

ネットワークコンピュータからプリンタを設定する方法です。

1 プリンタの表示

[ネットワークコンピュータ] 画面で [Epson_lpr] を選択します。
WindowsNT4.0 は [ネットワークコンピュータ]-[ネットワーク全体]-[EpsonPeripheralNetwork] で、Windows2000 は [マイネットワーク]-[ネットワーク全体] で [全内容] のリンクをクリック -[EpsonPeripheralNetwork] で [Epson_lpr] が表示されます。
[Epson_lpr] を選択したら、ダブルクリックします。「探索範囲の設定」で設定した範囲の EPSON プリンタが、次の形式で表示されます。

ネットワーク I/F の IP アドレス（プリンタ名）



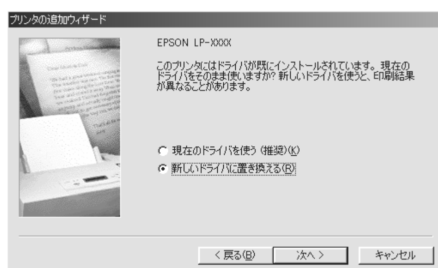
2 プリンタドライバのインストール

① 印刷に使うプリンタをダブルクリックします。

② プリンタウィザードが起動します。画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールします。


ポイント

右の画面が表示された場合は、必ず [新しいドライバに置き換える] を選択してください。



プリンタの設定（方法 2）

プリンタの追加からプリンタを設定する方法です。

1 **プリンタの表示**

① Windows の［プリンタ］画面で、［プリンタの追加］をダブルクリックし、プリンタウィザードを起動します。

② ［ネットワークプリンタ］を選択します。

③ ネットワークパスの指定画面で **[参照]** ボタンをクリックし、プリンタの参照画面で [Epson_lpr] をクリックします。（Windows2000 は、[EpsonPeripheral Network] をクリックします。）「探索範囲の設定」で設定した範囲の EPSON プリンタが、次の形式で表示されます。

ネットワーク I/F の IP アドレス（プリンタ名）

または、

¥¥Epson_lpr¥IP アドレス（プリンタ名）（Windows2000 の場合）



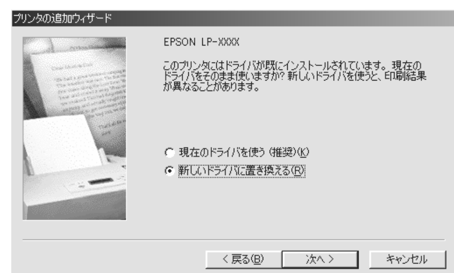
2 **プリンタドライバのインストール**

① 印刷に使うプリンタをダブルクリックします。

② プリンタウィザードが起動します。画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールします。


ポイント

右の画面が表示された場合は、必ず [新しいドライバに置き換える] を選択してください。



印刷方式の設定

「プリンタの設定」でインストールしたプリンタの、印刷方式を選ぶことができます。

1 設定画面の起動

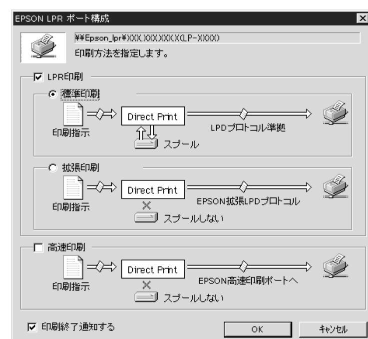
① ［プリンタ］画面でプリンタアイコンを選択し、マウスを右クリックします。メニューから［プロパティ］を選択します。
Windows2000は、［マイネットワーク］-［ネットワーク全体］で［全内容］のリンクをクリック -［EpsonPeripheralNetwork］で［Epson_lpr］が表示されます。
［Epson_lpr］を選択したら、ダブルクリックします。表示されたプリンタを右クリックして、［プロパティ］を選択すると、手順2の画面が表示されます。

② プロパティの画面で、［詳細］タブにある **［ポートの設定］**ボタン（WindowsNT4.0は、［ポート］タブの **［ポートの構成］**ボタン）をクリックします。
ボタンをクリックしたとき、「このポートに対して設定する項目はありません」と表示された場合は、**[OK]** ボタンをクリックしてこのメッセージを閉じ、次に進んでください。



2 設定

次の画面が表示されたら、用途により印刷方式を切り替えます。



設定項目	設定内容	
LPR 印刷	標準印刷	印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
	拡張印刷	印刷データを直接プリンタに送信します。標準印刷よりも高速に印刷できます。
高速印刷	LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。最も高速に印刷したい場合に、選択します。	
終了通知する	チェックを付けると、印刷ジョブが終了したときに画面にメッセージが表示されます。	

第 12 章

EpsonNet Internet Print

この章では、インターネットに接続されているプリンタに直接印刷をするユーティリティ、EpsonNet Internet Print について説明します。

対応するシステムは次のとおりです。(Windows2000 には対応していません。)

・Windows95/98
・WindowsNT4.0 Server/Workstation

機能の概要

EpsonNet Internet Print は次のような特長を持つユーティリティです。

- EpsonNet Internet Print は、インターネットに接続されているプリンタに対して、直接印刷を行うためのユーティリティです。
- TCP/IP が設定され、インターネットにアクセスできる Windows95/98/NT4.0 から、プリンタの設定や印刷が実行できます。
- プロキシサーバによる中継印刷もできます。



ポイント

- **プリンタに同梱されているユーティリティのうち、EPSON プリンタウィンドウ !2（または EPSON プリンタウィンドウ !3）は、コンピュータに接続されているプリンタの状態を監視するユーティリティです。**
  このユーティリティは IPP（Internet Printing Protocol）に対応していないため、インターネットに接続されているプリンタは監視できません。
- **EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている環境で EpsonNet Internet Print を使用する場合、プリンタのプロパティをクリックすると通信エラーのメッセージが表示される場合があります。**
  この場合は、対象となるプリンタドライバのプロパティで、[環境設定] タブにある [オプション情報を手動で設定する] をクリックしてください。

動作環境

EpsonNet Internet Print は次の環境で動作します。

対象機種

- EpsonNet Internet Print が添付されているプリンタ

対象 OS

- Windows95/98
- WindowsNT4.0 Server/Workstation

Windows2000 には対応していません。

コンピュータ

- Intel 社製品、x86 シリーズおよびその互換機を搭載したコンピュータ

インストール

EpsonNet Internet Print は次の手順でインストールします。Windows95 の画面を例に説明します。

1 環境設定

インストールするコンピュータに、TCP/IP がインストールされ、IP アドレスが設定されていることを確認します。
また、使用するプリンタのネットワーク I/F に、IP アドレスが設定されていることを確認します。

2 インストールの開始

① 同梱のLP-8500Cプリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。



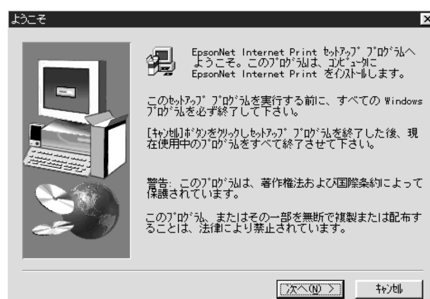
[EPSON インストールプログラム] が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

② ［ネットワークユーティリティのインストール ］を選択した後、**[次へ]** ボタンをクリックします。次の画面が表示されたら、［EpsonNet Internet Print のインストール ］をクリックして **[次へ]** ボタンをクリックします。



3 インストール

［ ようこそ ］の画面が表示されますので **[次へ]** をクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。
インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。



使い方

インターネット直接印刷をするプリンタは、次の手順で設定します。

Windows95/98

Windows95/98 は次の手順で設定します。

1 コンピュータの設定確認

設定に使うコンピュータに、TCP/IP が組み込まれ、正しく設定されていることを確認します。

「TCP/IP の組み込み」27 ページ

2 プリンタの設定確認

ここでの設定内容は、手順 4 で使います。

① 設定するプリンタのネットワーク I/F に、IP アドレスが設定されていることを確認します。

「IP アドレスの設定 / 変更」34 ページ

② EpsonNet WebAssist を使って、設定するプリンタに、インターネット直接印刷のための設定をします。下記のページを参照してください。

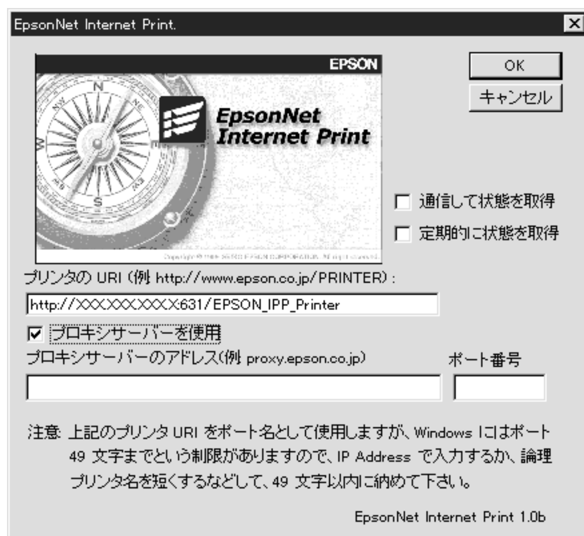
「IPP」156 ページ

3 EpsonNet Internet Print の起動

Windows[スタート] メニューの [プログラム]-[EpsonNet Internet Print]-[Add EpsonNet Internet Print Port] をクリックして起動します。

4 プリンタポートの追加

次の画面が表示されます。ここで設定したアドレスが、インターネット直接印刷のポートになります。



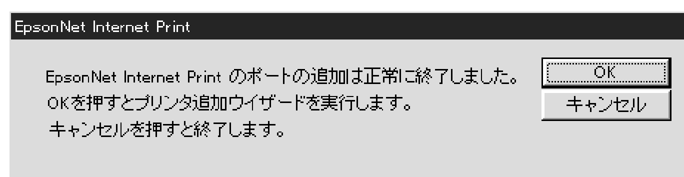
設定項目	設定内容
プリンタの URI	印刷先プリンタのアドレスを、次の書式で設定します。半角英数 49 文字以内で入力してください。 書式）http:// プリンタの持っているサーバ名（IP アドレスまたはサーバ名）: 631/ プリンタ名 例）http://192.168.100.201:631/EPSON_IPP_Printer 631 は印刷先のポート番号です。入力しなくても構いません。入力する場合は必ず 631 と入力してください。 [プリンタの持っているサーバ名] にホスト名を使用して印刷できない場合は、IP アドレスを使用してください。
プロキシサーバーを使用	プロキシサーバーを使用する場合は、チェックを付けて、次の欄にアドレスを入力します。これをチェックすると、すべての通信をプロキシサーバーを経由して行います。
プロキシサーバーのアドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。半角英数 127 文字以内で入力してください。 アドレスの先頭に http:// は付けないでください。
ポート番号	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
通信して状態を取得	チェックを付けると、[OK] をクリックした時に、プリンタと通信して、設定したプリンタが存在するかどうかを確認します。 この場合、最大 5 分の時間がかかります。 本項目は、ポート作成時のみ設定できます。
定期的に状態を取得	定期的にプリンタの状態を取得する場合は、チェックを付けます。 印刷中は 5 秒に 1 回、それ以外のときは 20 秒に 1 回、状態の取得を行います。 チェックを付けると、印刷中はエラー発生時に Windows 上にメッセージが表示されます。 それ以外のときは、プリンタアイコンをダブルクリックするとプリンタの状態が表示されます。
[OK]	設定を保存します。
[キャンセル]	設定を取り消します。



- **ダイヤルアップルータを使用してインターネットに接続している場合など、[定期的に状態を取得] にチェックを付けていると、定期的にダイヤルアップを行うために、余分な課金が発生する可能性があります。ご注意ください。**
- **[通信して状態を取得] をチェックして [OK] をクリックしたときに、エラーが表示されることがあります。この場合は、プリンタの電源がオンになっているか、ネットワークに正しく接続しているかを確認してください。**
- **上記の設定は、プリンタの作成後も設定、変更できます。プリンタのプロパティで、詳細タブの [ポートの設定] ボタンをクリックしてください。**
- **プリンタの電源がオフであったり、ネットワークに問題がある等で、プリンタが正常に認識できない場合、[定期的に状態を取得] にチェックを付けても、チェックが自動的に外れます。この場合は、プリンタやネットワークの状態を確認して、再度 [定期的に状態を取得] にチェックを付けてください。**

5 **設定の保存**

設定を保存すると、次の画面が表示されます。**[OK]** をクリックして、次の手順へ進みます。



6 **プリンタの追加**

① プリンタ追加ウィザードが表示されます。[ローカルプリンタ] をクリックします。



② 使用するプリンタを、画面に表示される [製造元] と [プリンタ] の一覧から選択します。

③ 次の画面が表示されたら、[新しいドライバに置き換える] を選択します。



④ プリンタで使用するポートの一覧が表示されます。追加したプリンタの URI を選択してください。後は、画面の指示に従ってインストールします。




ポイント

プリンタのプロパティの [詳細] タブで、ここで設定したポートを削除した場合、同じ名前をポート名（プリンタの URI）として設定することはできません。ただし、コンピュータを再起動すると、同じ名前が設定できるようになります。

WindowsNT4.0

WindowsNT4.0 は次の手順で設定します。

1 コンピュータの設定確認

設定に使うコンピュータに、TCP/IP が組み込まれ、正しく設定されていることを確認します。

「TCP/IP の組み込み」27 ページ

2 プリンタの設定確認

ここでの設定内容は、手順 4 で使います。

① 設定するプリンタのネットワーク I/F に、IP アドレスが設定されていることを確認します。

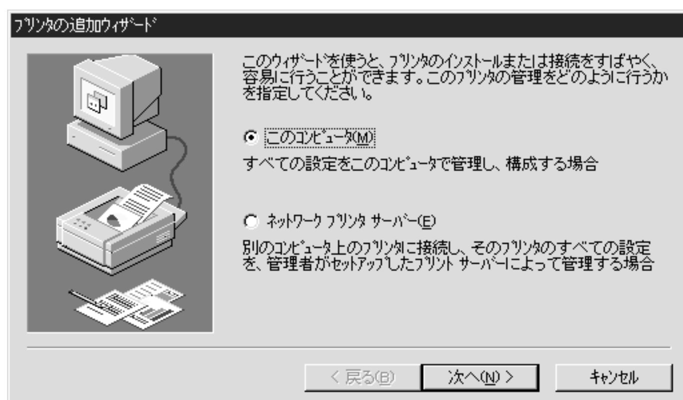
「IP アドレスの設定 / 変更」34 ページ

② EpsonNet WebAssist を使って、設定するプリンタに、インターネット直接印刷のための設定をします。下記のページを参照してください。

「IPP」156 ページ

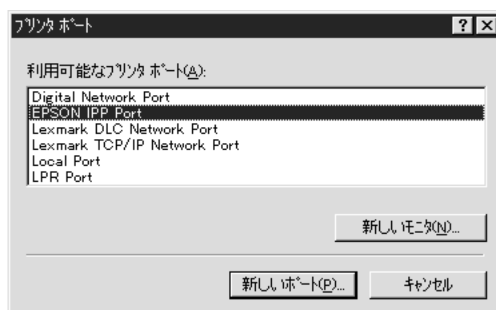
3 プリンタの追加の起動

マイコンピュータのプリンタ内にある、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。次の画面で、[このコンピュータ] をクリックします。

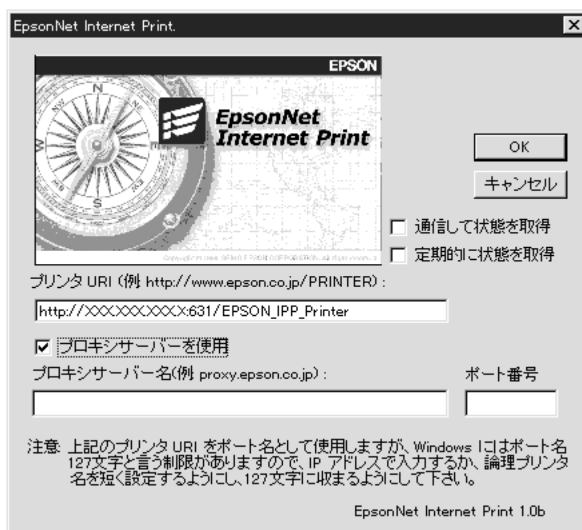


4 プリンタポートの追加

① [ポートの追加] ボタンをクリックして、利用可能なプリンタポートから、[EPSON IPP Port] を選択します。その後、**[新しいポート]** ボタンをクリックします。



② 次の画面が表示されます。ここで設定したアドレスが、インターネット直接印刷のポートになります。各項目を設定して、**[OK]** をクリックします。



設定項目	設定内容
プリンタ URI	印刷先プリンタのアドレスを、次の書式で設定します。半角英数 127 文字以内で入力してください。 書式）http:// プリンタの持っているサーバ名（IP アドレスまたはサーバ名）: 631/ プリンタ名 例）http://192.168.100.201:631/EPSON_IPP_Printer 631 は印刷先のポート番号です。入力しなくても構いません。入力する場合は必ず 631 と入力してください。 [プリンタの持っているサーバ名] にホスト名を使用して印刷できない場合は、IP アドレスを使用してください。
プロキシサーバーを使用	プロキシサーバーを使用する場合は、チェックを付けて、次の欄にアドレスを入力します。 これをチェックすると、すべての通信をプロキシサーバーを経由して行います。
プロキシサーバー名	プロキシサーバーのアドレスを入力します。半角英数 256 文字以内で入力してください。 アドレスの先頭に http:// は付けないでください。
ポート番号	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
通信して状態を取得	チェックを付けると、[OK] をクリックした時に、プリンタと通信して、設定したプリンタが存在するかどうかを確認します。 この場合、最大 5 分の時間がかかります。 本項目は、ポート作成時のみ設定できます。
定期的に状態を取得	定期的にプリンタの状態を取得する場合は、チェックを付けます。 印刷中は 5 秒に 1 回、それ以外のときは 20 秒に 1 回、状態の取得を行います。 チェックを付けると、印刷中はエラー発生時に Windows 上にメッセージが表示されます。 それ以外のときは、プリンタアイコンをダブルクリックするとプリンタの状態が表示されます。
[OK]	設定を保存します。
[キャンセル]	設定を取り消します。



- **ダイヤルアップルータを使用してインターネットに接続している場合など、[定期的に状態を取得] にチェックを付けていると、定期的にダイヤルアップを行うために、余分な課金が発生する可能性があります。ご注意ください。**
- **[通信して状態を取得] をチェックして [OK] をクリックしたときに、エラーが表示されることがあります。この場合は、プリンタの電源がオンになっているか、ネットワークに正しく接続しているかを確認してください。**
- **上記の設定は、プリンタの作成後も設定、変更できます。プリンタのプロパティで、ポートタブの [ポートの構成] ボタンをクリックしてください。**

5 プリンタのインストール

使用するプリンタドライバを選択します。後は、画面の指示に従ってインストールします。

第 13 章

Printer Status Page

この章では、Windows2000 の Microsoft Windows® 2000 インターネット印刷機能を使って EPSON プリンタの現在の状態を表示するユーティリティ、Printer Status Page について説明します。
Printer Status Page は、Windows2000 用の EPSON プリンタドライバに含まれているユーティリティです。Windows2000 にプリンタドライバをインストールすると、同時に Printer Status Page もインストールされます。

対応するシステムは次の通りです。
・Windows2000 Server/Professional（日本語）

機能の概要

- Printer Status Page は、Microsoft Windows® 2000 インターネット印刷機能を使って、Web ブラウザからEPSON プリンタの現在の状態を確認するユーティリティです。Windows2000 のネットワークで使用できます。
- Printer Status Page は、EPSON 製プリンタのWindows2000 用プリンタドライバに含まれています。本章で説明する手順でWindows2000 にプリンタドライバをインストールすると、同時にPrinter Status Page もインストールされます。



プリンタに同梱の取扱説明書に記載されている方法でプリンタドライバをインストールした場合、プリンタドライバのみインストールされ、Printer Status Page はインストールされません。

動作環境

インターネット印刷と Printer Status Page は、次の環境で動作します。

サーバ

OS	条件
Windows2000 Server/Professional	インターネットインフォメーションサービス（IIS）Ver.5.0 以降が動作していること

クライアント、ブラウザ

OS	条件
Windows2000 Server/ Professional	・ブラウザは、Microsoft Internet Explorer Ver.4.01 サービスパック 2 以降 ・256 色以上が表示可能であること

環境設定

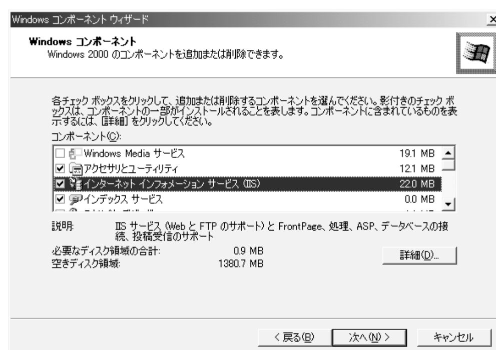
Printer Status Page を使うコンピュータと、Printer Status Page で管理する EPSON プリンタの設定をします。

サーバおよびクライアント

・ Windows2000 に、インターネットインフォメーションサービス（IIS）があることを確認します。

① マイコンピュータのコントロールパネルで、［ アプリケーションの追加と削除 ］をダブルクリックし、［Windows コンポーネントの追加と削除 ］アイコンをクリックします。

② Windows コンポーネントの画面で、［ インターネットインフォメーションサービス（IIS）］にチェックが付いていることを確認します。
チェックがない場合は、チェックを付けてインストールします。



・ Web ブラウザをインストールしてください。

・ コンピュータがネットワークに接続され、TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。

プリンタ

Printer Status Page で管理するプリンタの設定をします。Printer Status Page を使用しない場合は、ここでの設定は不要です。

1 **ネットワークへの接続**
プリンタに装着した I/F カードまたはプリンタに標準装備のネットワーク I/F がネットワークに接続され、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。

2 **プリンタの設定**
プリンタを追加します。プリンタを追加すると、Printer Status Page も自動的にインストールされます。
追加の方法は、必ず「Standard TCP/IP Port または LPR Port での接続」の手順に従って設定してください。そのとき、以下の注意事項を参照してください。


「Standard TCP/IP Port または LPR Port での接続」52 ページ

「IPP 印刷（Windows2000 のみ）」65 ページ



- **プリンタドライバは、プリンタの追加ウィザードの中でインストールしてください。プリンタドライバの Setup.exe を直接起動しないでください。**
- **プリンタドライバは、プリンタに同梱されているプリンタドライバの CD-ROM からインストールしてください。**
- **ポートの設定では、[Standard TCP/IP Port] を選択してください。**
- **プリンタの追加で、[プリンタ共有] 画面が表示されたら、[共有する] を選択してください。**

起動と表示

Printer Status Page の起動と表示画面について説明します。

起動方法

起動方法 1

Windows2000 のプリンタフォルダで LP-8500C を選択し、画面左の〔 詳細 〕をクリックします。



起動方法 2

Windows2000 のインターネット印刷画面から起動する方法です。

1 サーバの指定

Internet Explorer を起動して、①～③いずれかの書式で URL を指定します。

書式） ①http://Windows2000 サーバのホスト名 (DNS 名)/Printers
②http://Windows2000 サーバのコンピュータ名 (WINS 名)/Printers
③http://Windows2000 サーバの IP アドレス /Printers

①の例） http://Server/Printers

2 プリンタの指定

プリンタの一覧が表示されます。使用するプリンタをクリックしてください。

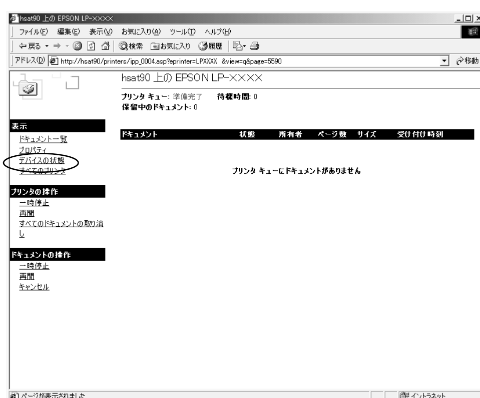


項目	内容
プリンタ名	共有プリンタのプリントキュー名です。
状態	プリントキューの状態です。
場所	プリンタを追加するときに指定した場所が表示されます。
ジョブ	プリントジョブの数を表示します。
モデル	プリンタモデル名です。
コメント	プリンタを追加するときに指定した、コメントが表示されます。

3 Printer Status Page の起動

プリンタを選択すると、次の画面が表示されます。画面の左にあるメニューから、印刷の制御ができます。詳しくは、Windows2000 のマニュアルおよび HELP をご覧ください。

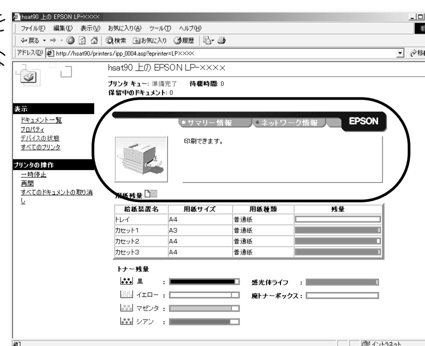
この画面からメニューの［デバイスの状態］をクリックすると、Printer Status Page 画面を表示できます。



Printer Status Page 画面

デバイスの状態

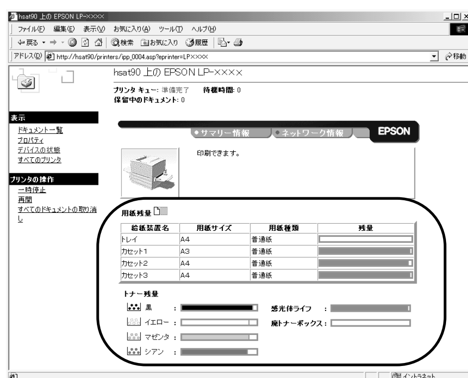
画面の上半分に、EPSON プリンタの状態を表示します。表示内容はプリンタにより異なります。



項目	内容
プリンタイメージ	プリンタの状態とイメージ画像を表示します。 プリンタにエラーが発生した場合は、エラー情報を表示します。
ステータスメッセージ	プリンタの状態をメッセージで表示します。
［サマリー情報］タブ	タブをクリックすると、プリンタの消耗品や用紙残量を表示します。
［ネットワーク情報］タブ	タブをクリックすると、プリンタまたは I/F カードのネットワーク情報を表示します。

サマリー情報

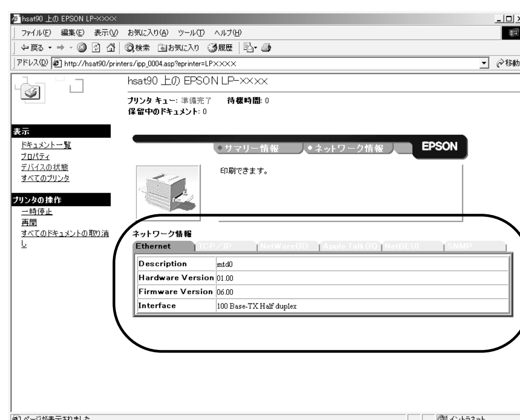
プリンタの消耗品（トナー、インクなど）と用紙残量情報を表示します。実際に表示される項目は、プリンタにより異なります。



項目	内容
用紙残量	
給紙装置名	トレイ、カセットなど、給紙装置の名称を表示します。
用紙サイズ	給紙装置にセットされた用紙のサイズを表示します。
残量	用紙の残量を表示します。残量が少ないときは、グラフを赤色で表示します。
トナー残量	
トナー残量	トナーの残量を表示します。カラーレーザープリンタの場合は、黒以外のトナーの残量も表示します。残量が少ないときは、色名表示の左のアイコンが点滅します。
感光体ライフ	感光体の寿命を表示します。感光体がトナーと別体の場合にのみ、表示されます。
廃トナーボックス	廃トナーの使用量をゲージで表示します。カラーレーザープリンタのみ表示します。

ネットワーク情報

プリンタに装着された I/F カードまたはプリンタに標準装備のネットワーク I/F の情報を表示します。見たいタブをクリックしてください。



項目	内容
Ethernet	I/F カードおよびネットワーク I/F の情報を表示します。
TCP/IP	I/F カードおよびネットワーク I/F の TCP/IP 情報を表示します。
NetWare(R)	I/F カードおよびネットワーク I/F の NetWare 情報を表示します。
AppleTalk(R)	I/F カードおよびネットワーク I/F の AppleTalk 情報を表示します。
NetBEUI	I/F カードおよびネットワーク I/F の NetBEUI 情報を表示します。
SNMP	I/F カードおよびネットワーク I/F の SNMP 情報を表示します。

第 14 章

EpsonNet WebManager

この章では、ネットワークデバイスをWeb ブラウザで管理するユーティリティ、EpsonNet WebManager について説明します。

機能の概要

EpsonNet WebManager は次のような特長を持つユーティリティです。

- EpsonNet WebManager は、ネットワークデバイス管理用のユーティリティです。ネットワーク上に接続されているプリンタと、プリンタに装着されているネットワーク I/F を探索し、現在どのような状態にあるかを確認したり、設定を変更したりできます。
  また、複数のデバイスをまとめて管理するために、グループごとに分類することもできます。
- EpsonNet WebManager は、ネットワークの管理を行う方が使用してください。ネットワーク管理者は、Web ブラウザで EpsonNet WebManager をインストールしたコンピュータにアクセスすることで、ネットワーク上のデバイス管理が可能になります。
- EpsonNet WebManager は Web ブラウザ上で動作します。このため Windows、Macintosh といったマルチプラットフォームに対応しています。
  ただし、EpsonNet WebManager 自体のインストールは、Windows95/98/2000/NT4.0/NT3.51 でのみ行えます。
- EpsonNet WebManager は、下記のページに示す EPSON 製プリンタの他にも、プリンタ MIB 対応の他社製プリンタを管理できます。
  ただし、他社製プリンタの場合、一部の情報の表示や設定ができない場合があります。

「管理できるデバイス」197 ページ

動作環境

EpsonNet WebManager は次の環境で動作します。

動作環境



- **EpsonNet WebManager を使う前に、使用するコンピュータとプリンタがネットワークに接続され、必要な設定が済んでいることを確認してください。ネットワーク環境設定の詳細は、第 1 章〜第 10 章を参照してください。**
- **EpsonNet WebManager は Web ブラウザ上で動作します。Web ブラウザを使用するには、お使いのコンピュータに TCP/IP を組み込む必要があります。
また、どのコンピュータに、EpsonNet WebManager を使うための環境設定をするかは、下記のページを参照してください。**

 **「TCP/IP の組み込み」27 ページ**
 **「使用形態」201 ページ**

サーバ

EpsonNet WebManager は、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールします。
EpsonNet WebManager をインストールできるコンピュータは次の通りです。

コンピュータ

下記の OS が動作可能な IBM PC-AT 互換機または NEC PC-98 シリーズ

CPU	Pentium 200MHz 以上
メモリ	64MB 以上
HDD	空き容量 20MB 以上

OS

- Windows2000
- Microsoft WindowsNT4.0/3.51（Intel 版 Server/Workstation）
- Microsoft Windows95/98

Windows2000をご使用の場合、本製品に同梱のCD-ROMからEpsonNet WebManager をインストールしてください。
旧バージョンの EpsonNet WebManager は、Windows2000 では使用できません。
旧バージョンの EpsonNet WebManager がインストールされているコンピュータにインストールする場合、旧バージョンの EpsonNet WebManager を削除する必要はありません。



本章では、EpsonNet WebManager をインストールするコンピュータをサーバと呼びます。

クライアント

EpsonNet WebManager は、Web ブラウザ上で動作します。
このため、クライアントとして機能するコンピュータが Macintosh であっても、Web ブラウザがインストールされていれば、Web ブラウザ上からサーバにアクセスして使用することができます。EpsonNet WebManager を使用するために必要な Web ブラウザの種類とバージョンについては、Readme.txt ファイルを参照してください。
Readme.txt ファイルは、[スタート] メニューのプログラム [EpsonNet Web Manager] ー [Readme.txt] をクリックして、ご覧ください。



画面の設定は、解像度 1024 × 768、256 色以上でお使いになることをお勧めします。

管理できるデバイス

EpsonNet WebManager では、LP-8500C や以下のデバイスを管理することができます。


注 意

- **本書での「デバイス」は、プリンタと、プリンタに装着したネットワーク I/F カードを指します。**
- **デバイスの組み合わせにより、EpsonNet WebManager の一部の機能が使用できない場合があります。詳しくは下記のページを参照してください。**
  「使用可能な機能とデバイスの組み合わせ」199 ページ

プリンタ

EpsonNet WebManager で管理できるプリンタは、次ページに記載のネットワーク I/F でネットワークに接続されている、次のプリンタです。(2000 年 2 月現在)

EPSON 製プリンタ

・EpsonNet WebManager が添付されているプリンタ
（本書が同梱されているプリンタ）

・ページプリンタ
LP-1700/1700S/1800/1900
LP-8200/8300/8300S/8400/8400F/8400FX/8600
8600F/8600FX
LP-9200/9200S/9200SX
LP-9300/9600/9600S（ネットワーク I/F 標準装備）
LP-8000C
LP-8500C/8200C/8400FN/8400FXN/8600FN/8600FXN/1900N(ネットワークI/F標準装備)

・インクジェットプリンタ
EM-900C
EM-900CN（ネットワーク I/F 標準装備）
MJ-910C/930C
MJ-3000C/3000CU/5100C/6000C/8000C
PM-5000C/9000C/7000C

・ドットマトリックスプリンタ
VP-1850/2200
VP-4100/4200
VP-5100/5200/6200

上記以外の EPSON 製プリンタについては、次の条件を満たしていれば、EpsonNet WebManager で管理できます。

・ 次ページ「ネットワーク I/F」に記載のネットワーク I/F カードが使用可能なプリンタ、またはネットワーク I/F を標準で装備しているプリンタ



次の EPSON 製プリンタは、EpsonNet WebManager では管理できません。
- **下記「ネットワーク I/F」に記載のネットワーク I/F カードが使用できないプリンタ**
- **PS プリンタ（PostScript 対応のプリンタ）**
- **ポストスクリプトサーバ（PS シリーズ）に接続されたプリンタ**
- **コピーサーバ（CS シリーズ）を介してネットワークに接続されたプリンタ**

他社製プリンタ

他社製プリンタの場合、プリンタ MIB に対応しているプリンタであれば、原則として EpsonNet WebManager で探索し、一覧に表示させせることが可能です。しかし、プリンタやネットワーク I/F の状態や設定の確認、変更はできない場合があります。



MIB（Management Information Base）とは、ネットワークに接続されているコンピュータや各種の装置の状態を管理する事を目的として、管理のための情報の構造を定めたものです。
他社製のプリンタであってもプリンタ MIB に対応していれば、EpsonNet WebManager はプリンタ MIB に登録されている情報によって、そのプリンタの管理を行います。

ネットワーク I/F

EpsonNet WebManager で管理可能なネットワーク I/F は次の通りです。
（2000 年 2 月現在）

- EpsonNet WebManager が添付されているネットワーク I/F
- PRIF8S
- PRIF12
- PRIFNW1/2/2AC
- PRIFNW1S/2S/2SAC
- LP-9600S/8200C/8400FN/8400FXN/8500C/8600FN/8600FXN/9300/9600/1900N、EM-900CN に標準装備のネットワーク I/F

（上記の他、本書が同梱されているプリンタに標準装備のネットワーク I/F を管理できます。）



PRIF8S、PRIF12 で使えるのは、状況監視機能のみです。EpsonNet WebManager から、プリンタやネットワーク I/F の設定を変更することはできません。

使用可能な機能とデバイスの組み合わせ

EpsonNet WebManager で使用できる、機能とデバイスの組み合わせは次の通りです。

使用可能な機能

EpsonNet WebManager のデバイス管理機能は、大きく分けると次のようになります。
お使いの環境でこれらの機能が使えるかについては、次ページをご覧ください。

- デバイスの探索と一覧表示
  ネットワーク上に接続されているデバイス（プリンタとネットワーク I/F）を探索し、EpsonNet WebManager で一覧を表示します。また各デバイスの現在の状態を表示します。
- デバイス詳細
  EpsonNet WebManager で、ネットワーク上のデバイス設定を変更します。
- ネットワーク設定
  EpsonNet WebManager で、デバイスのネットワーク I/F 設定を変更します。
- グループ管理
  ネットワークに接続されている複数のデバイスをグループごとにまとめて、デバイス管理を行いやすくします。

デバイスの組み合わせ

プリンタとネットワーク I/F の組み合わせによって、次のように一部の機能が使用できない場合があります。

デバイスの組み合わせ		EpsonNet WebManager の機能				
プリンタ	ネットワーク I/F	デバイスの探索と一覧表示	デバイス詳細		ネットワーク設定	グループ管理
			表示	設定		
EPSON 製プリンタ	PRIF8S/12	○	○	×	×	○
EPSON 製プリンタ	PRIFNW1/2/2AC	○	○	×	○	○
EPSON 製プリンタ（プリンタ MIB 未対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	×	○	○
EPSON 製プリンタ（プリンタ MIB 対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	○	○	○
EPSON 製プリンタ	プリンタに標準装備のネットワーク I/F	○	○	○	○	○
他社製プリンタ（プリンタ MIB 対応）	プリンタで使用可能なネットワーク I/F	△	△	△	×	△

△・・・表示、管理のできない場合があります。

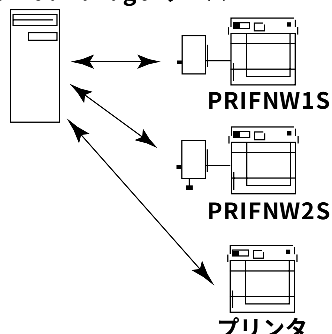

ポイント

- **EPSON 製プリンタで、プリンタ MIB に対応している機種は次の通りです。（2000 年 2 月現在）**
  LP-9600S/8200C/8500C/9300/9600
  LP-8300F/8400F/8400FX/8600F/8600FX
  LP-8400FN/8400FXN/8600FN/8600FXN
  LP-1900/1900N
  VP-6200
- **EPSON 製プリンタで、ネットワーク I/F を標準装備している機種は次の通りです。（2000 年 2 月現在）**
  LP-9600S/8200C/8500C/9300/9600
  LP-8400FN/8600FN/8400FXN/8600FXN/1900N
  EM-900CN
- **上の表で、「デバイス詳細」が使用可能となっているデバイスでも、プリンタによっては設定できない画面や項目があります。**
- **他社製プリンタ（プリンタ MIB 対応）でも、ネットワーク I/F が HTTPD 機能を持っていれば、「ネットワーク設定」が可能なものもあります。**

使用形態

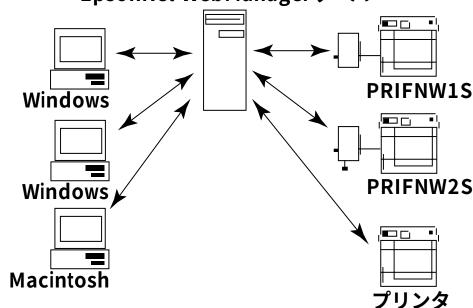
EpsonNet WebManagerは、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Web ブラウザ上で使用します。
EpsonNet WebManager の使用形態には次の 2 種類があります。

① EpsonNet WebManager と Web ブラウザを同一コンピュータ上で使用



ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータに、EpsonNet WebManager と Web ブラウザをインストールします。EpsonNet WebManager 専用のサーバを用意する必要はありません。
1 台のコンピュータでネットワーク上のデバイスを管理できます。
サーバとなるコンピュータには、Windows95/98/2000/NT4.0/NT3.51 をお使いください。

② EpsonNet WebManager と Web ブラウザを別のコンピュータ上で使用



EpsonNet WebManager はネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Web ブラウザはクライアントとして動作するコンピュータにインストールします。
クライアントコンピュータからWeb ブラウザを起動し、サーバ上の EpsonNet WebManager にアクセスして、EpsonNet WebManager を使用します。
この場合、Windows の他、Macintosh から EpsonNet WebManager を使用して、ネットワーク上のデバイスの管理を行うことができます。

インストール

EpsonNet WebManager は次の手順でインストールします。Windows の画面を例に説明します。



EpsonNet WebManager をクライアントでも使用する場合（前ページの②の場合）は、クライアントにサーバの IP アドレスまたはホスト名を知らせてください。この場合、クライアントに EpsonNet WebManager をインストールする必要はありません。

1 環境設定

インストールするコンピュータに、TCP/IP がインストールされ、IP アドレスまたはホスト名が設定されていることを確認します。ホスト名は、Windows ディレクトリで hosts ファイルか Lmhosts ファイル、または DNS サーバに登録します。

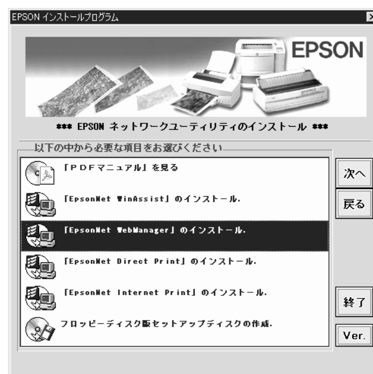
2 インストールの開始

①プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。



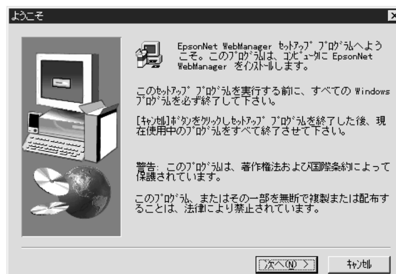
- **Windows95/98/2000/NT4.0 をご利用の場合で [EPSONインストールプログラム] が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**
- **WindowsNT3.51 をご利用の場合は、[プログラムマネージャ] を開き [アイコン] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックして以下のコマンドを半角で入力し、[OK] ボタンをクリックします。
例)D:\EPSETUP（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）**

② [ネットワークユーティリティのインストール] を選択した後、**[次へ]** ボタンをクリックします。次の画面が表示されたら、[EpsonNet WebManager のインストール] をクリックして **[次へ]** ボタンをクリックします。
（画面に表示されるソフトウェアの種類や名称は、プリンタの機種によって異なります。）



3 インストール

[ようこそ] の画面が表示されますので **[次へ]** ボタンをクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。



EpsonNet WebManager の使い方

EpsonNet WebManager の起動方法と、オンラインマニュアルの見方を説明します。使い方の詳しい説明は、オンラインマニュアルを参照してください。

起動方法

サーバからの起動

ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールした場合、サーバからの起動方法は次の通りです。

Windows95/98/NT4.0/2000

Windows[スタート] メニューの [プログラム]-[EpsonNet WebManager]-[EpsonNet WebManager] をクリックして起動します。

WindowsNT3.51

次項「クライアントからの起動」に記載されている方法で起動します。

上記の方法とは別に、Web ブラウザから起動することもできます。Web ブラウザからの起動方法については、次項「クライアントからの起動」を参照してください。

クライアントからの起動

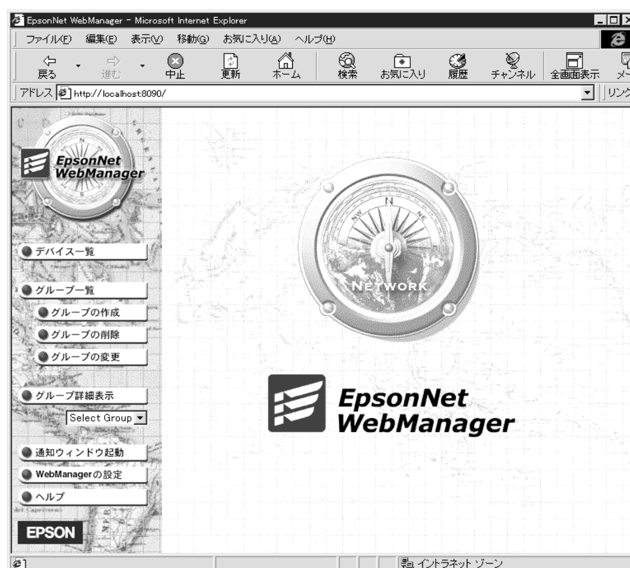
ネットワーク上でクライアントとして機能するコンピュータから EpsonNet WebManager を起動するには、クライアント上で Web ブラウザを起動し、Web ブラウザからサーバにインストールした EpsonNet WebManager を起動します。

1. **Web ブラウザの起動**
   クライアント上で、Web ブラウザを起動します。

2. **EpsonNet WebManager の起動**
   Web ブラウザ上で、次の URL を入力します。
   書式） http:// サーバの IP アドレスまたはホスト名 :8090
   例） http://192.168.100.201:8090
   （サーバの IP アドレスが 192.168.100.201 の場合）

起動時の画面について

EpsonNet WebManager が起動すると、以下の画面が表示されます。
画面左側に表示されているボタンをクリックすると、各ボタンの項目に対応した画面が表示されます。



上記の画面が表示されたら、画面左側の **[デバイス一覧]** ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されます。



画面中央の **[デバイス情報更新]** ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているデバイスを探索し、デバイスの一覧と各デバイスの状況が画面の下半分に表示されます。

オンラインマニュアルの見方

EpsonNet WebManager の操作方法は、EpsonNet WebManager の [ヘルプ] 画面にある [オンラインマニュアル] をご覧ください。オンラインマニュアルは次の手順で起動します。

1 ヘルプ画面の表示

EpsonNet WebManager を起動して、画面左側のメニューにある **[ヘルプ]** をクリックします。

2 オンラインマニュアルの表示

[オンラインマニュアルへ] をクリックすると、オンラインマニュアルが表示されます。また、EpsonNet WebManager の各設定画面の右上にある **[?]** ボタンをクリックすると、操作にあったヘルプが表示されます。



第 15 章

付録

ネットワーク I/F の初期化方法などを説明します。

ユーティリティの削除

EpsonNet WinAssist/Direct Print/Internet Print/WebManager の削除は、以下の手順で行います。



EpsonNet Direct Print と EPSON プリンタウィンドウ !2 または 3 ※をインストールしているコンピュータから、EPSON プリンタウィンドウ !2 または 3 をアンインストールした場合、EPSON プリンタウィンドウ !2 または 3 のフォルダ（EPSON フォルダ）は残ったままになります。
このフォルダは、LPR プリンタが正常に動作するために必要なフォルダです。削除しないでください。
※お使いの機種によって添付されているものが異なります。



EpsonNet Internet Print を削除する前に、EpsonNet Internet Print で作成したポートを削除してください。

Windows95/98/NT4.0/2000

1 削除画面の起動

マイコンピュータのコントロールパネルにある [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

2 削除

[セットアップと削除] 画面で削除するユーティリティを選択し、**[追加と削除]** ボタン（Windows2000 は **[変更 / 削除]** ボタン）をクリックします。後は、画面の表示に従って削除します。



WindowsNT3.51

1 **削除画面の起動**

削除するユーティリティのグループにある［アンインストール］をダブルクリックして起動します。

2 **削除**

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、**［はい］**をクリックします。
「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

ネットワーク I/F の初期化

次のような場合は、プリンタの操作パネルからネットワーク I/F の設定を初期化する必要があります。

- ネットワーク I/F に誤った操作をしたり、ネットワーク I/F が誤動作をして、ネットワーク I/F が設定ユーティリティに表示されなくなったとき
- 設定ユーティリティのパスワードを忘れてしまったとき



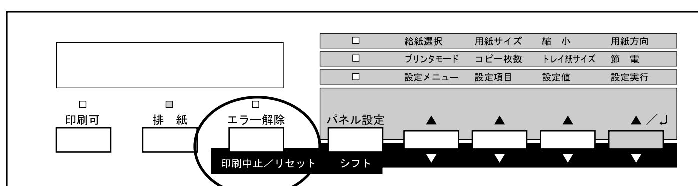
この操作を行うと、ネットワーク I/F の設定だけでなく、操作パネルで設定したすべての値がクリアされます。ご注意ください。

1 プリンタの電源 OFF

設定を初期化したいプリンタの電源をオフにします。

2 初期化

操作パネルの［エラー解除］スイッチを押しながら、プリンタの電源をオンにします。［エラー解除］スイッチは、印刷可ランプが点灯するまで押してください。
以上で、初期化は完了です。



困ったときは

ここでは、トラブルが発生した時の処置について、OS ごとに説明します。

全 OS 共通

ネットワーク I/F の設定ができない / ネットワーク印刷ができない

処置）
まず、ネットワークステータスシートが印刷できるかどうかご確認ください。
ネットワークステータスシートの印刷ができない場合は、プリンタ本体の［プリンタモードメニュー］が、［ジドウ］もしくは［ネットワーク］になっているか確認してください。ネットワークステータスシートの印刷が可能な場合は、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないかをご確認ください。

「ネットワークステータスシートの印刷」16 ページ

設定する IP アドレスが分からない

処置）
IP アドレスは、外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う際には、JPNIC(http://www.nic.ad.jp/jp/index-j.html) に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者へご相談ください。
IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918 で規定されています）。
プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

EpsonNet WinAssist が起動できない

処置）
EpsonNet WinAssist のインストール後に、OS 上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet WinAssist が起動しなくなります。EpsonNet WinAssist を削除し、再度インストールをしてください。

「ユーティリティの削除」207 ページ
「EpsonNet WinAssist のインストール」23 ページ

EpsonNet WinAssist の NetBEUI 画面がグレーアウト表示され、NetBEUI の設定が変更できない

処置）
以下の設定をしてください。
・設定を行うコンピュータに TCP/IP を組み込み、TCP/IP の設定をする。
・ネットワーク I/F に IP アドレスを設定する。

「第 4 章 TCP/IP の設定」26 ページ

EpsonNet WinAssist の起動時に「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet WinAssist を使用することはできません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

・ コンピュータに TCP/IP が組み込まれていない場合

処置）

[OK] ボタンをクリックすると EpsonNet WinAssist が起動しますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータの状態を確認して、TCP/IP の組み込みと IP アドレスの設定をしてください。

「第 4 章 TCP/IP の設定」26 ページ

EpsonNet WebAssist が起動できない

処置）

EpsonNet WebAssist を実行するには、まず、EpsonNet WinAssist/MacAssist、または ping コマンドを使用して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する必要があります。現在の設定は、ネットワークステータスシートの [IP Address] 欄で確認できます。

「IP アドレスの設定 / 変更」34 ページ

ARP/PING コマンドでネットワーク I/F の IP アドレスを設定できない

ARP/PING コマンドを使用できるのは、次の場合です。

・ネットワーク I/F の IP アドレスが初期値（192.168.192.168）の場合

処置）

ping コマンドを実行後、「Reply from (IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet WinAssist の [モデル名] に何も表示されず、[IP アドレス] に [NONE] と表示される

処置 1）

ネットワーク I/F の IP アドレスが初期値（192.168.192.168）の場合、[モデル名] と [IP アドレス] が表示されない場合がありますが、ネットワーク I/F の設定は行えます。ネットワーク I/F の設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2）

EpsonNet WinAssist[表示] メニューの [最新の状態に更新] を実行してください。

処置 3）

EpsonNet WinAssist[ツール] メニューの [タイムアウト設定] で、タイムアウト時間を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなります。ご注意ください。

NetWare 環境

NetWare サーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置）

サーバでキュー / プリントサーバのユーザに、印刷を行なおうとしているユーザが登録されているか確認してください。また、NetWare サーバにネットワーク I/F がログインしているかどうか確認してください。

EpsonNet WinAssist が正しく起動しない

処置）

Microsoft の Service for NetWare Directory Service がインストールされているマシンでは、EpsonNet WinAssist での NDS 設定はできません。
NDS サービスをご利用の場合は Novell クライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet WinAssist のリスト画面で、IPX グループにプリンタが表示されない

処置）

次の項目を確認してください。

- プリンタの電源がオンになっているか
- ネットワーク I/F が、EpsonNet WinAssist を使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか（同一セグメントにない場合は、ツールメニューの探索オプションで設定してください）
- EpsonNet WinAssist を起動するコンピュータから、管理者権限でログインしているか

EpsonNet WinAssist の起動に時間がかかる

コンピュータに Novell クライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft 社製 NetWare クライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークに IPX を使用するため、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

処置）

① [マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ネットワーク] で、IPX/SPX 互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタを選択して、[プロパティ] を起動します。

② [バインド]タブを選択して、使用しないIPX/SPX互換プロトコルや、Novell NetWare クライアント用プロトコルのチェックを外します。

Macintosh 環境

セレクタにプリンタが表示されない

処置）

次のことを確認してください。

- Open Transport 搭載機種の場合：
  コントロールパネルの[AppleTalk]で[Ethernet]が選択されているか
- Open Transport 非搭載機種の場合：
  コントロールパネルの[ネットワーク]で[EtherTalk]が選択されているか

セレクタで AppleTalk が[使用]になっているか、HUB、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせてご確認ください。

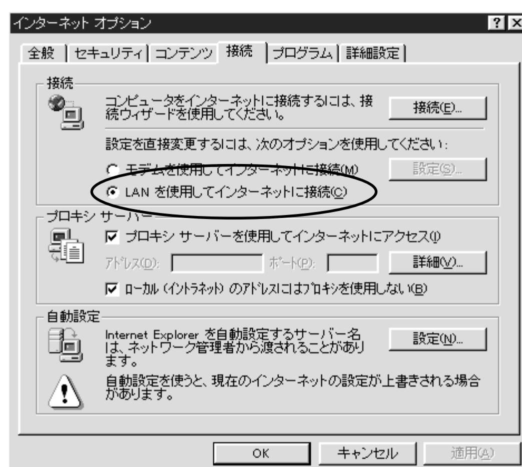
Windows95/98 環境

Windows から EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）

インターネットの設定で［ 起動時にダイヤルアップでインターネットに接続 ］（インターネットエクスプローラ 4.0x の場合は［ モデムを使用してインターネットに接続 ］、インターネットエクスプローラ 5 の場合は［ ダイアルアップの設定 ］）が設定されていると、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、この設定を変更しないと Windows 起動後の最初の印刷時には、毎回メッセージが表示されます。

この設定を変更後、インターネットに接続する場合は、再度［ インターネットオプション ］で［LAN を使用してインターネットに接続 ］を選択するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。



EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用している状態で、NetBEUI 印刷または IPP 印刷を実行すると「通信エラーが発生しました」と表示される。

処置）

対象となるプリンタドライバのプロパティで、［ ユーティリティ ］タブにある［ プリンタをモニタする ］のチェックを外してください。

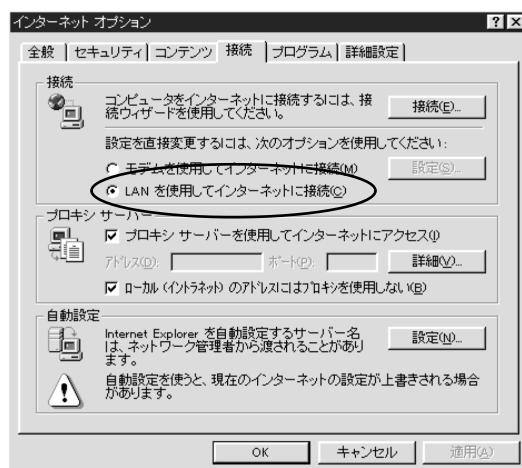
WindowsNT/2000 環境

Windows から EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）

インターネットの設定で [起動時にダイヤルアップでインターネットに接続](インターネットエクスプローラ 4.0x の場合は [モデムを使用してインターネットに接続]、インターネットエクスプローラ 5 の場合は [ダイアルアップの設定]) が設定されていると、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、この設定を変更しないと Windows 起動後の最初の印刷時には、毎回メッセージが表示されます。

この設定を変更後、インターネットに接続する場合は、再度 [インターネットオプション] で [LAN を使用してインターネットに接続] を選択するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。



WindowsNT Server4.0 経由で、管理者以外のクライアントから印刷できない

処置）

ファイルサーバ上でプリンタのアクセス権リストから、[Creater Owner] が削除されている場合、もしくは [Creater Owner] の権利が [印刷] か [アクセス権なし] に設定されている場合にこの現象となります。正しく印刷するには、[Creater Owner] の権利を [文書 / ドキュメントの管理] に設定する必要があります。初期設定は [文書 / ドキュメントの管理] です。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用している状態で、NetBEUI 印刷または IPP 印刷を実行すると「通信エラーが発生しました」と表示される。

処置）

対象となるプリンタドライバのプロパティで、[ユーティリティ] タブにある [プリンタをモニタする] のチェックを外してください。

用語集

A

AppleTalk

すべてのMacintoshに標準で付属する、LANシステムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Macintoshの標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP

Address Resolution Protocol。TCP/IPプロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストのIPアドレスからMACアドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持しているIPアドレスとMACアドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータのIPアドレスやデフォルト・ゲートウェイなどのTCP/IP関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いているIPアドレスを自動的に割り当てる。

DNS

Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、そのIPアドレスとの対応付けを行う仕組み。IPアドレスは4桁の8ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名からIPアドレスへの変換を行う。変換を行うサーバをDNSサーバという。

E

EtherTalk

Macintosh用のLANを実現するためのシステムの一つ。Ethernetのケーブルを使って運用するAppleTalkネットワークのこと。Ethernetインターフェイスを接続し、コントロールパネルでEtherTalkを選択すればよい。

H

HUB

ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のツイストペアケーブルをRJ-45モジュラージャックで接続し、スター型LANを構築する。

I

IPP

Internet Printing Protocol。IPPを使うことにより、インターネットを経由しての印刷が可能となる。

IPX

Internetwork Packet Exchange。Novell 社の NetWare のプロトコル。

IP アドレス

IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（ アドレス ）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB

Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP(Simple Network Management Protocol) マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト (管理対象) を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB をもつ。

N

NDPS

Novell Distributed Print Services。米 Novell 社の NetWare が提供する分散プリント機能。NDPS によりプリンタ管理に要するコストの削減や、ネットワークを利用するユーザや管理者の生産性を引き上げることができる。

NDS

Novell Directory Services。米 Novell 社の NetWare4.0 以降に搭載されているディレクトリ・サービス機能。ユーザやサーバ、プリンタなどの共有資源を一元管理できる。各資源はツリー状のネットワーク構造で論理的に配置することができる。
一度 NetWare にログインすれば、それ以降はそれぞれの NetWare サーバにログインすることなく、ネットワーク全体のサーバやプリンタなどが使えるようになる。

NetBEUI

通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

NetBIOS
パソコン・ネットワーク用の通信プロトコルと API の規約。

NetWare
米 Novell が開発したパソコン LAN 用ネットワーク OS。IPX/SPX と呼ぶ独自プロトコルを使用する。

NWADMIN
NetWare 4.x のファイルシステム管理ツール。ネットワーク管理者はツリー内のすべてのオブジェクトを管理できる。オブジェクトの作成、オブジェクトのプロパティの変更、コンテキスト上から別の場所へのコンテキストの移動が行える。また、ファイルシステム、ディレクトリサービスのトラスティ、ツリーにあるすべてのオブジェクトの有効な権利を確認できる。

P

PCONSOLE
NetWare3.x のプリントサービス設定、管理ツール。

PING
TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行し、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

S

SNMP
Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルーターなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などと言われる。

T

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

エ

エンティティタイプ
オブジェクトのタイプ。これにより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

ケ

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

コ

コンテキスト

NetWare の NDS で、ディレクトリツリー内の各オブジェクトの配置を示すもの。会社名、組織名、部門名などの要素から構成される。

サ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット (255.255.255.0) が標準で使用される。

ソ

ゾーン名

AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

ツ

ツイストペアケーブル

10BASE-T 規格のケーブル。2 本のケーブルを対にしたものが寄り合わさっている。Ethernet の 10Base-T や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。

ネ

ネットワーククラス

IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、Cの 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

ハ

バインダリ

NetWare3.x で、ユーザ、グループ、ワークグループなどの構成要素を定義しているデータベース。NetWare4.x 以降は、バインダリの代わりに NDS を使用。

フ

フレームタイプ

ネットワーク上の通信（Workstation ← packet → Client）で、パケットに定義されているもの。サーバがサポートするフレームタイプにあわせて、設定する。

プロキシサーバ

インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ホ

ポート番号

TCP やUDP が備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ポーリング

NetWare の、プリンタ環境設定オプションの 1 つ。ポートドライバ（NPRINTER）が定期的にデータポートを確認（ポーリング）し、データポートがプリンタにデータを転送する準備ができているかを調べる。

索引